

北区子どもアンケート実施結果

令和8年3月
子ども未来部子ども未来課

目次

01_調査概要	3
02_小学5年生調査結果	4
(1)あなたのことについて	5
(2)大切な子どもの権利について	6
(3)子どもの意見や気持ちについて	16
(4)あなたの居場所について	18
(5)悩みや困りごとについて	23
(6)みんなの毎日について	33
03_中学2年生調査結果	41
(1)あなたのことについて	42
(2)大切な子どもの権利について	43
(3)子どもの意見や気持ちについて	53
(4)あなたの居場所について	55
(5)悩みや困りごとについて	60
(6)みんなの毎日について	70
04_小学5年生と中学2年生の調査結果比較	78
(1)あなたのことについて	79
(2)大切な子どもの権利について	80
(3)子どもの意見や気持ちについて	86
(4)あなたの居場所について	88
(5)悩みや困りごとについて	90
(6)みんなの毎日について	96
05_性別非回答群の結果	98
(1)小学5年生	99
(2)中学2年生	107

《調査目的》

子どもの権利と幸せに関する条例の施行から1年が経過し、子どもの権利や条例の認知や自身の居場所、日常生活の満足度を把握し、今後の北区の取り組みにつなげることを目的に実施しました。

小学5年生

《調査対象》 区立小学校5年生全児童

《対象人数》 2,422人

《有効回答》 1,187件

《調査方法》 1人1台端末「きたコン」を活用し
ロゴフォームでアンケート調査を実施

《調査期間》 令和7年11月4日～11月30日

中学2年生

《調査対象》 区立中学校2年生全生徒

《対象人数》 1,561人

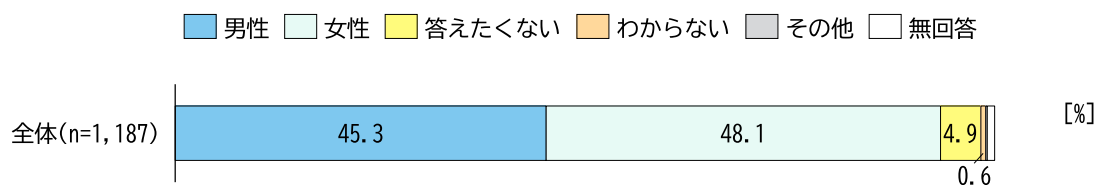
《有効回答》 734件

《調査方法》 1人1台端末「きたコン」を活用し
ロゴフォームでアンケート調査を実施

《調査期間》 令和7年11月4日～11月30日

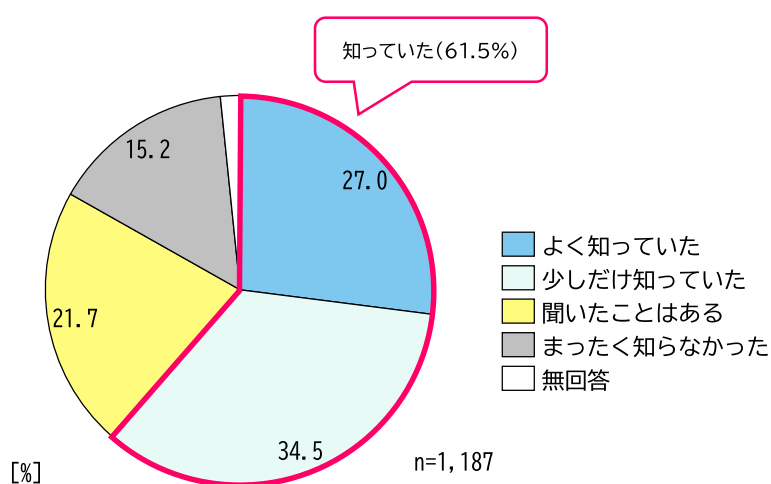
小学5年生調査結果

質問1 あなたの性別はなに？(1つだけ選んでね)



5

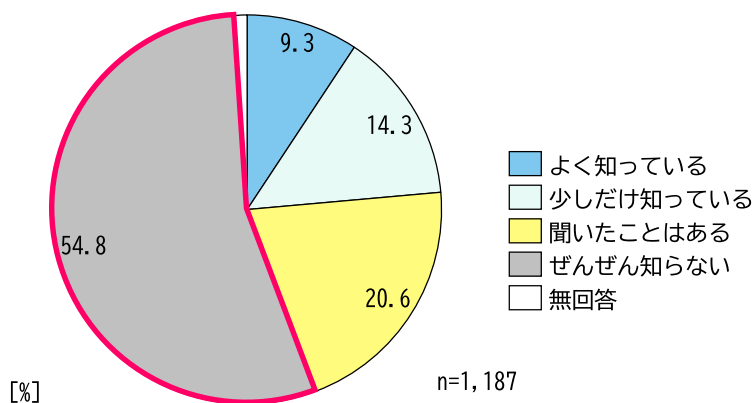
質問2 子どもには大切な権利があるってこと、これまで知っていた？(1つだけ選んでね)



子どもの権利について、『知っていた』が61.5%。

6

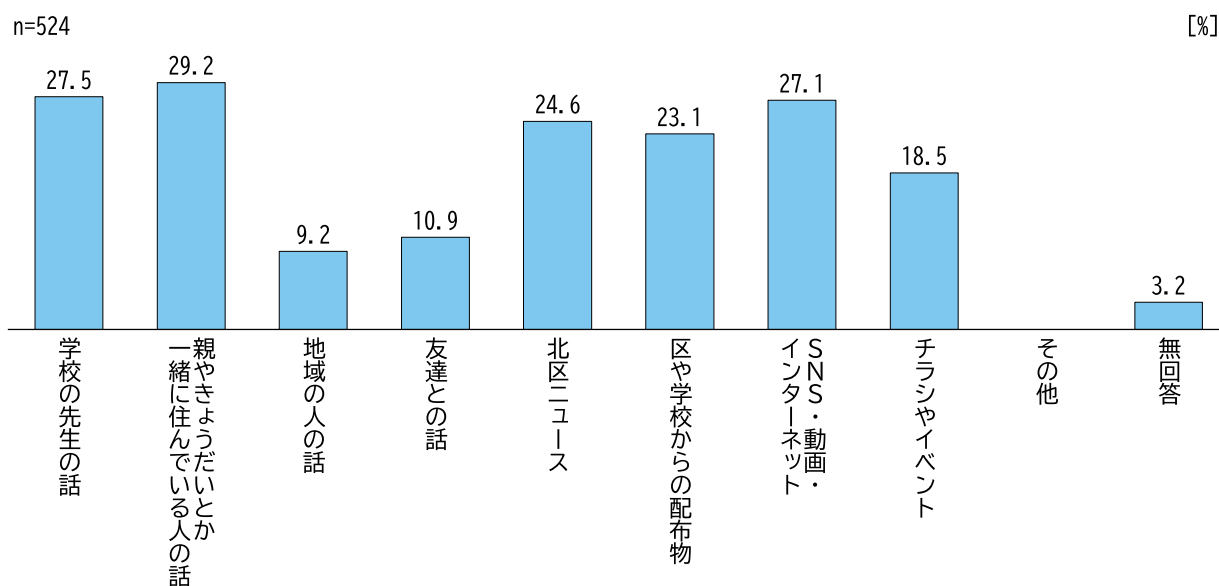
質問3 ①子どもも大人も、みんなが子どもの権利を大切にしていくために、ルールがあるんだ。「北区子どもの権利と幸せに関する条例」っていうんだけど、知っている？（1つだけ選んでね）



北区子どもの権利と幸せに関する条例について、「ぜんぜん知らない」との回答は54.8%と過半数が条例のことを知らない。

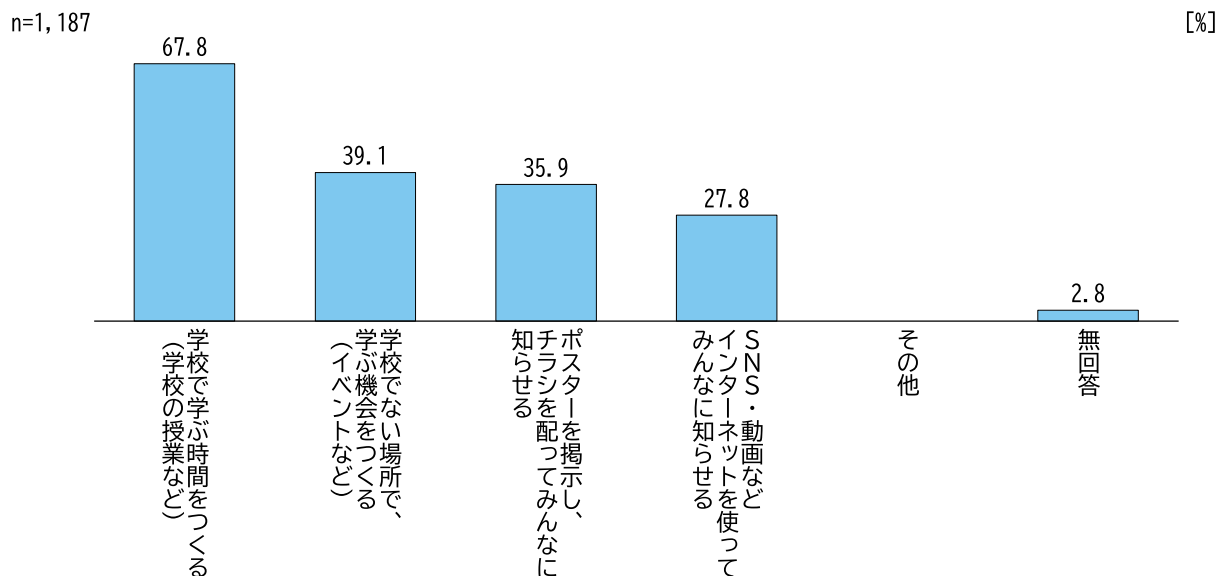
質問3 ②(①で1～3と回答した場合)「子どもの権利と幸せに関する条例」を知ったきっかけはなに？

(いくつでも選んでね)



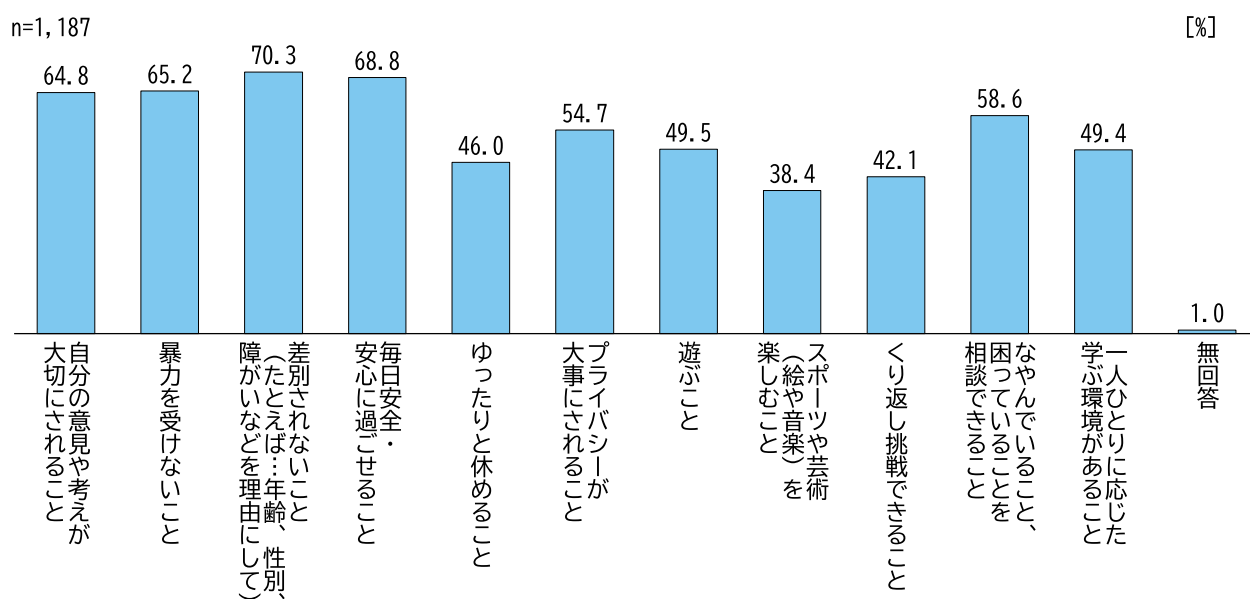
条例を知ったきっかけは、同居の家族や学校の先生の話、SNS・動画・インターネットとの回答が多い。

質問4 子どもの権利のこと、たくさん子どもたちに知ってもらいたいんだ。そのために何をすることが大事だと思う？(いくつでも選んでね)



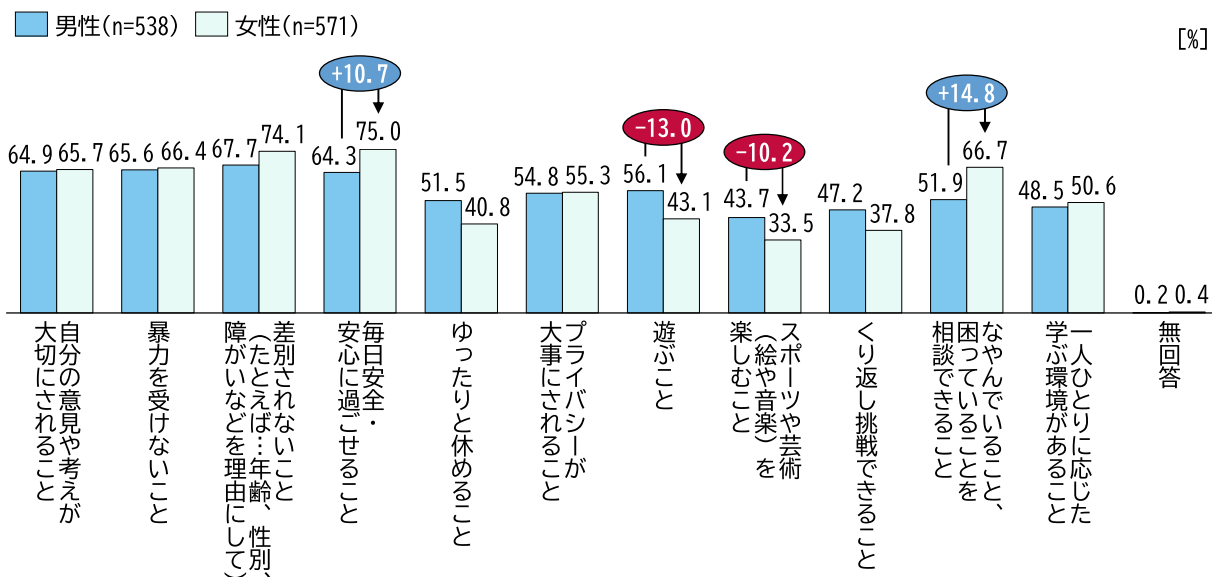
子どもの権利を知ってもらうための取り組みについて、「学校で学ぶ時間をつくる(学校の授業など)」が67.8%に上り、学校で学ぶ時間を設けることが重要と考える子どもが多い。

質問5 ①「子どもの権利と幸せに関する条例」には、11個の大切な子どもの権利が書いてあるよ。いま、特に大切だと思うものはどれかな？(いくつでも選んでね)



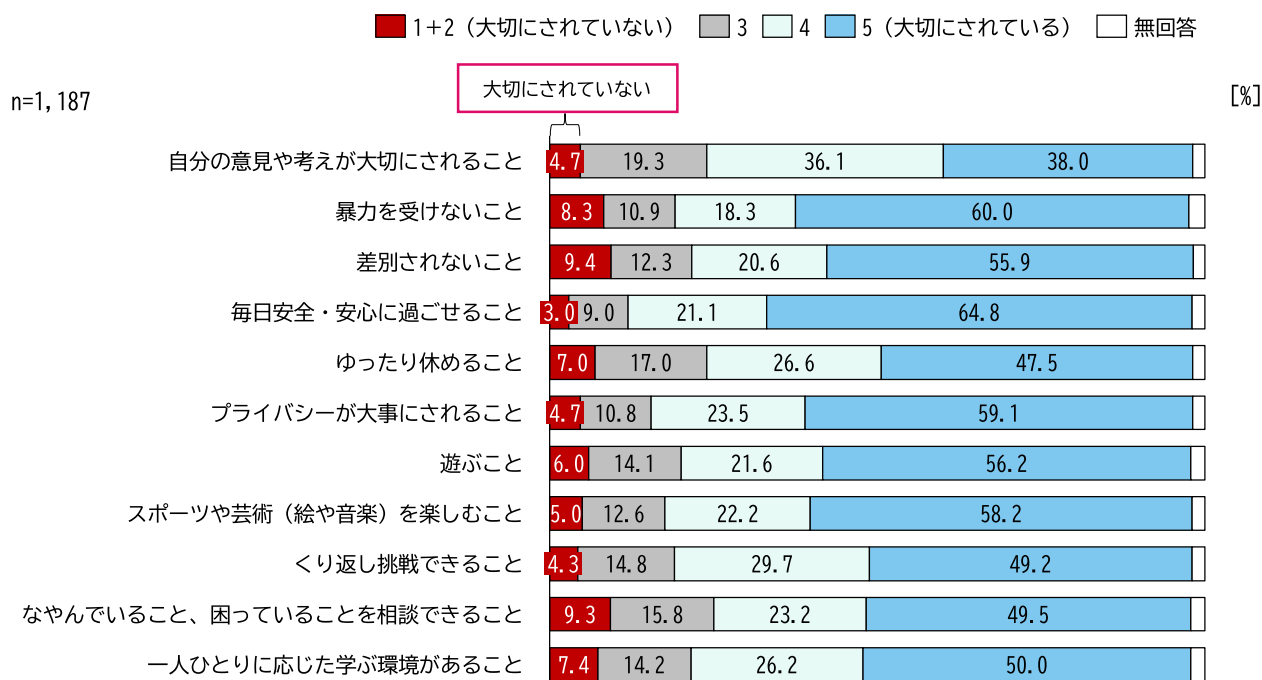
条例に記載されている11個の権利で、大切だと思うものは「差別されないこと」が70.3%に上り、最も回答が多い。

質問5 ①「子どもの権利と幸せに関する条例」には、11個の大切な子どもの権利が書いてあるよ。いま、特に大切だと思うものはどれかな？(いくつでも選んでね)【男女別比較】



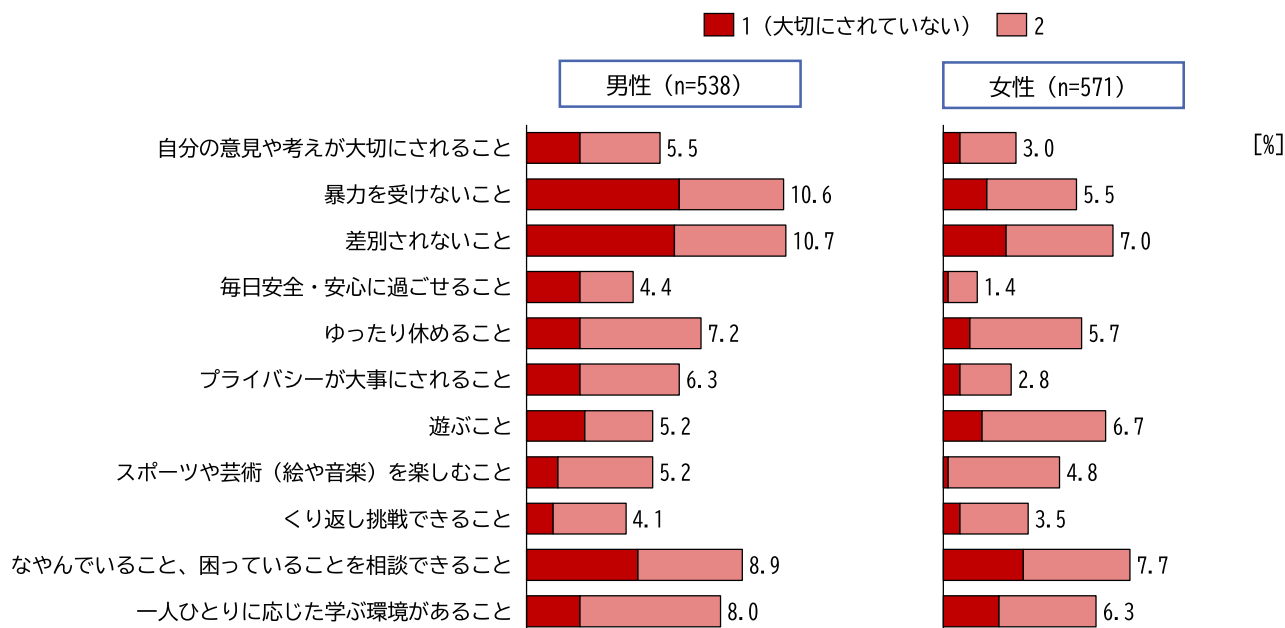
「毎日安全・安心に過ごせること」「遊ぶこと」「スポーツや芸術(絵や音楽)を楽しむこと」「なやんでいること、困っていることを相談できること」の項目では、男女で10%以上の差が開いた。

質問5 ②11個の子どもの権利が、毎日の生活の中で、どのくらい大切にされていると感じるかな、5点満点で、それぞれ教えてね。



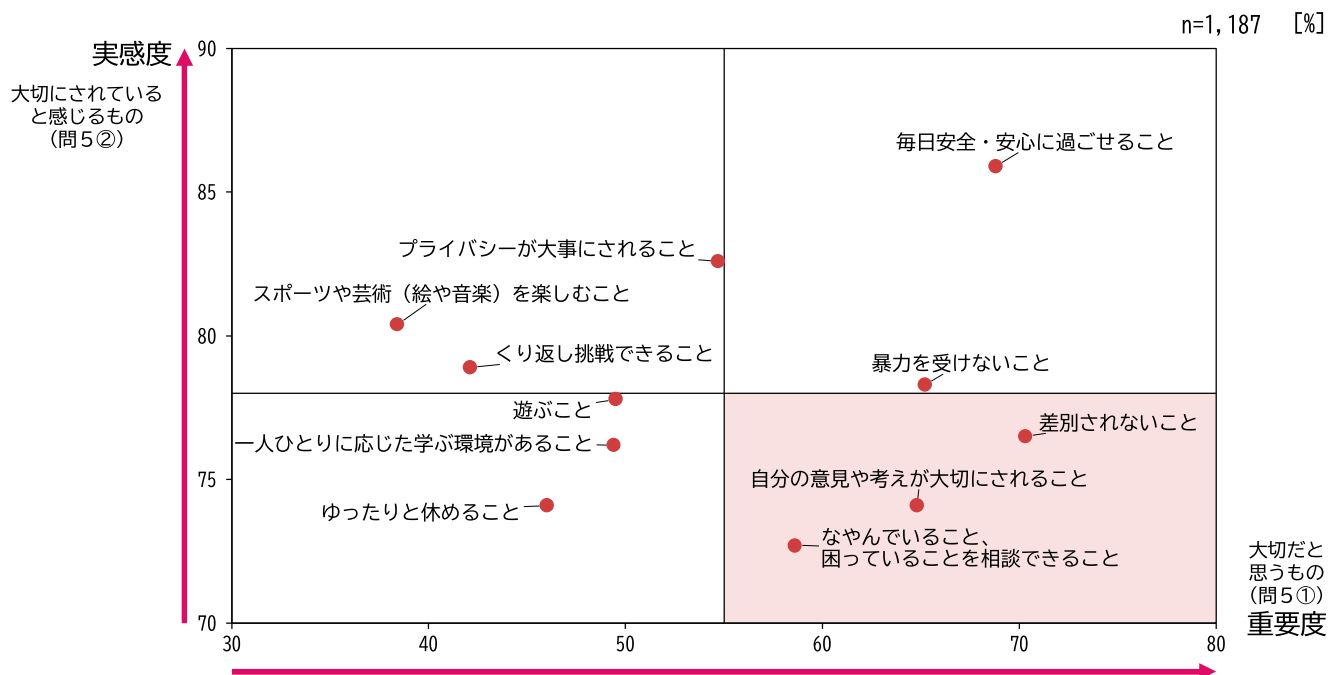
「差別されないこと」「相談できること」が、大切にされていないと感じている割合が最も高い。

質問5 ②11個の子どもの権利が、毎日の生活の中で、どのくらい大切にされていると感じるかな、5点満点で、それぞれ教えてね。【子どもの権利が大切にされていない(1点または2点)と回答した割合(男女別比較)】



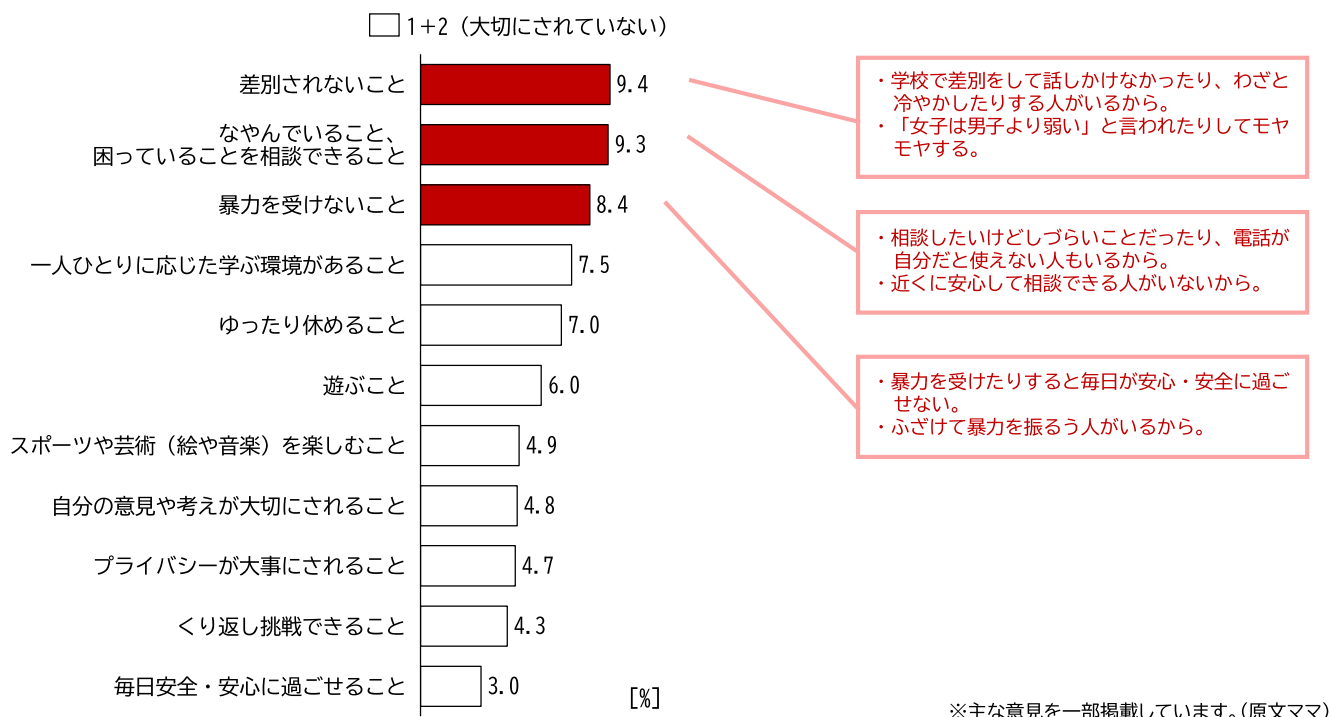
男性は女性に比べて、「暴力を受けないこと」「差別されないこと」について、大切にされていないと感じている割合が比較的高い。

◆問5①(大切だと思う権利)(重要度)と問5②(大切にされている実感)(実感度)との相関図



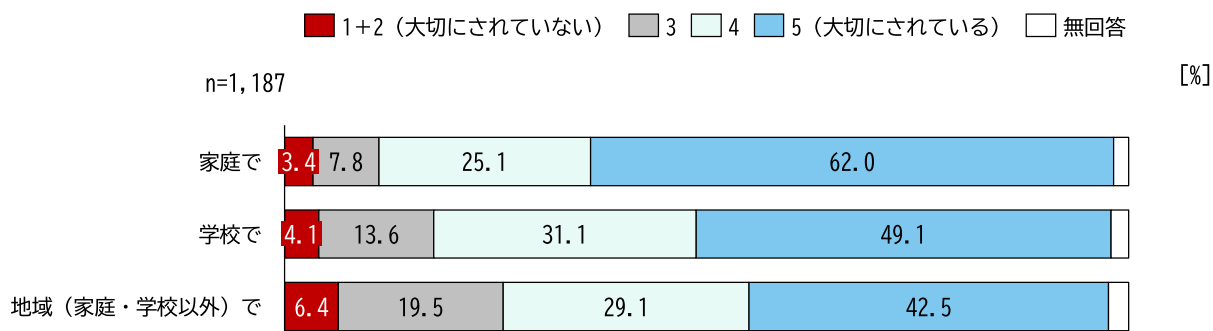
「差別されないこと」「自分の意見や考えが大切にされること」「なやんでいること、困っていることを相談できること」は相対的にみると、重要視されているわりに大切にされていないと感じる割合が高い。

質問5 ③ ②(大切にされている実感)で、「2」や「1」(大切にされていない)となったものはどうしてそう感じるのかな？ 自由に記入してね(記入しなくても大丈夫)。



質問6 家庭や学校などで自分の意見や考えを大事にてもらえていると感じる？5点満点で選んでね。

(1つだけ選んでね)

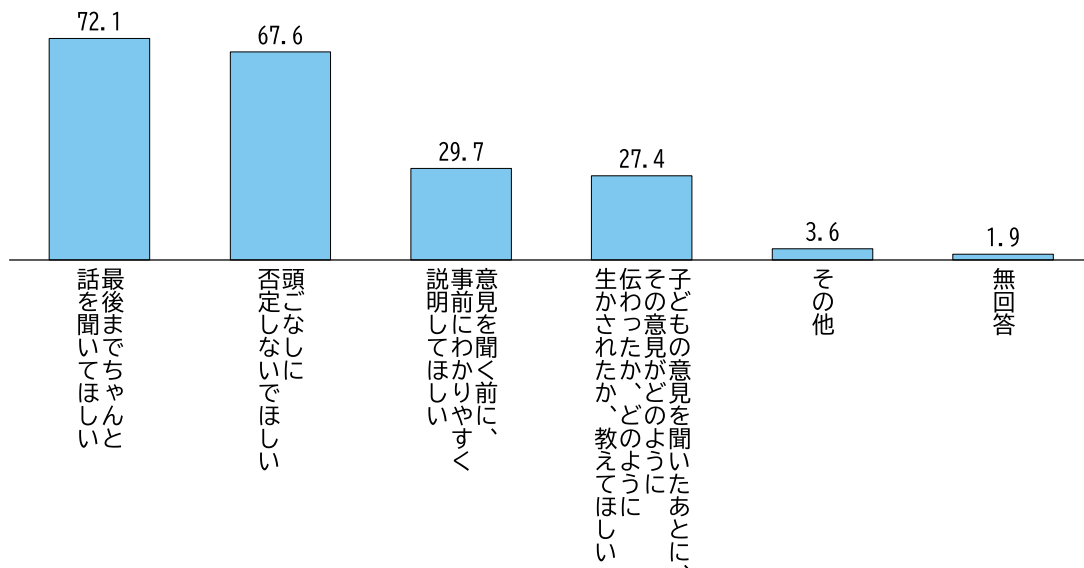


地域(家庭・学校以外)では、自分の意見や考えを大切にされていないと感じている割合が6.4%。

質問7 大人が子どもの声や意見をきくときに、大切にしてほしいことはなに？(いくつでも選んでね)

n=1,187

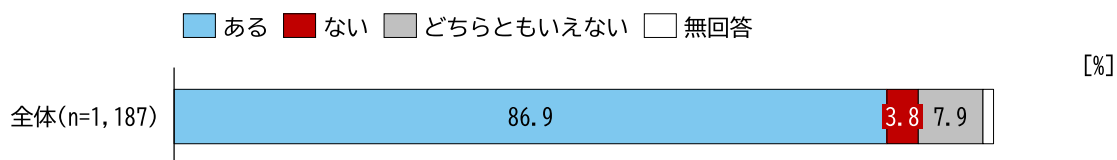
[%]



大人が子どもの意見を聞くとときに大切にしてほしいことは、「最後までちゃんと話を聞いてほしい」が72.1%。

17

質問8 ①毎日、ほっとできると感じる居場所や自分だけのほっとできる時間はある？(1つだけ選んでね)

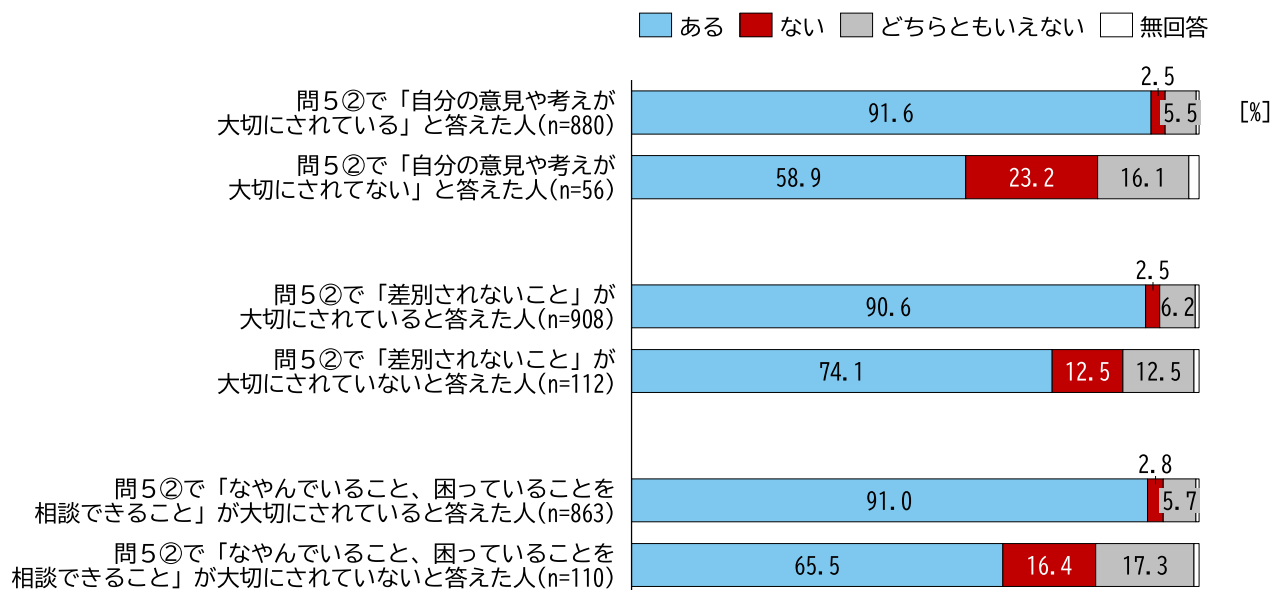


ほっとできると感じる居場所や時間の有無について、こうした居場所や時間があると答える人は86.9%。

18

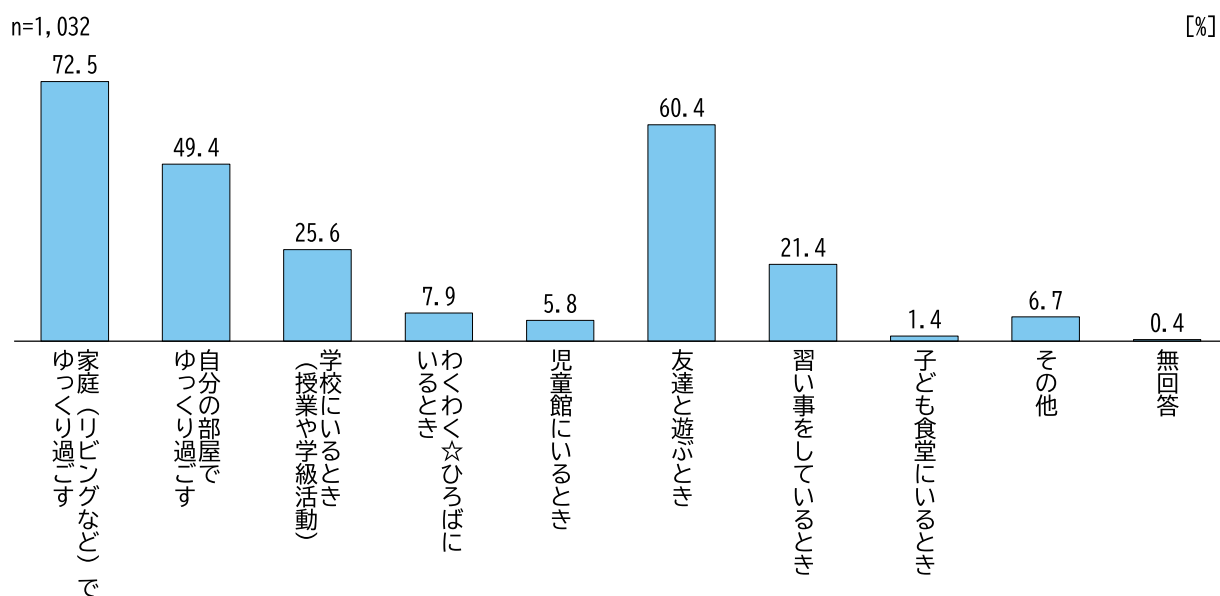
質問8 ①毎日、ほっとできると感じる居場所や自分だけのほっとできる時間はある？(1つだけ選んでね)

【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】



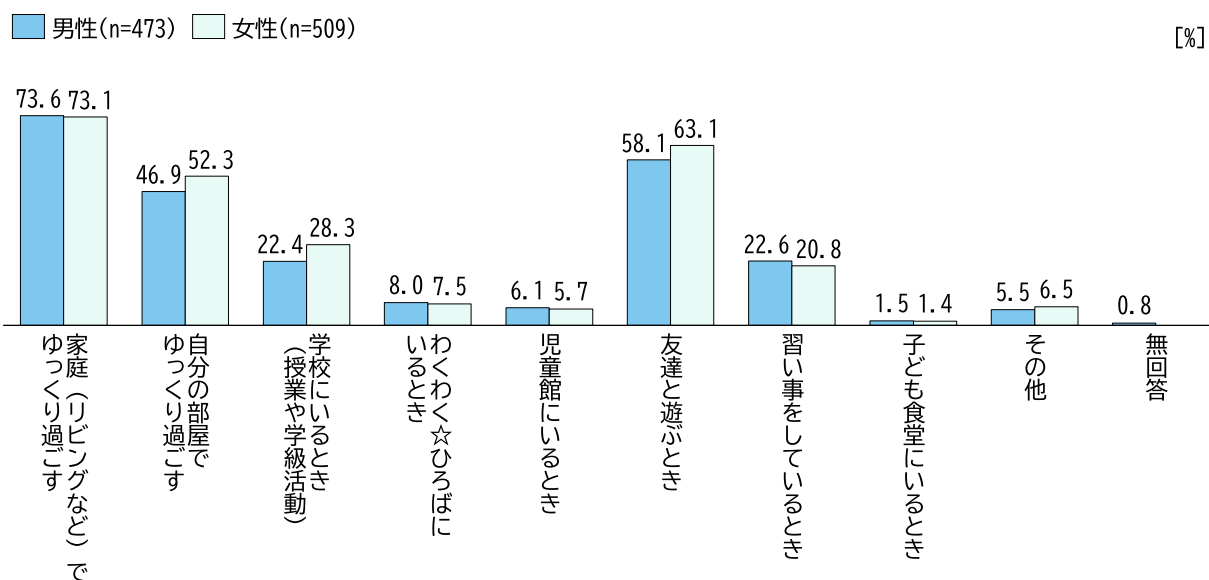
大切にされていないと感じている人は大切にされていると感じている人に比べて、ほっとできると感じる居場所が「ない」との回答が高い。

質問8 ②<①で、あると回答した場合>ほっとできる居場所はどんなところ？あと、どんな時間を過ごしているときにほっとできると感じる？(いくつでも選んでね)



ほっとできる居場所や時間について、「家庭(リビングなど)でゆっくり過ごす」が72.5%。また、「友達と遊ぶとき」と回答する割合も6割を超える。

質問8 ②<①で、あると回答した場合>ほっとできる居場所はどんなところ？あと、どんな時間を過ごしているときにほっとできると感じる？(いくつでも選んでね)【男女別比較】



男女ともに、「家庭(リビングなど)でゆっくり過ごす」が最も高い。また、「友達と遊ぶとき」と回答する割合も約6割に上る。

質問8 ③<①で、「ない」または「どちらでもない」と回答した場合>どうしてそう思う？(どうなったらよいと思う?)自由に記入してね(記入しなくても大丈夫)。

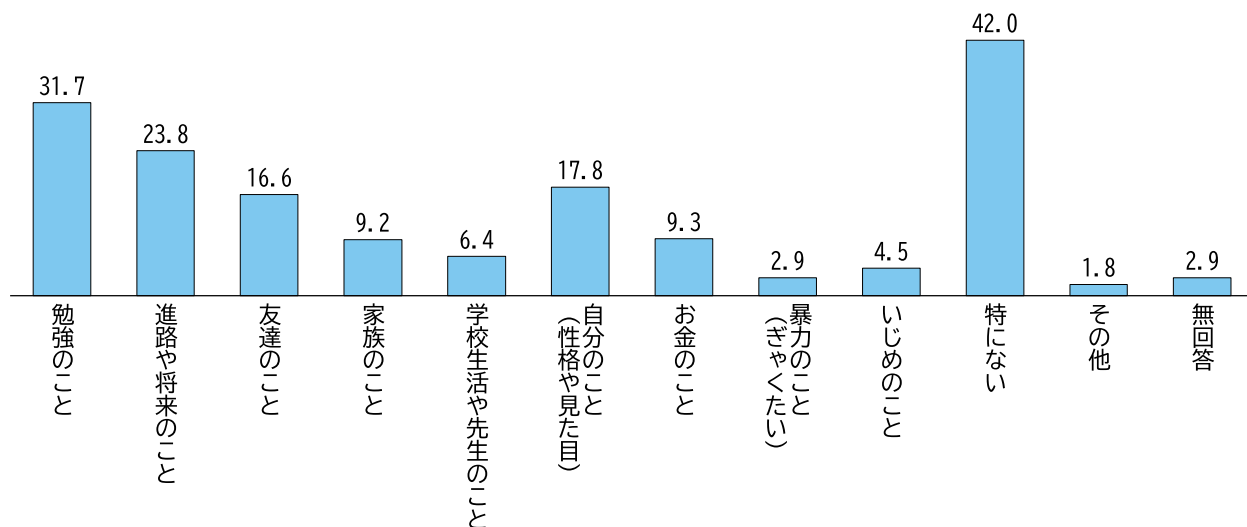
主な意見
放課後に家でゆっくりする時間に落ち着くことができるけれど、宿題が多かったり、妹が早い時間に帰って来たりすると、一人でほっとできると感じる居場所や時間が毎日あるとは限らないから。
一日の流れによって自分の居場所がなかったり、あったりするから。(めったに嫌なことがない限り、自分の居場所がない、と感じることがないけど。)
たまに学校から帰ってすぐ塾で、帰ったらお風呂に入ってご飯を食べて、すぐ勉強して寝るとゆうことで、あんまり休めないという時。
「ほっと」とは感じるヒマがないから。
ゲームとかをして親にも何も言われないような時間が欲しいから。
お姉ちゃんとずっといるし弟がうるさいからゆっくりできないから。
家に帰ってもお兄ちゃんと喧嘩するだけだから。
塾に通っているからほっとしている暇が少ない。
あまり友達と関わりたくないときに、端っこにいても、しつこく話しかけてくるし、いま一人でいたいといっても、全く聞いてくなくて、一人でゆっくり休めないから。
お使いやお手伝いで一人でゆっくりできる時間が少ない。
勉強に追われて、誰かとテレビ見たりすることができません。本当に悲しいです。勉強やらないと怒鳴られます。

※主な意見を一部掲載しています。(原文ママ)

質問9 今、困っていたり、悩んでいることはあるかな？(いくつでも選んでね)

n=1,187

[%]

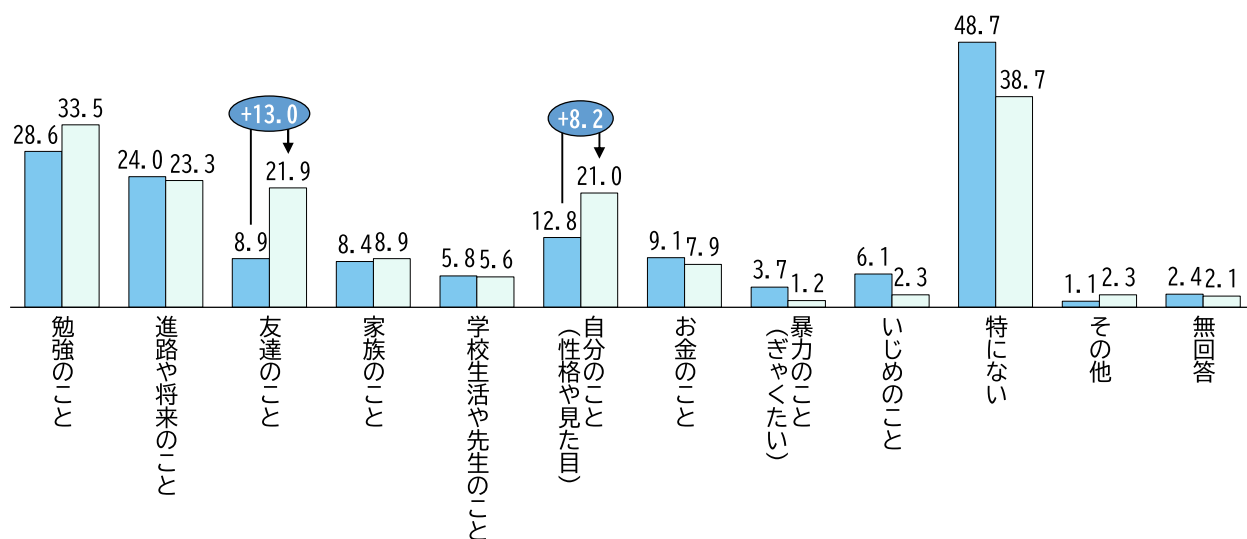


悩みや困りごとについて、「勉強のこと」が31.7%と全体で最も回答が多い。

質問9 今、困っていたり、悩んでいることはあるかな？(いくつでも選んでね)【男女別比較】

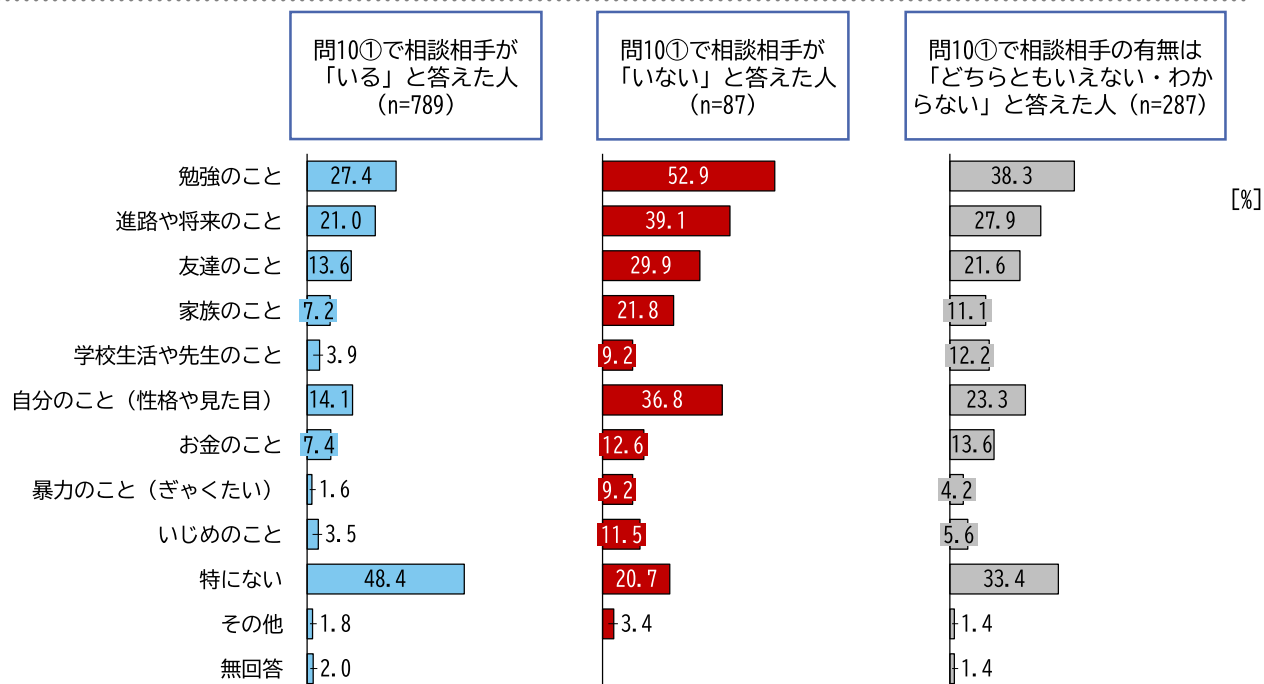
■ 男性(n=538) ■ 女性(n=571)

[%]



男女ともに、「勉強のこと」が最も高い。また、「友達のこと」「自分のこと(性格や見た目)」の項目では男女間で大きな差がでた。

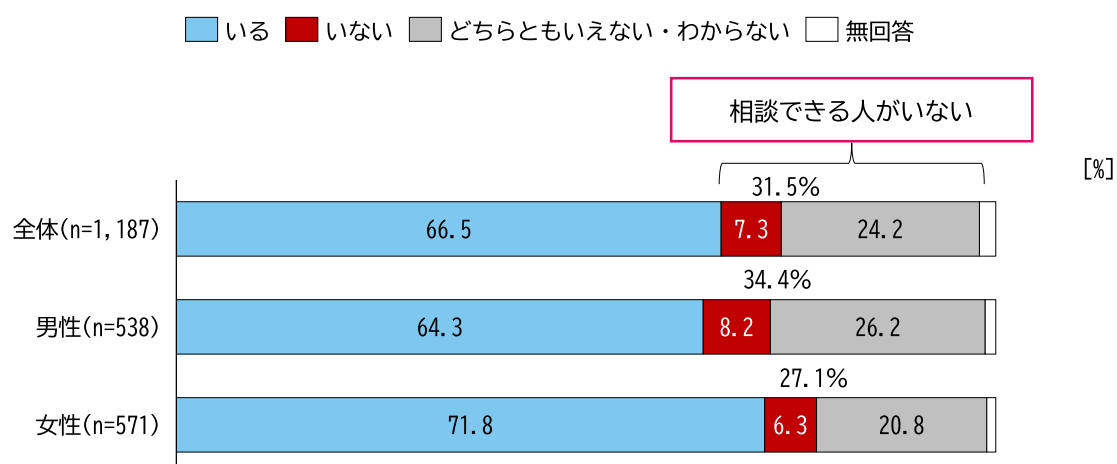
質問9 今、困っていたり、悩んでいることはあるかな？(いくつでも選んでね)【相談相手の有無での比較】



相談相手がいない人は相談相手がいる人と比べて、すべての項目が高い。

25

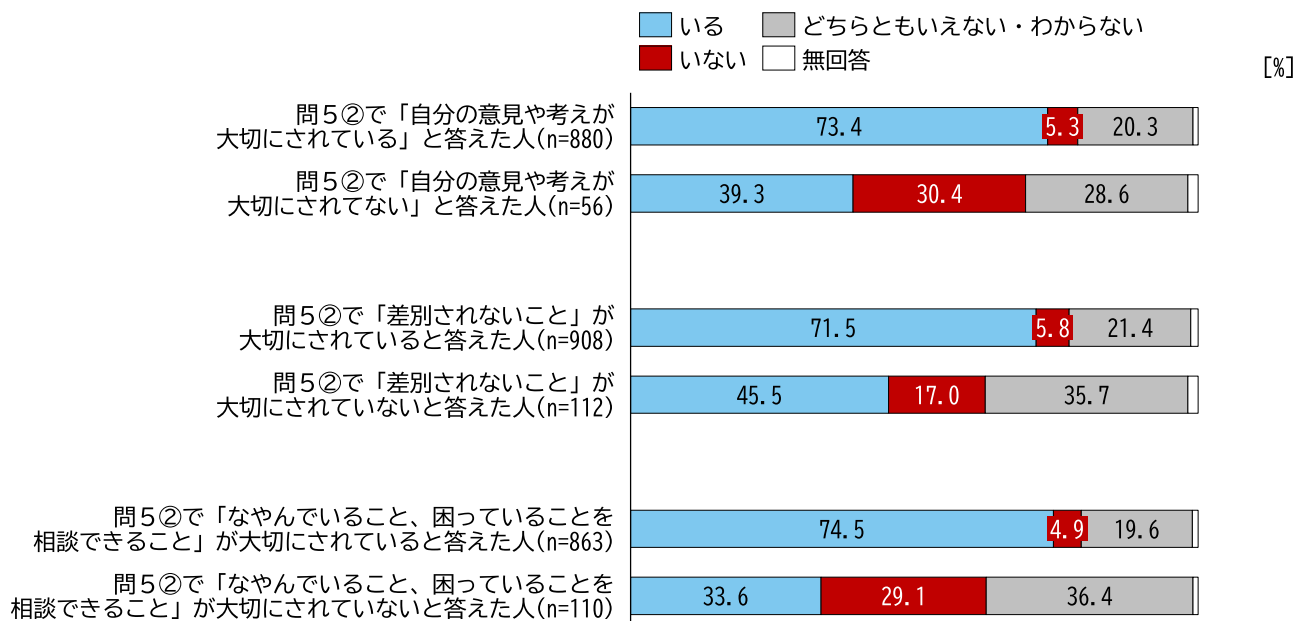
質問10 ①相談できる人はいる？(1つだけ選んでね)【全体と男女別比較】



相談できる人の有無について、相談できる人がいないとの回答は31.5%と3割を超える。男性は女性に比べて、相談できる人がいない割合がやや高い。

26

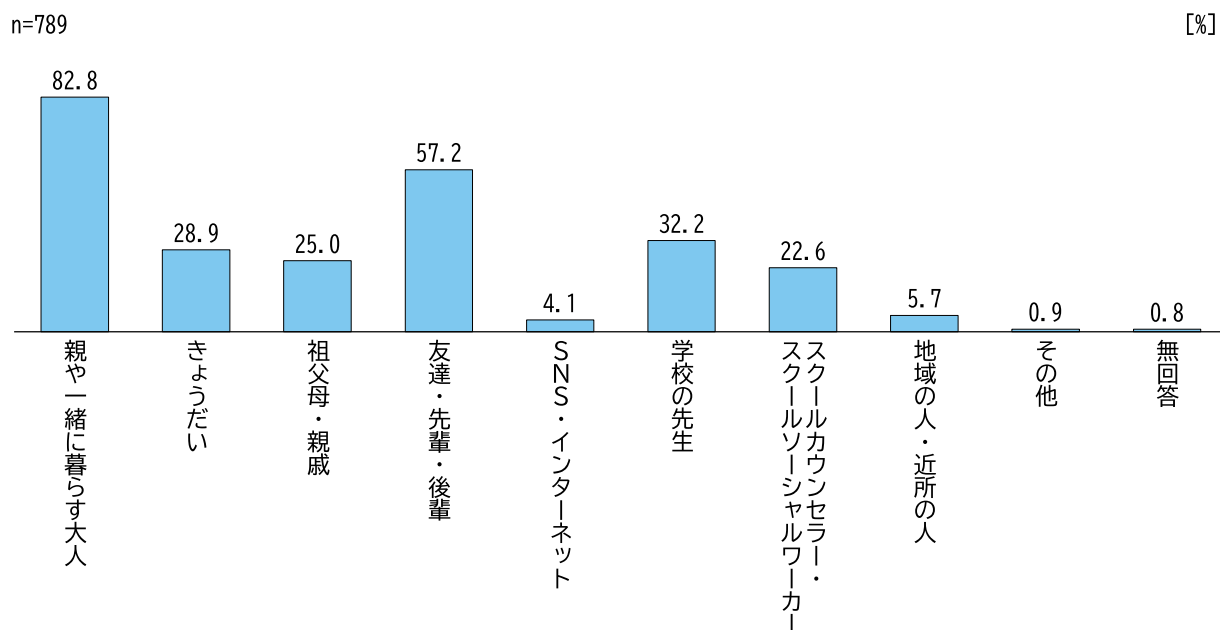
質問10 ①相談できる人はいらる？(1つだけ選んでね)【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】



子どもの権利が大切にされていないと感じている人は大切にされていると感じている人に比べて、相談できる人が「いない」との回答が高い。

27

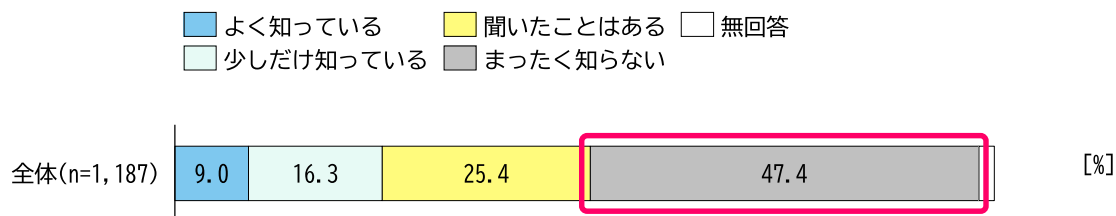
質問10 ②<①で、いると回答した場合>相談できる人はだれ？(いくつでも選んでね)



相談できる人について、「親と一緒に暮らす大人」が82.8%。

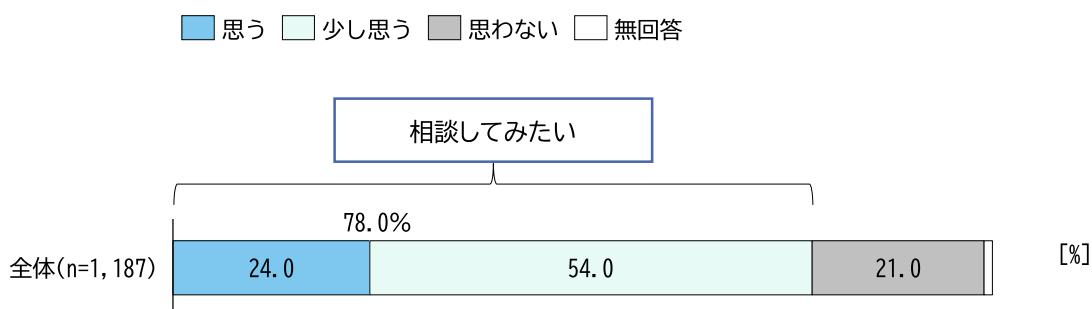
28

質問11 ①子どもの権利擁護委員って聞いたことある？みんなが悩んでいるときに話を聞いたり、助けたりしてくれる人なんだ。(1つだけ選んでね)



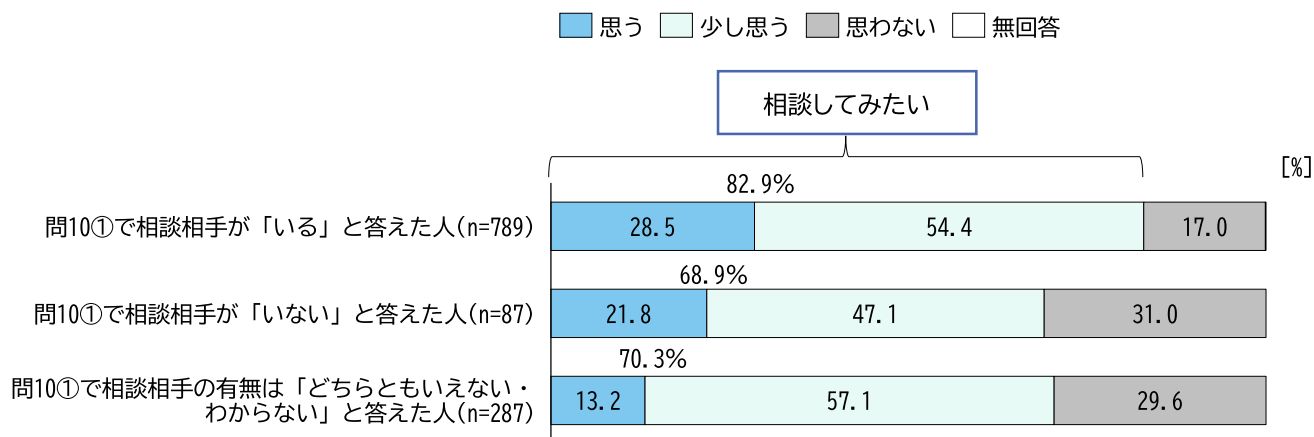
子どもの権利擁護委員の認知について、「まったく知らない」との回答は47.4%と約半数が子どもの権利擁護委員のことを知らない。

質問11 ②いま、悩んでいた、これから悩むことがあったとき、子どもの権利擁護委員に相談してみたいと思う？
(1つだけ)



子どもの権利擁護委員への相談意向について、『相談してみたい』との回答は78.0%。

質問11 ②いま、悩んでいたり、これから悩むことがあったとき、子どもの権利擁護委員に相談してみたいと思う？(1つだけ)【相談相手の有無での比較】

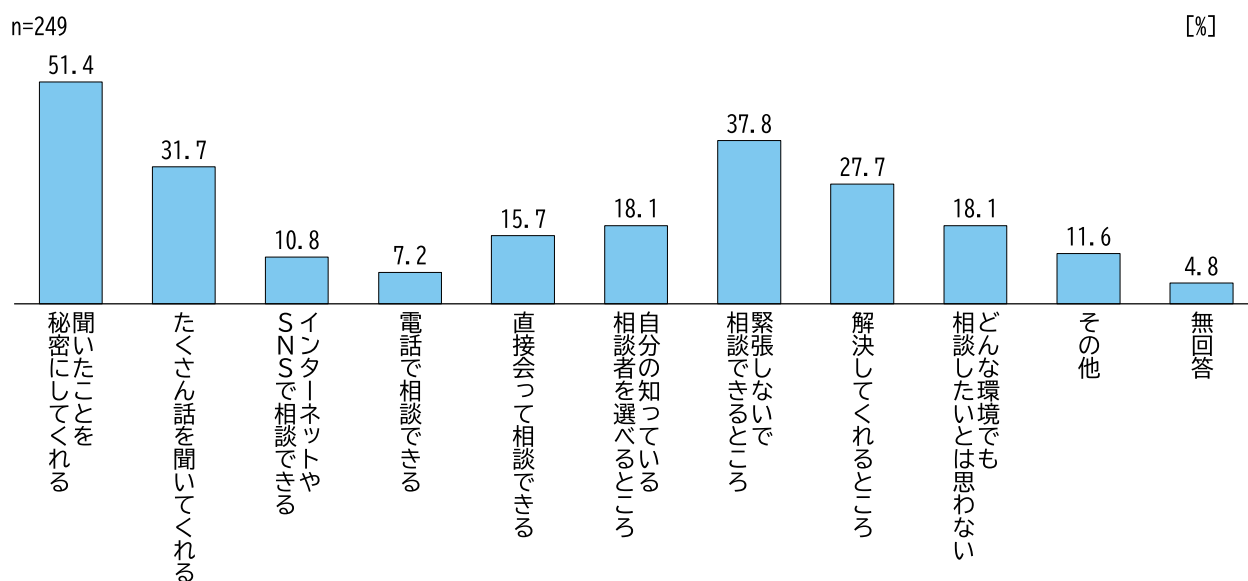


日常で相談相手がいないと回答した人は、相談相手がいると回答した人に比べ、子どもの権利擁護委員へ相談したいと思う割合が10%以上低い。

31

質問11 ③<②で思わないと答えた場合>相談しづらいと思う場合、どうすれば相談しやすくなると思う？

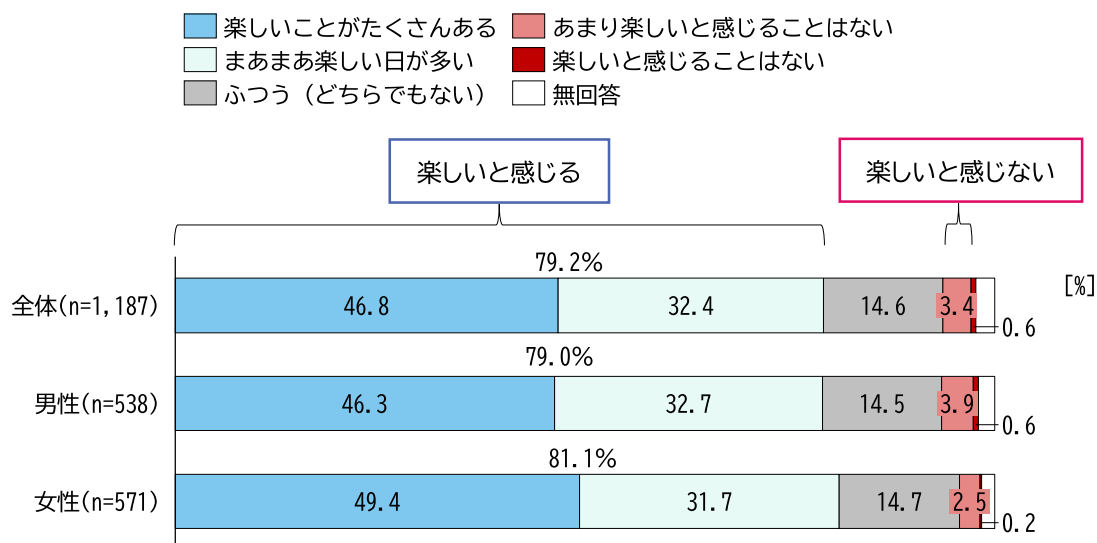
(いくつでも選んでね)



相談しやすくなる取り組みについて、「聞いたことを秘密にしてくれる」が51.4%と過半数の子どもが、相談内容の秘匿性を重視していることがわかる。また、「どんな環境でも相談したいとは思わない」は約2割。

32

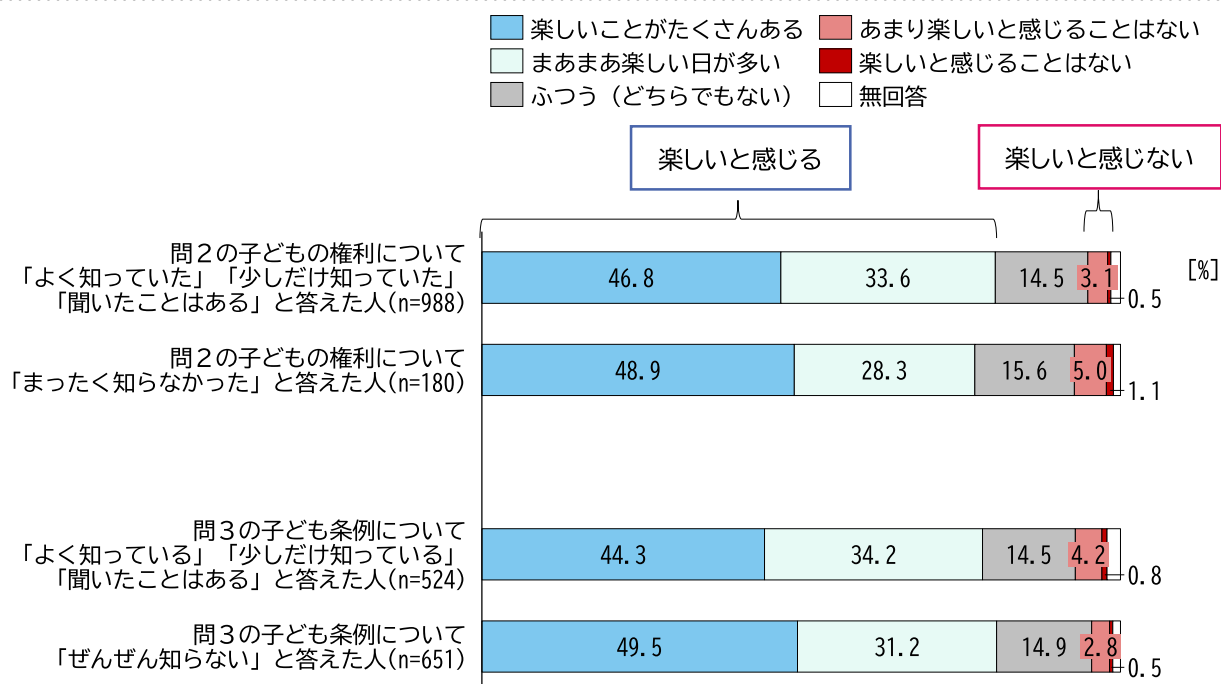
質問12 毎日、楽しいと感じることはある？(1つ選んでね)【全体と男女別比較】



毎日が楽しいと感じる割合は79.2%。

33

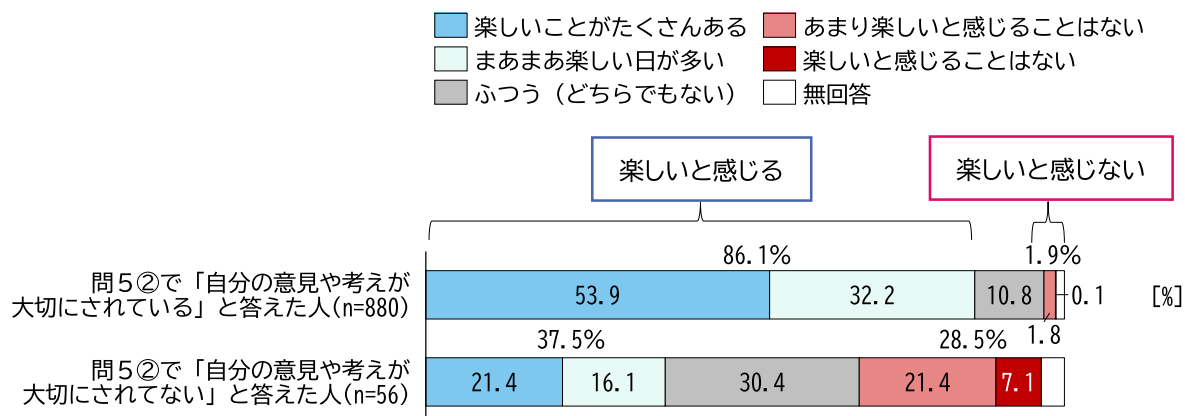
質問12 毎日、楽しいと感じることはある？(1つ選んでね)【子どもの権利、子どもの条例の認知度での比較】



子どもの権利や条例の認知度別でみると、小学校5年生については子どもの権利や条例の認知の有無による大きな差はみられなかった。

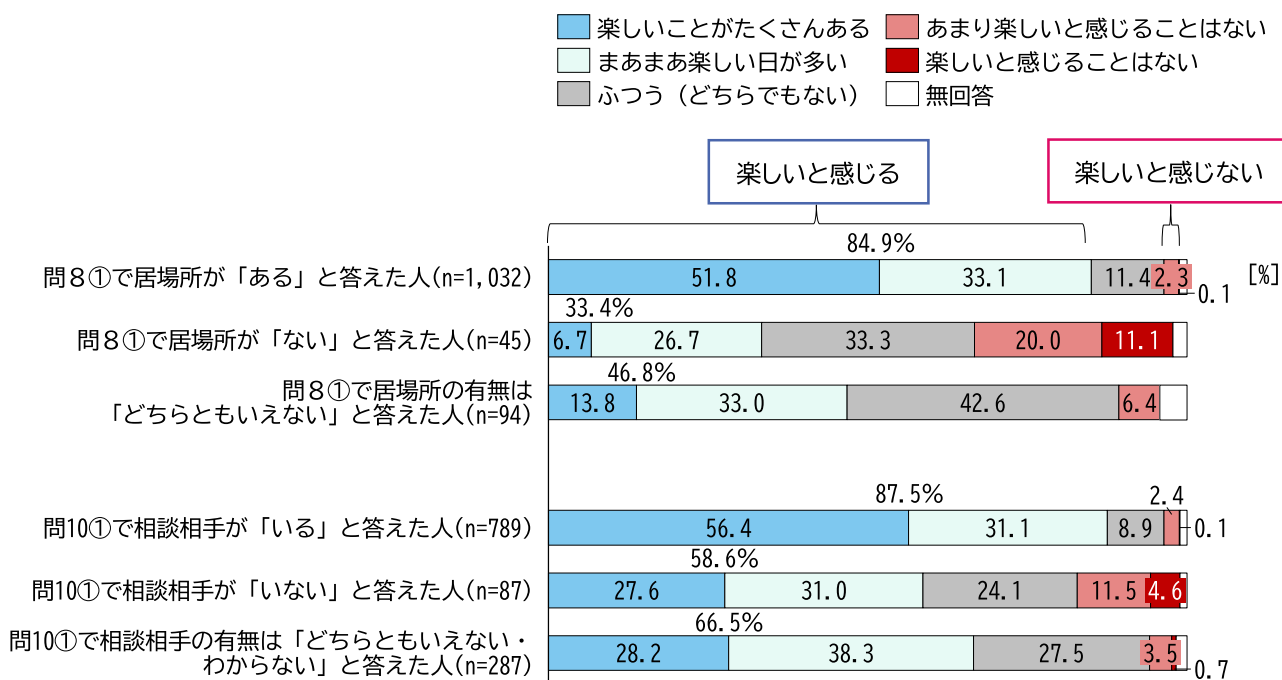
34

質問12 毎日、楽しいと感じることはある？(1つ選んでね)【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】



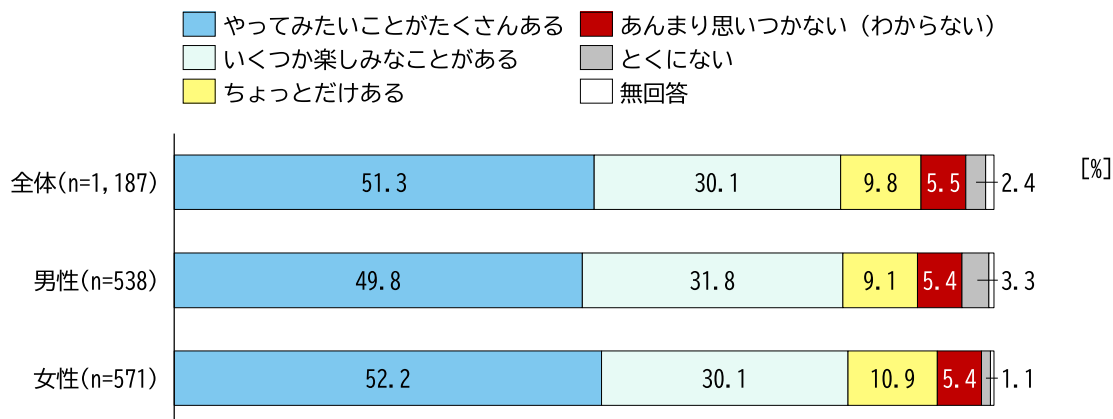
自分の意見や考えが大切にされていると感じている人が毎日を楽しんでいる割合は86%に上る一方で、自分の意見や考えが大切にされていないと感じている人が毎日を楽しんでいる割合は37%程度にとどまり、両者に大きな差があることがわかる。

質問12 毎日、楽しいと感じることはある？(1つ選んでね)【居場所、相談相手の有無での比較】



居場所がある人や相談相手がいる人はそうでない人と比べて、毎日『楽しいと感じる』割合が高い。

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはある？(1つ選んでね)【全体と男女別比較】

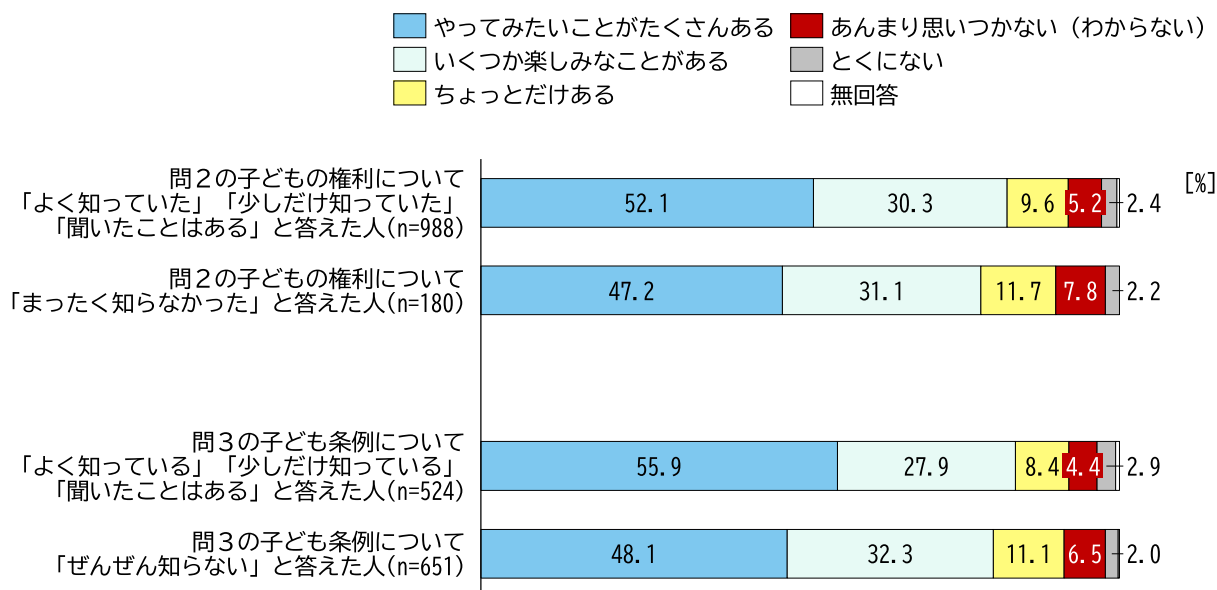


大人になったら、「やってみたいことがたくさんある」割合は51.3%。

37

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはある？(1つ選んでね)

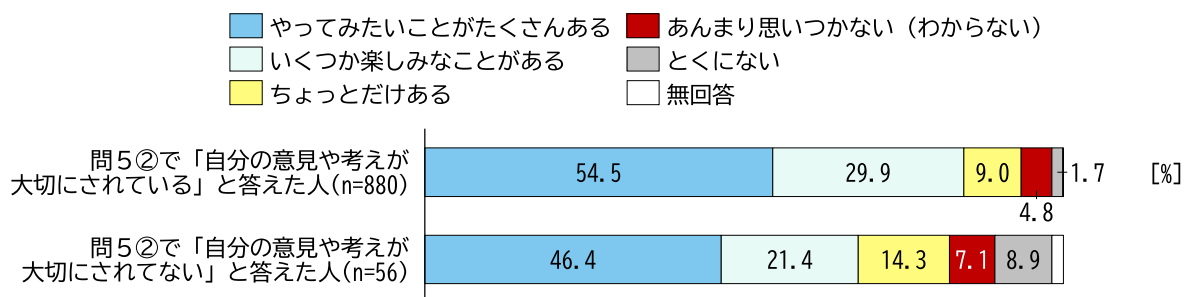
【子どもの権利、子どもの条例の認知度での比較】



子どもの権利や条例を認知している人は認知していない人と比べて、「やってみたいことがたくさんある」の回答割合がやや高い。

38

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはある？(1つ選んでね)【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】

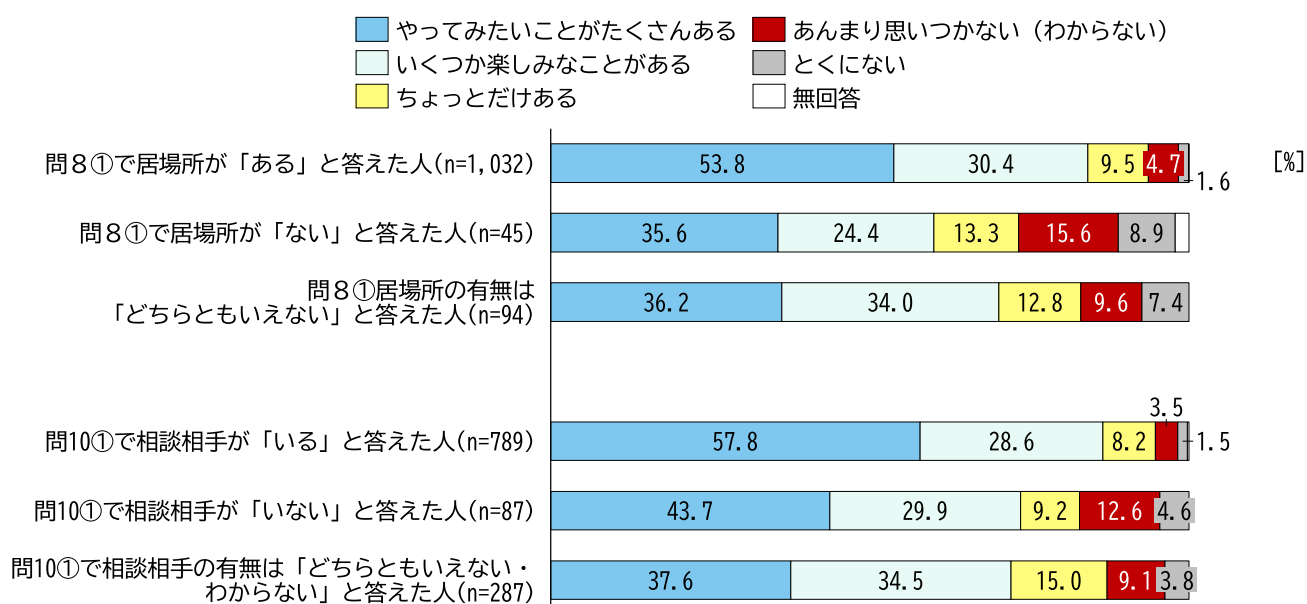


自分の意見や考えが大切にされていないと感じている人は、「やってみたいことがたくさんある」の回答割合が低い。

39

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはある？(1つ選んでね)

【居場所、相談相手の有無での比較】



居場所がある人や相談相手がいる人は居場所がない人や相談相手がいらない人と比べて、「やってみたいことがたくさんある」の回答割合が高い。

40

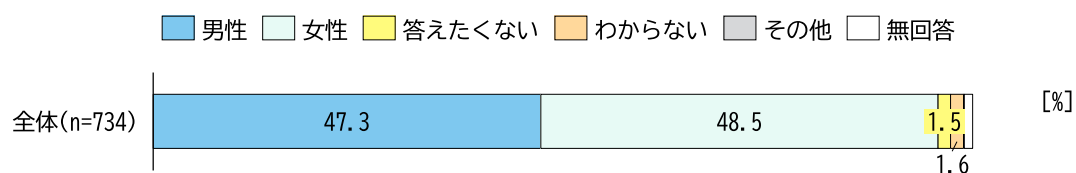
中学2年生調査結果

41

03_ 中学2年生調査結果

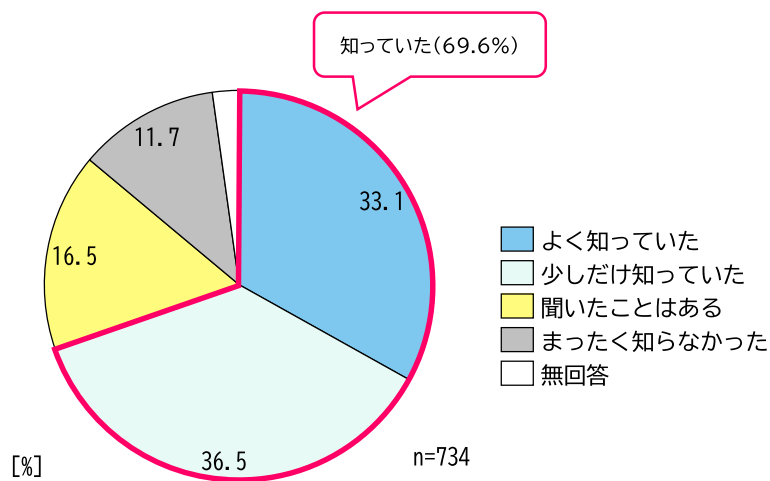
(1)あなたのことについて

質問1 あなたの性別はなんですか？(1つだけ)



42

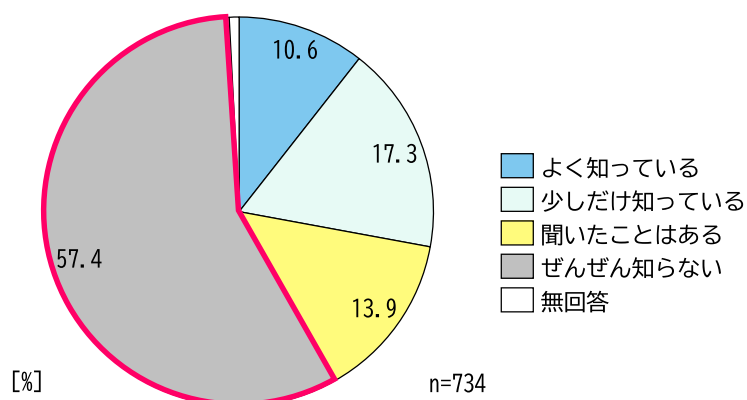
質問2 子どもには大切な権利があるってこと、これまで知っていましたか？(1つだけ)



大切な子どもの権利について、『知っていた』が69.6%。

43

質問3 ①子どもも大人も、みんなが子どもの権利を大切にしていくために、ルールがあります。「北区子どもの権利と幸せに関する条例」って知っていますか？(1つだけ)

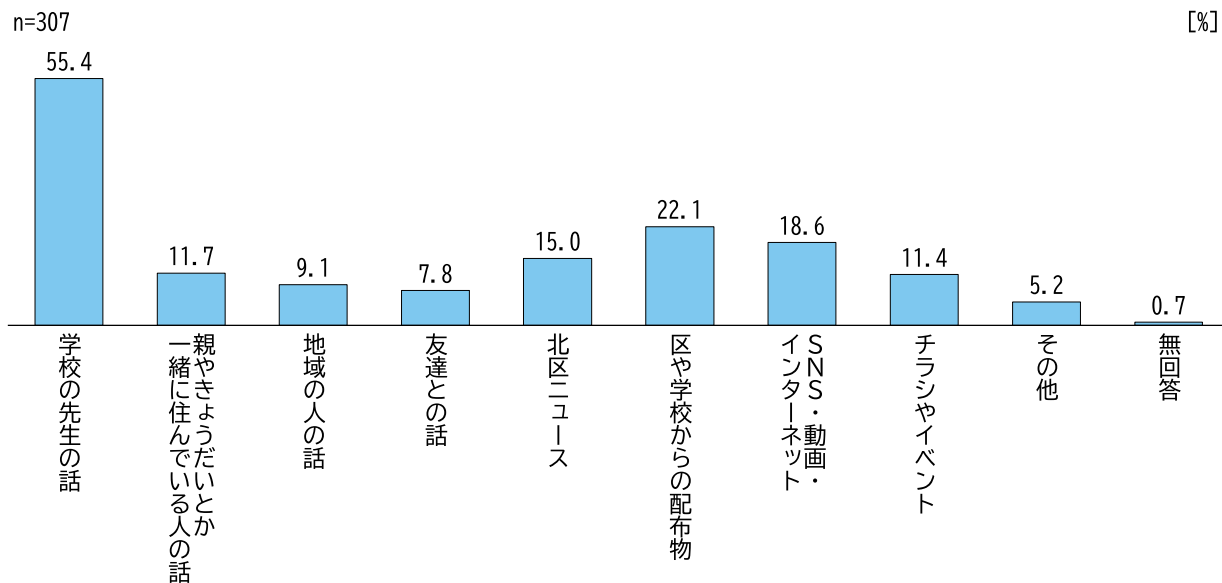


北区子どもの権利と幸せに関する条例について、「ぜんぜん知らない」との回答は57.4%と過半数が条例のことを知らない。

44

質問3 ②(①で1～3と回答した場合)「子どもの権利と幸せに関する条例」を知ったきっかけはなんですか？

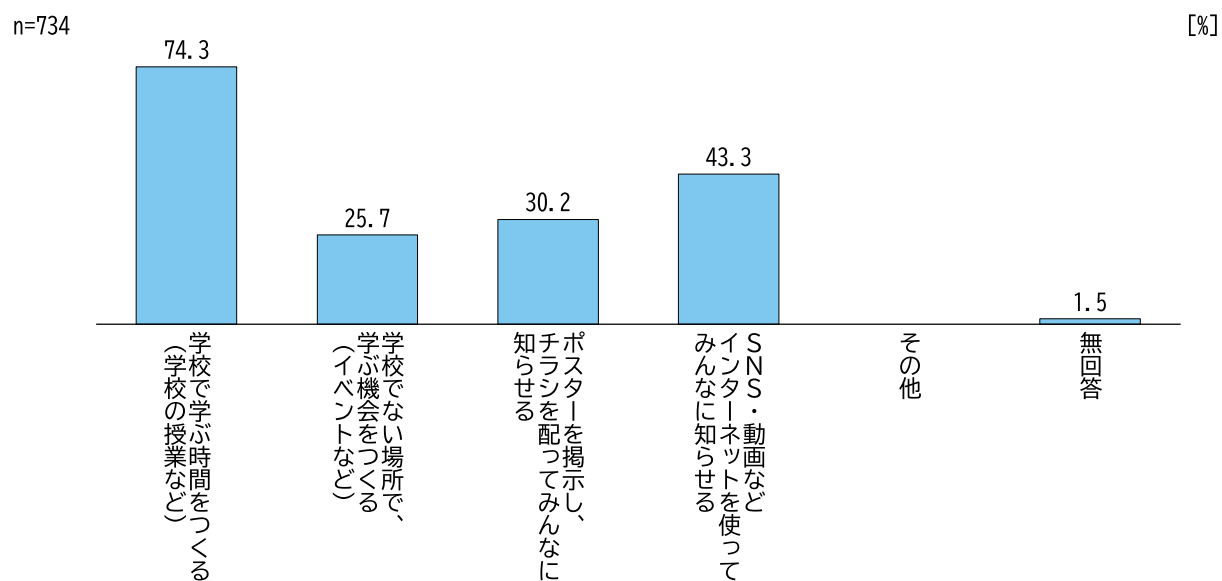
(いくつでも)



条例を知ったきっかけは、学校の先生の話との回答が最も多い。

45

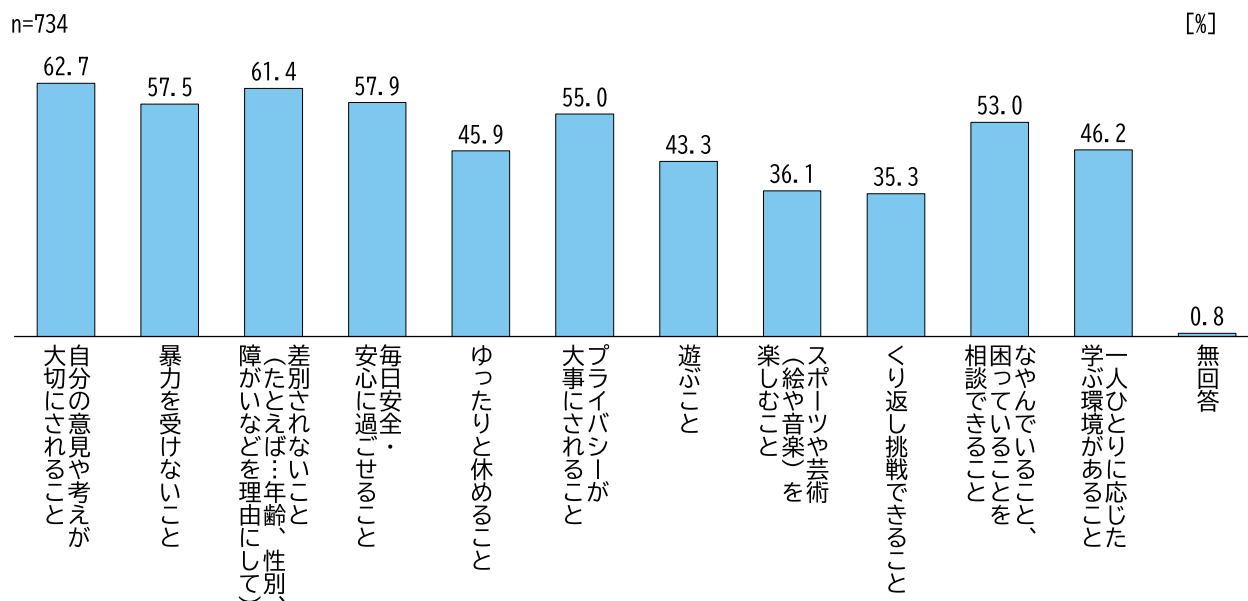
質問4 子どもの権利のこと、たくさん子どもたちに知ってもらいたいと思っています。そのために何をすることが大事だと思いますか？(いくつでも)



子どもの権利を知ってもらうための取り組みについて、「学校で学ぶ時間をつくる(学校の授業など)」が74.3%に上り、学校での学ぶ時間を設けることが重要と考える子どもが多い。

46

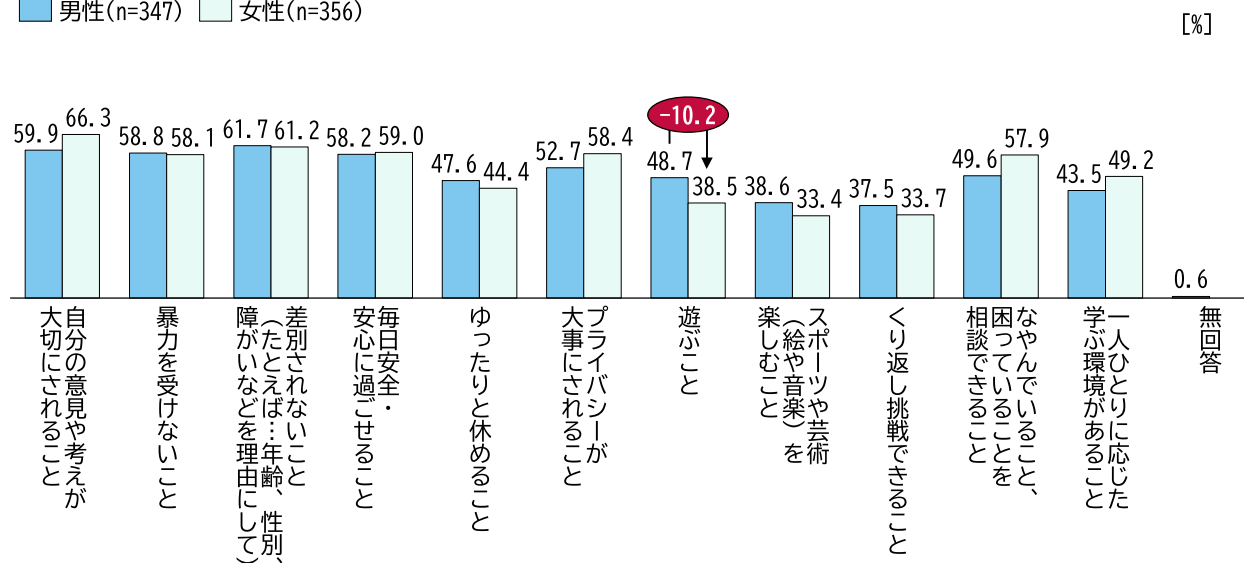
質問5 ①「子どもの権利と幸せに関する条例」には、11個の大切な子どもの権利が書いてあります。いま、特に大切だと思うものはどれですか？(いくつでも)



条例に記載されている11個の権利で、大切だと思うものは「自分の意見や考えが大切にされること」「差別されないこと」との回答が6割を超え、最も多い。

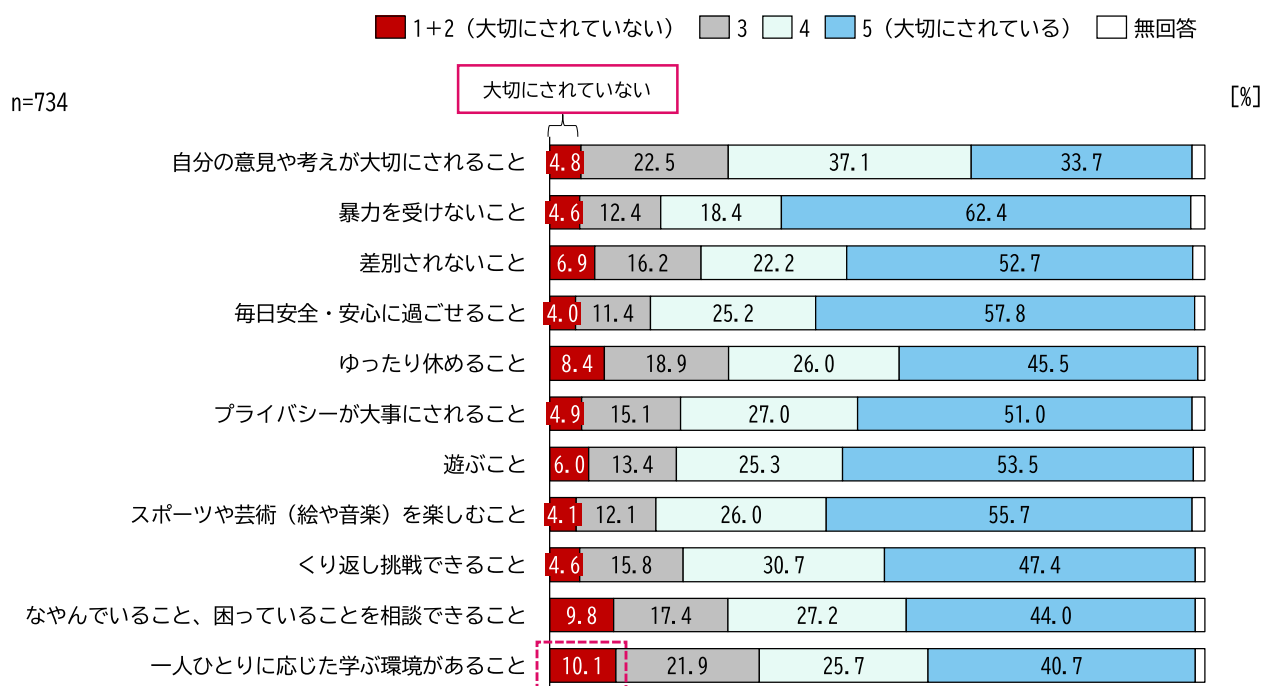
質問5 ①「子どもの権利と幸せに関する条例」には、11個の大切な子どもの権利が書いてあります。いま、特に大切だと思うものはどれですか？(いくつでも)

■ 男性(n=347) ■ 女性(n=356)



「遊ぶこと」の項目では男女差で10%以上の差がある。また、「自分の意見や考えが大切にされること」、「プライバシーが大事にされること」、「相談できること」の項目では、女性が男性より5%以上高い。

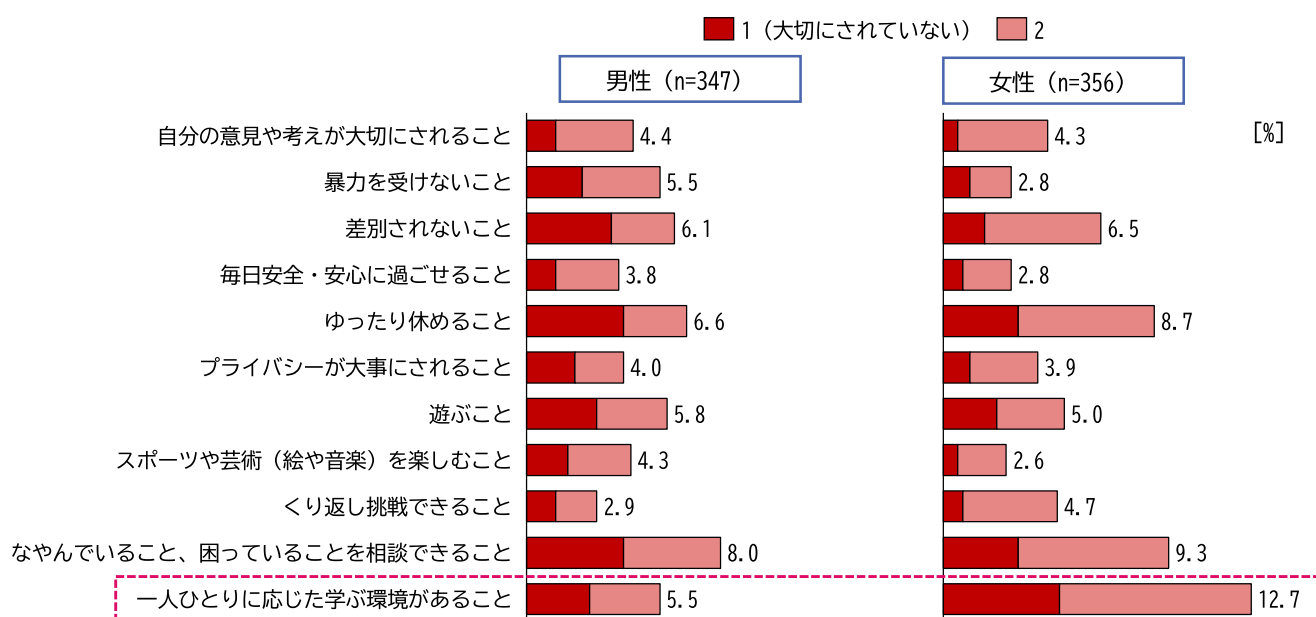
質問5 ②11個の子どもの権利が、毎日の生活の中で、どのくらい大切にされていると感じますか？5点満点で、それぞれ教えてください。



「一人ひとりに応じた学ぶ環境があること」が、大切にされていないと感じている割合が最も高い。

49

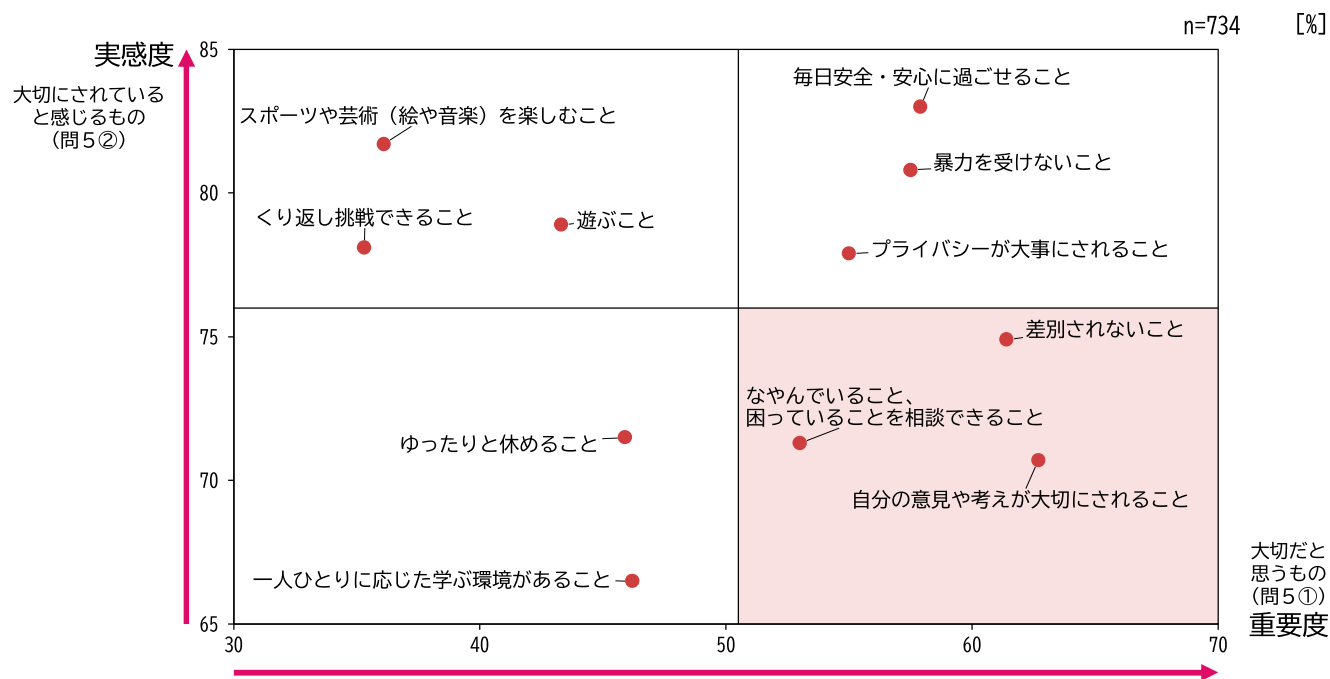
質問5 ②11個の子どもの権利が、毎日の生活の中で、どのくらい大切にされていると感じますか？5点満点で、それぞれ教えてください。【子どもの権利が大切にされていない(1点または2点)と回答した割合(男女別比較)】



女性は男性に比べて、「一人ひとりに応じた学ぶ環境があること」について、大切にされていないと感じている割合が多い。

50

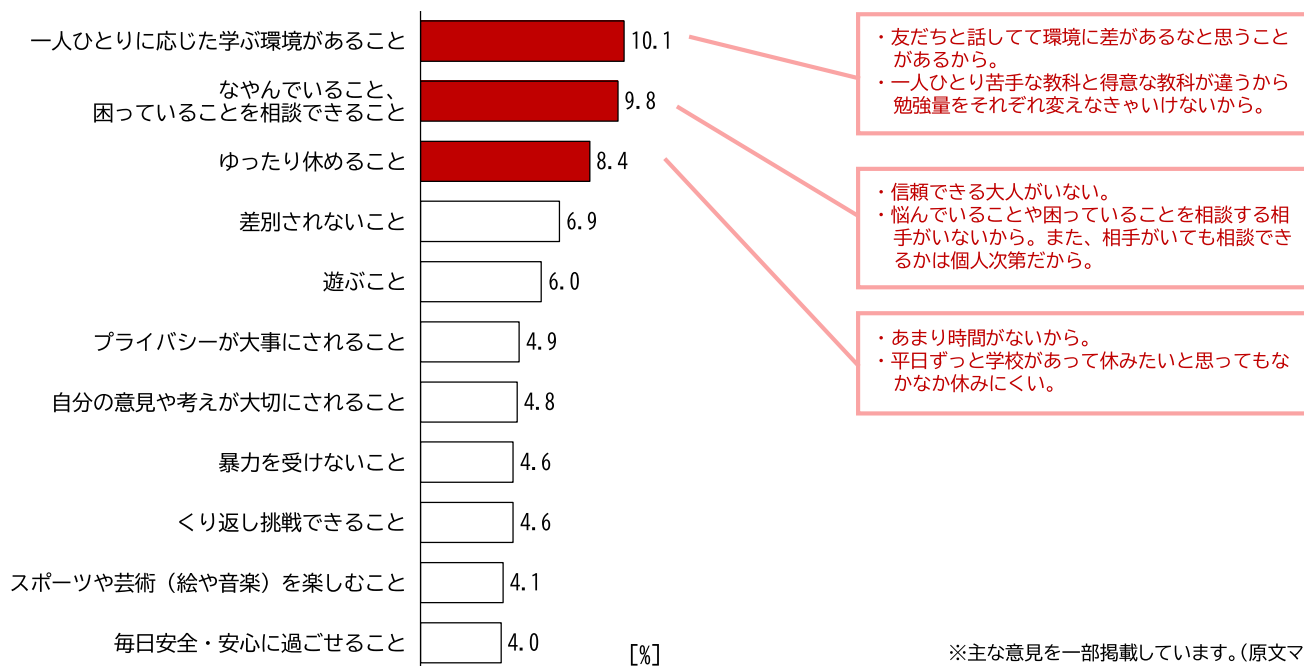
◆問5①(大切だと思う権利)(重要度)と問5②(大切にされている実感)(実感度)との相関図



「差別されないこと」「自分の意見や考えが大切にされること」「相談できること」は相対的にみると、重要視されているわりに大切にされていないと感じる割合が高い。

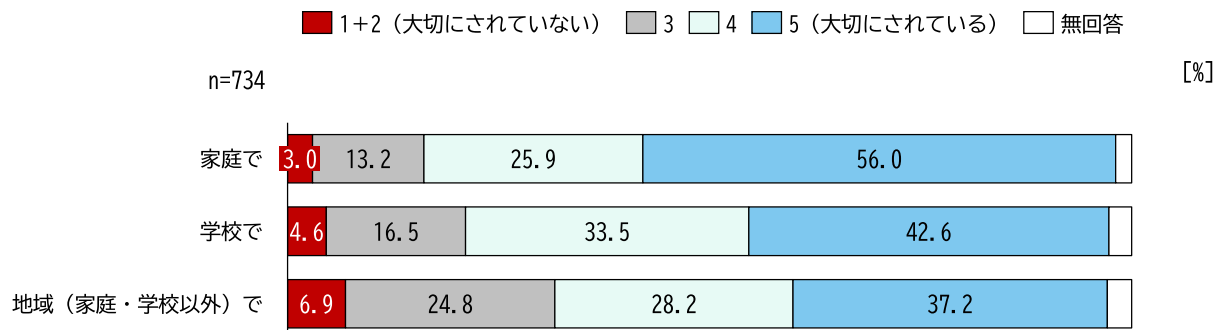
質問5 ③ ②で、「2」や「1」となったものはどうしてそう感じますか？ 自由に記入してください(記入しなくても大丈夫です)。

□ 1+2 (大切にされていない)



質問6 家庭や学校などで自分の意見や考えを大事にてもらえていると感じますか？5点満点で選んでください。

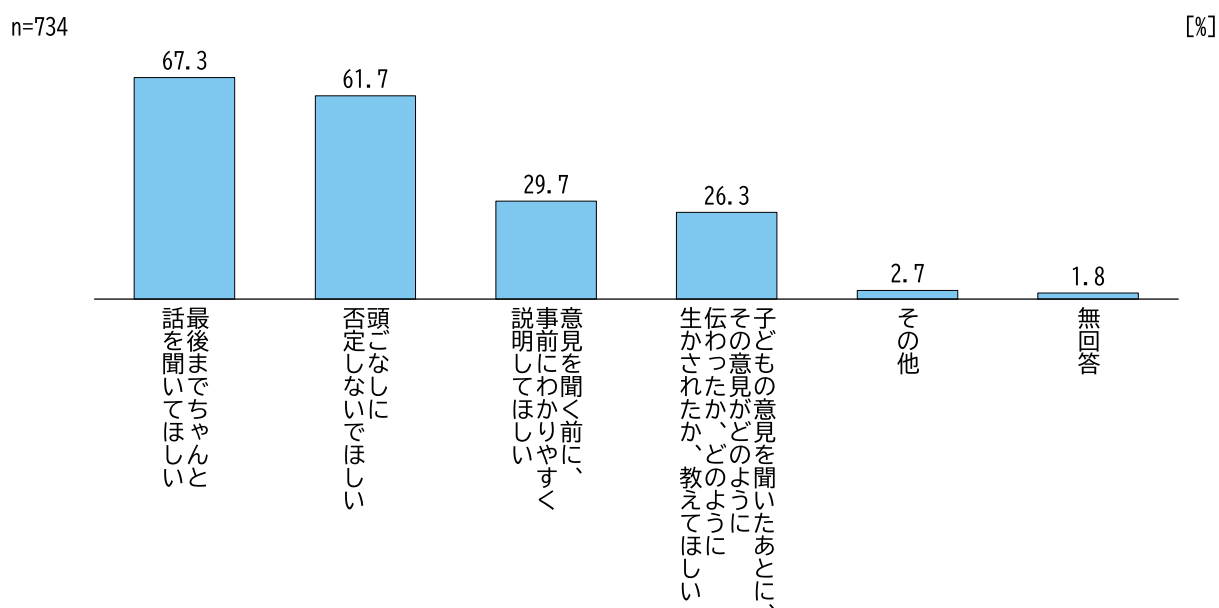
(1つだけ)



地域(家庭・学校以外)では、自分の意見や考えを大切にされていないと感じている割合が6.9%。

53

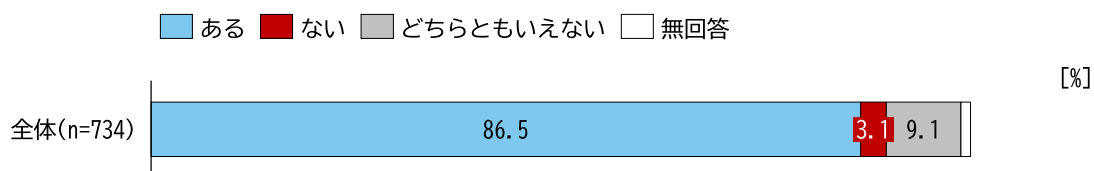
質問7 大人が子どもの声や意見をきくときに、大切にしてほしいことはなんですか？(いくつでも)



大人が子どもの意見を聞くとときに大切にしてほしいことは、「最後までちゃんと話を聞いてほしい」が67.3%。

54

質問8 ①毎日、ほっとできると感じる居場所や自分だけのほっとできる時間がありますか？(1つだけ)

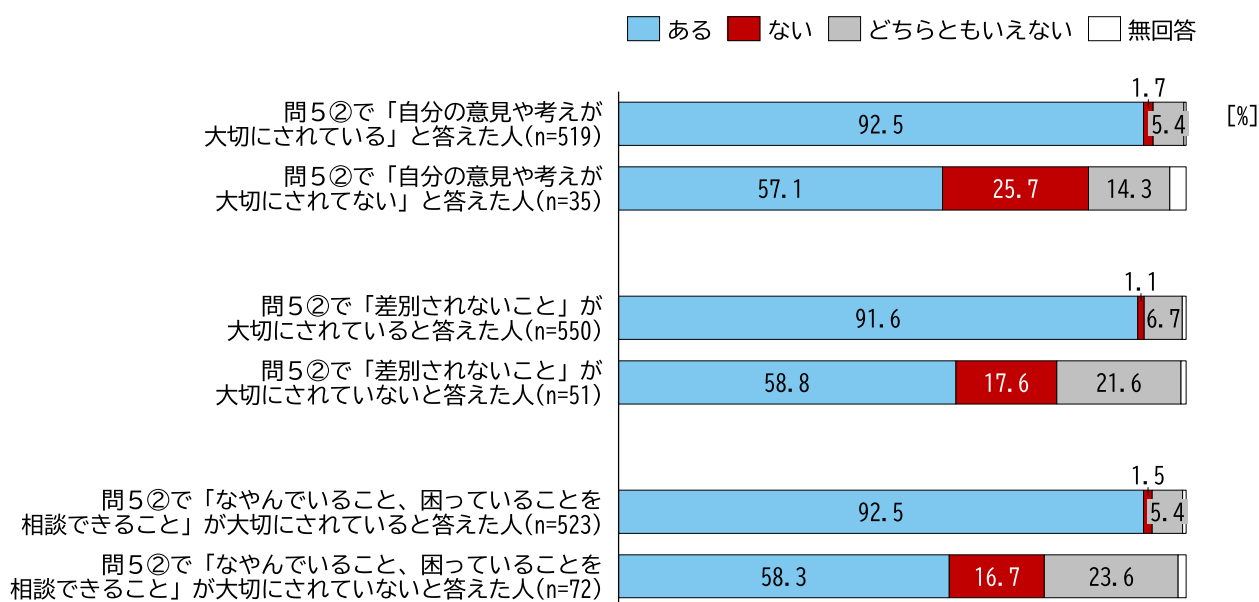


ほっとできると感じる居場所の有無について、こうした居場所や時間があると答える人は86.5%。

55

質問8 ①毎日、ほっとできると感じる居場所や自分だけのほっとできる時間がありますか？(1つだけ)

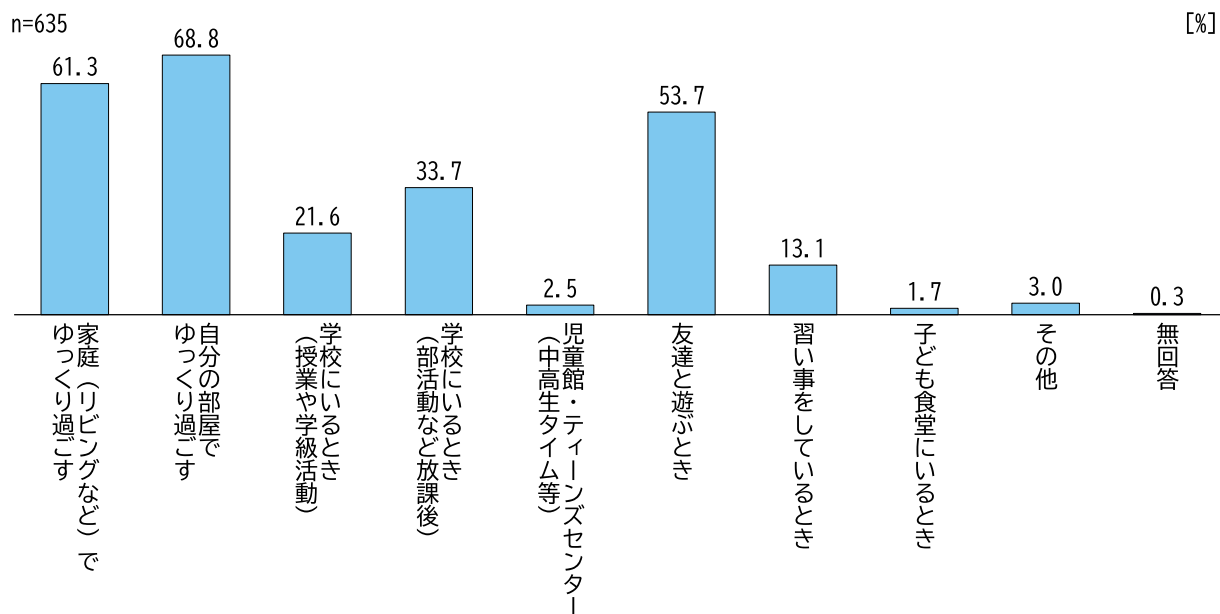
【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】



子どもの権利が大切にされていないと感じている人は大切にされていると感じている人に比べて、ほっとできると感じる居場所が「ない」との回答が高い。

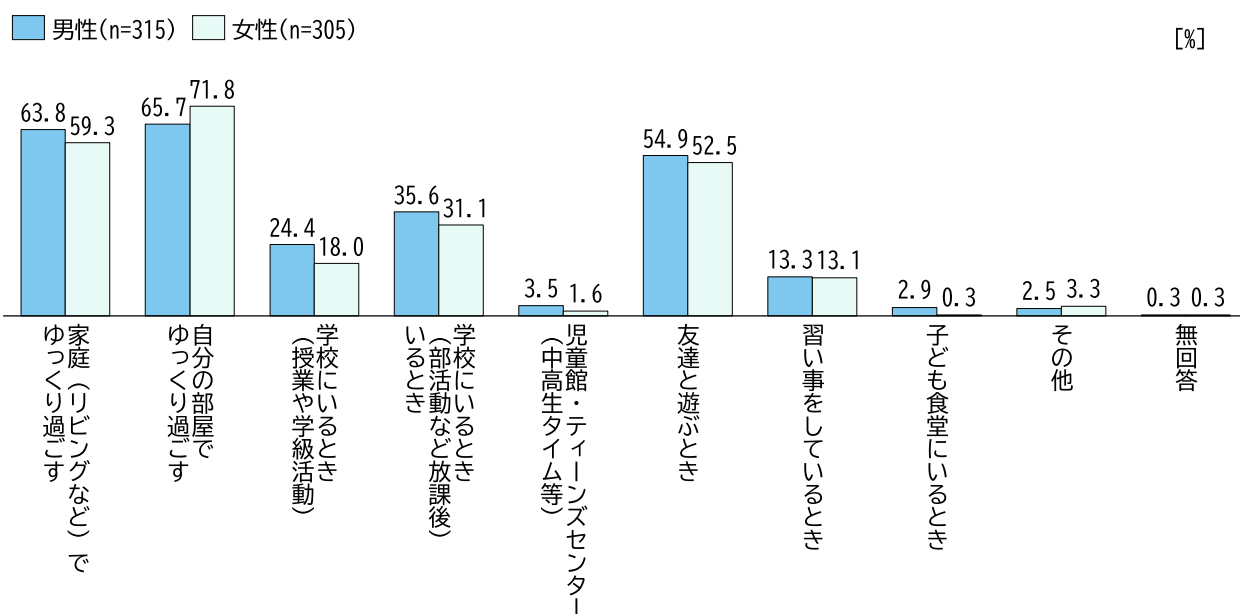
56

質問8 ②<①で、あると回答した場合>ほっとできる居場所はどんなところですか？あと、どんな時間を過ごしているときにほっとできると感じますか？(いくつでも)



ほっとできる居場所や時間について、「自分の部屋でゆっくり過ごす」が68.8%、「家庭(リビングなどで)ゆっくり過ごす」が61.3%。また「友達と遊ぶとき」と回答する割合も5割を超える。

質問8 ②<①で、あると回答した場合>ほっとできる居場所はどんなところですか？あと、どんな時間を過ごしているときにほっとできると感じますか？(いくつでも)【男女別比較】



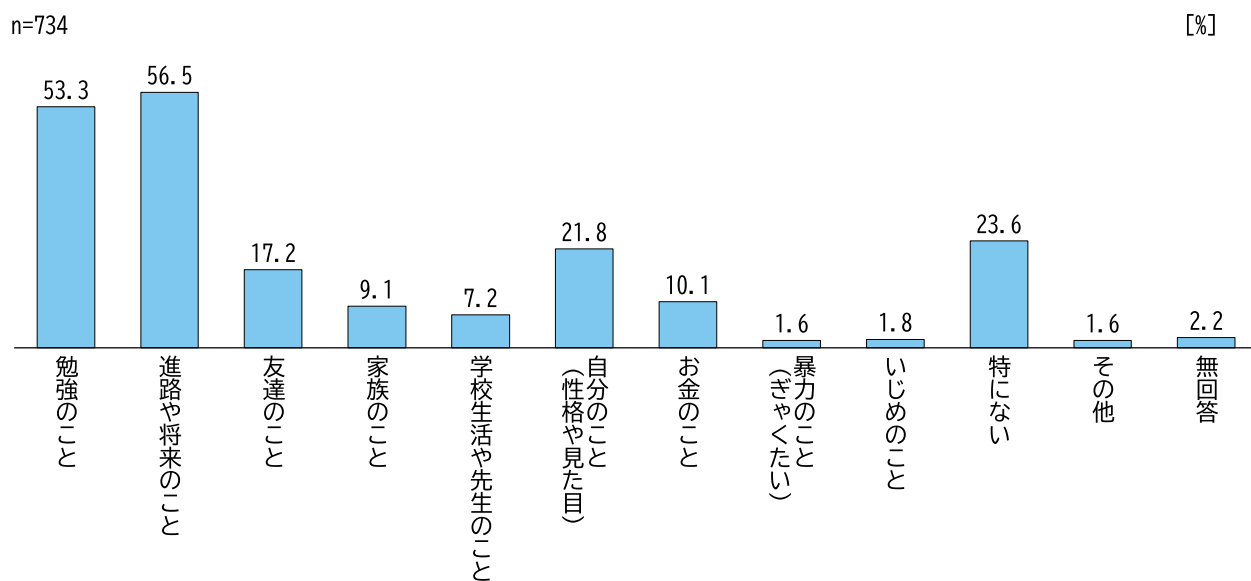
男女ともに、「自分の部屋でゆっくり過ごす」が最も高い。また、「家庭(リビングなどで)ゆっくり過ごす」「友達と遊ぶとき」と回答する割合も高い。

質問8 ③<①で、「ない」または「どちらでもない」と回答した場合>どうしてそのように思いますか？(どのようになったらよいと思いますか？)自由に記入してください(記入しなくても大丈夫です)。

主な意見
日によって違うから。
家では親が自分が話している時に最後まで話を聞かないが塾だと自分が話す時に最後まで聞いてくれるからどちらとも言えない。
学校でほっとするようなことはできないから。
常にストレスが掛かっているため。
自分の部屋がなく、一人になれる場所がない。
スマホや電子機器などの自由が全く無いのでほしい。
家でも常に怒られるからほっとできない。ほっとする時間がない。ただ、部活はほっとできるし、安心できる。
塾とか部活とか学校があってあまりゆっくりできる時間がないから。
あまり子供が自由に動ける場所や、自由に勉強をできるスペースが限られているから、大人から子供じゃなくて、子供専用の図書館とかを設置したほうがいい。
家の中も落ち着かないから。前までは、音楽を聞いていれば落ち着いたが、今では何をしても落ち着かないし、休めているなという実感がわからないから。
勉強学校にいとストレス溜まっていららするし、家でも親がかえってくるとずっとなにか言われ続けてうるさいから、あまり落ち着けるときはない。

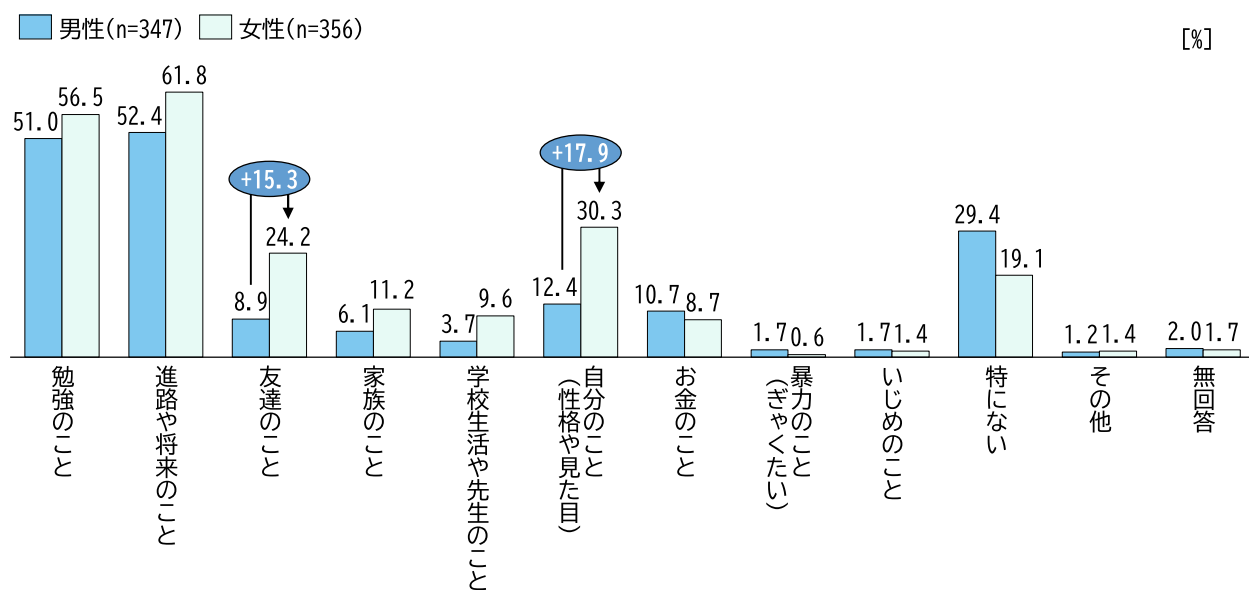
※主な意見を一部掲載しています。(原文ママ)

質問9 今、困っていたり、悩んでいることはありますか？(いくつでも)



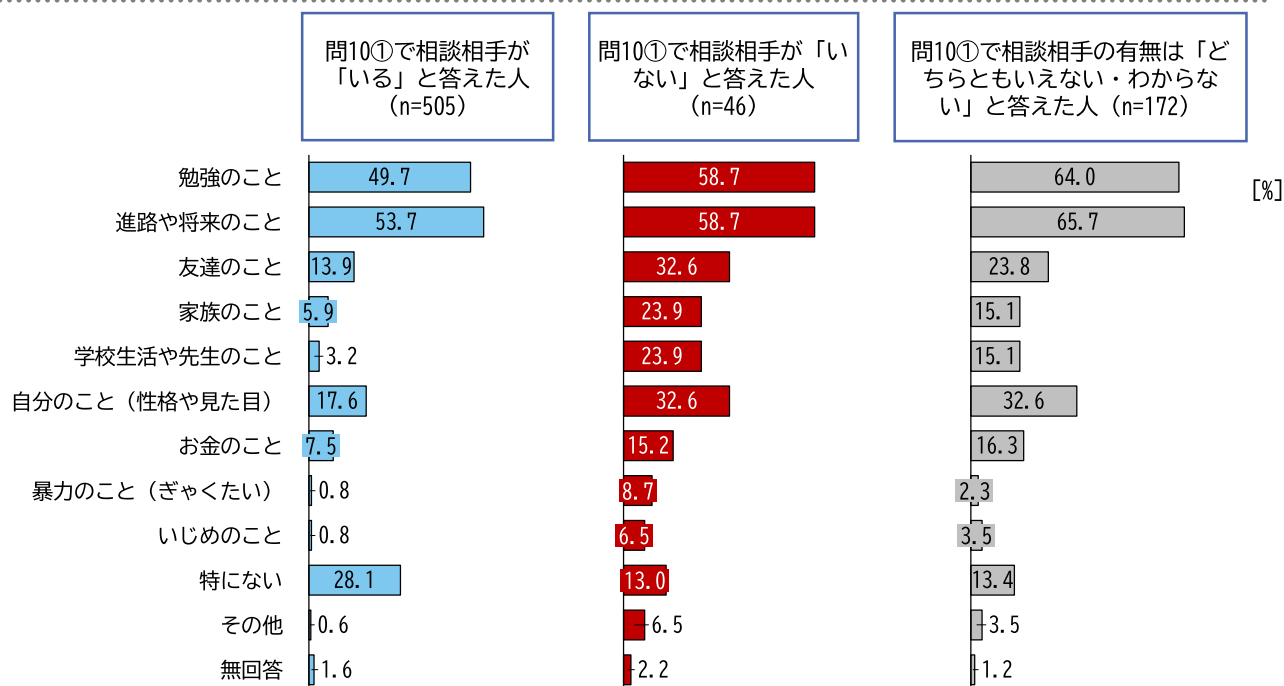
悩みや困りごとについて、「進路や将来のこと」「勉強のこと」が5割を超えており、全体の中で特に回答が多かった。

質問9 今、困っていたり、悩んでいることはありますか？(いくつでも)【男女別比較】



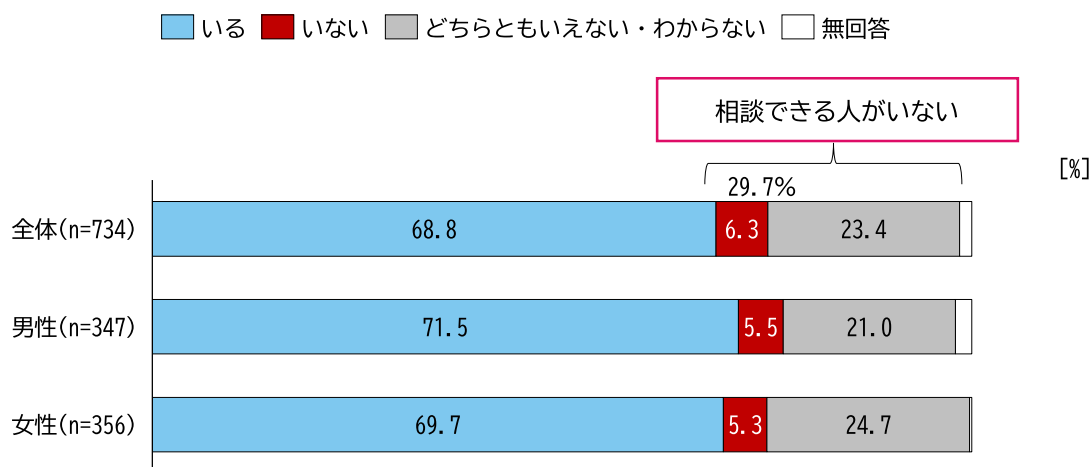
「友達のこと」「自分のこと(性格や見た目)」の項目では男女間で大きな差が出た。

質問9 今、困っていたり、悩んでいることはありますか？(いくつでも)【相談相手の有無での比較】



相談相手がいない人は相談相手がいる人と比べて、すべての項目が高い。

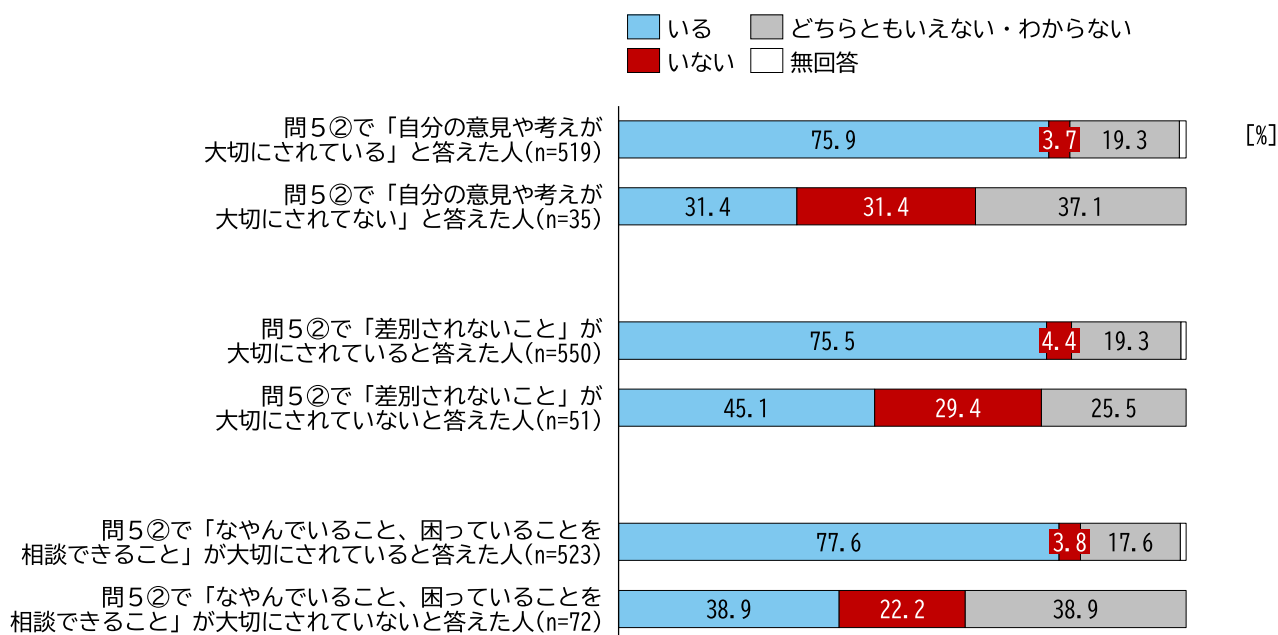
質問10 ①相談できる人はいますか？(1つだけ)【全体と男女別比較】



相談できる人の有無について、相談できる人がいないとの回答は29.7%と約3割となっている。

63

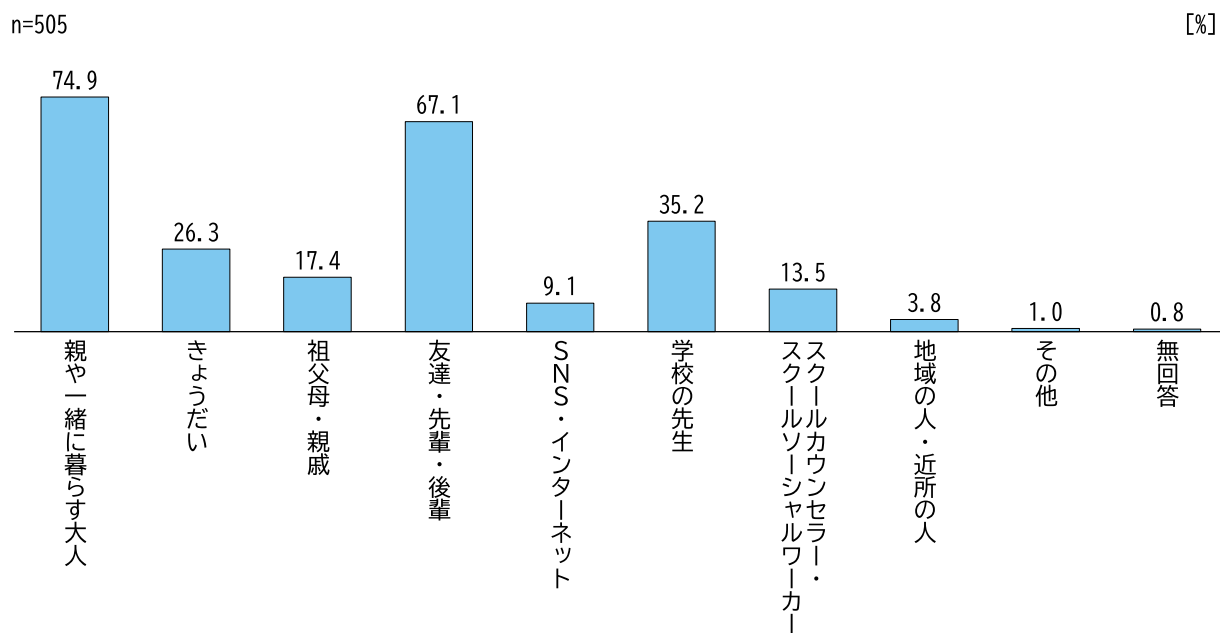
質問10 ①相談できる人はいますか？(1つだけ)【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】



子どもの権利が大切にされていないと感じている人は大切にされていると感じている人に比べて、相談できる人が「いない」との回答が高い。

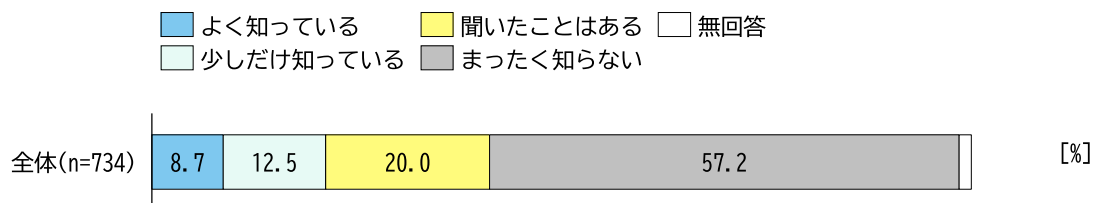
64

質問10 ②<①で、いると回答した場合>相談できる人はだれですか？(いくつでも)



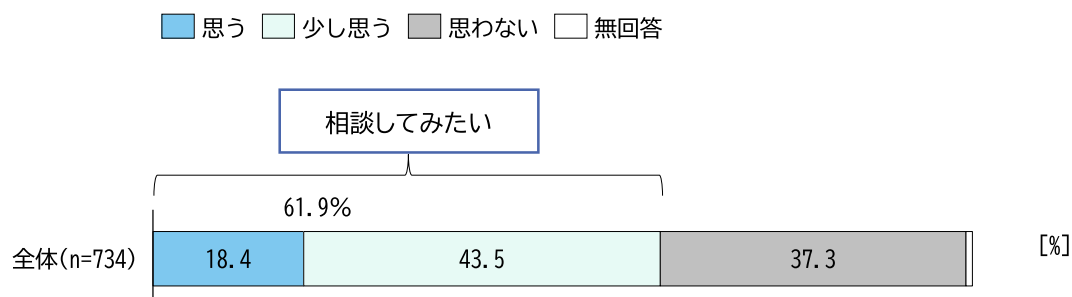
相談できる人について、「親と一緒に暮らす大人」が74.9%。

質問11 ①子どもの権利擁護委員って聞いたことがありますか？みなさんが悩んでいるときに話を聞いたり、助けたりしてくれる人です。(1つだけ)



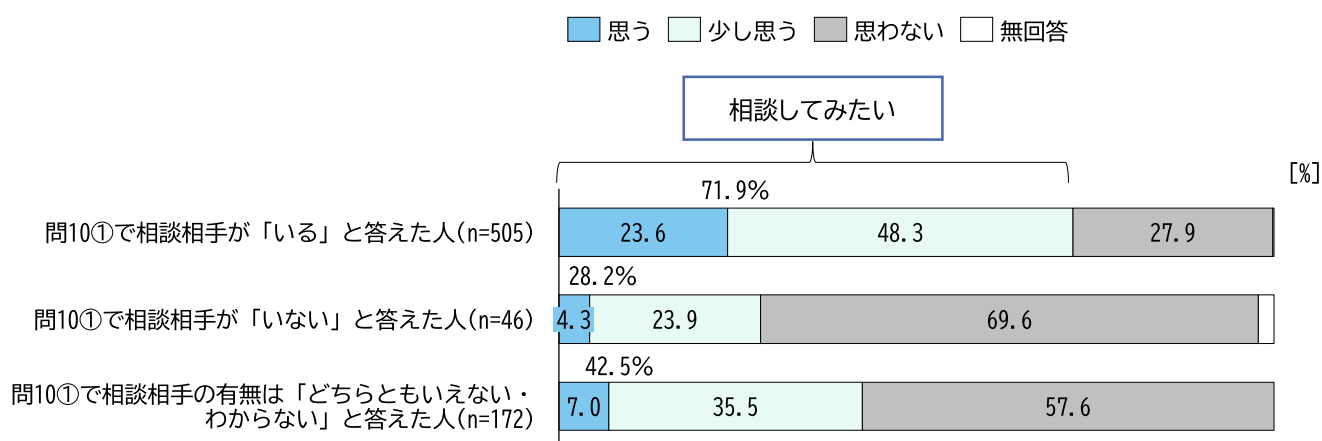
子どもの権利擁護委員の認知について、「まったく知らない」との回答は57.2%と過半数が子どもの権利擁護委員のことを知らない。

質問11 ②いま、悩んでいたり、これから悩むことがあったとき、子どもの権利擁護委員に相談してみたいと思いますか？(1つだけ)



子どもの権利擁護委員への相談意向について、『相談してみたい』との回答は61.9%。

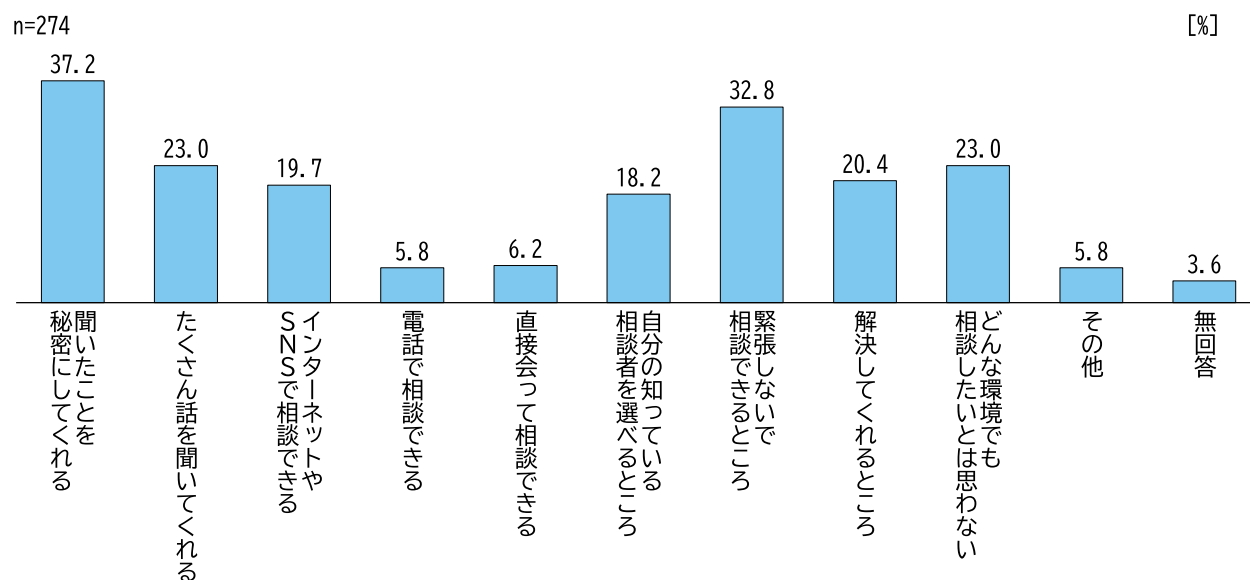
質問11 ②いま、悩んでいたり、これから悩むことがあったとき、子どもの権利擁護委員に相談してみたいと思いますか？(1つだけ) 【相談相手の有無での比較】



日常で相談相手がいないと回答した人は、相談相手がいると回答した人に比べ、子どもの権利擁護委員へ相談したいと思う割合が低い。

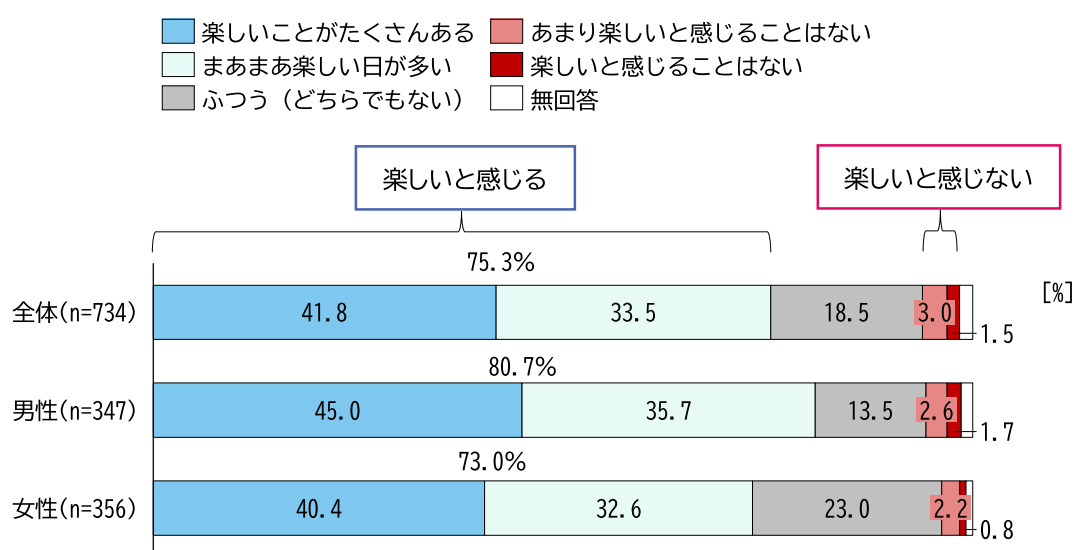
質問11 ③<②で思わないと答えた場合>相談しづらいと思う場合、どうすれば相談しやすくなると思いますか？

(いくつでも)



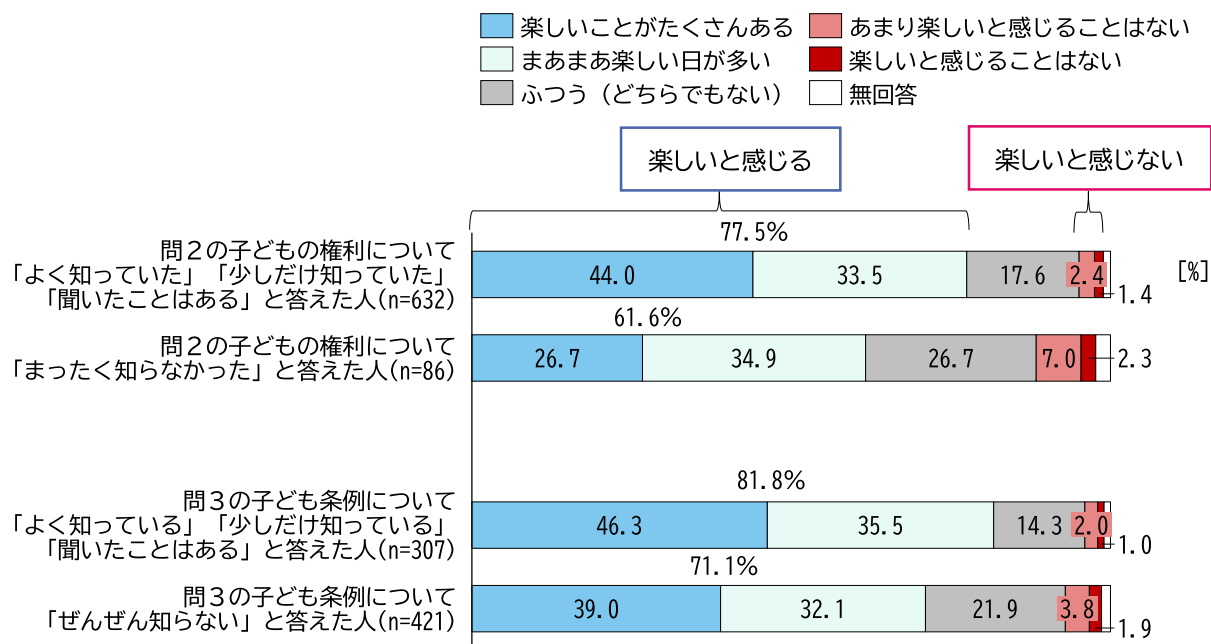
相談しやすくなる取り組みについて、「聞いたことを秘密にしてくれる」が37.2%、「緊張しないで相談できるところ」が32.8%と、秘匿性や気軽に相談できることを重視している子どもが多い。また、「どんな環境でも相談したいとは思わない」は2割台半ば。

質問12 毎日、楽しいと感じることはありますか？(1つだけ)【全体と男女別比較】



毎日が楽しいと感じる割合は75.3%。
男性は女性に比べて、『楽しいと感じる』との割合がやや高い。

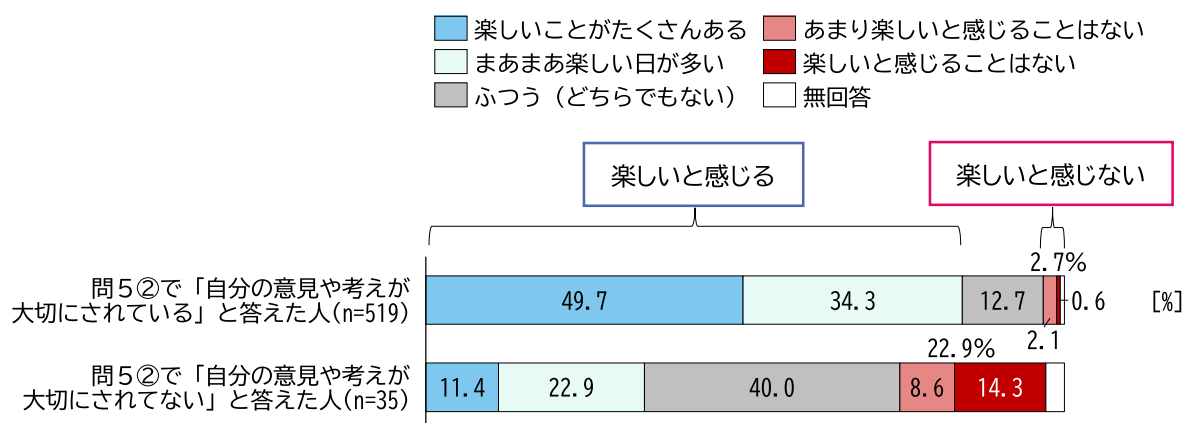
質問12 毎日、楽しいと感じることはありますか？(1つだけ)【子どもの権利、子どもの条例の認知度での比較】



子どもの権利や条例を認知していないと回答した人は認知していると回答した人に比べ、毎日楽しいと感じている割合が10%以上低い。

71

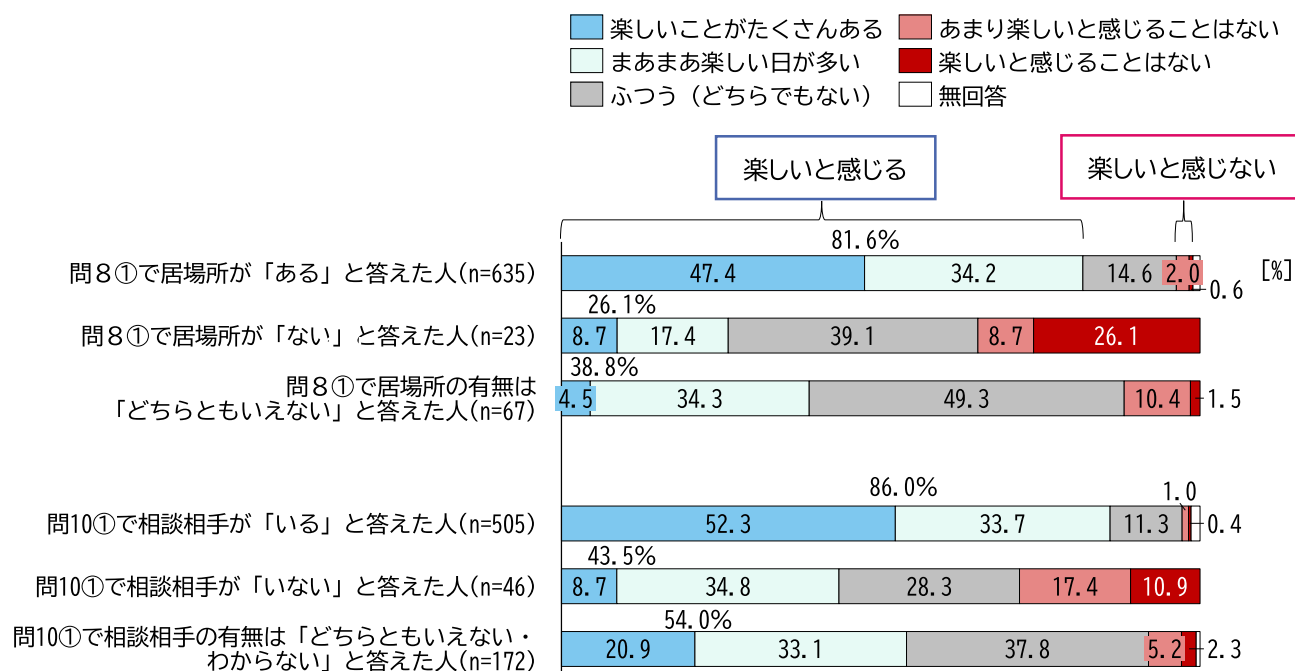
質問12 毎日、楽しいと感じることはありますか？(1つだけ)【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】



自分の意見や考えが大切にされていないと感じている人は、『楽しいと感じない』と答える割合が高い。

72

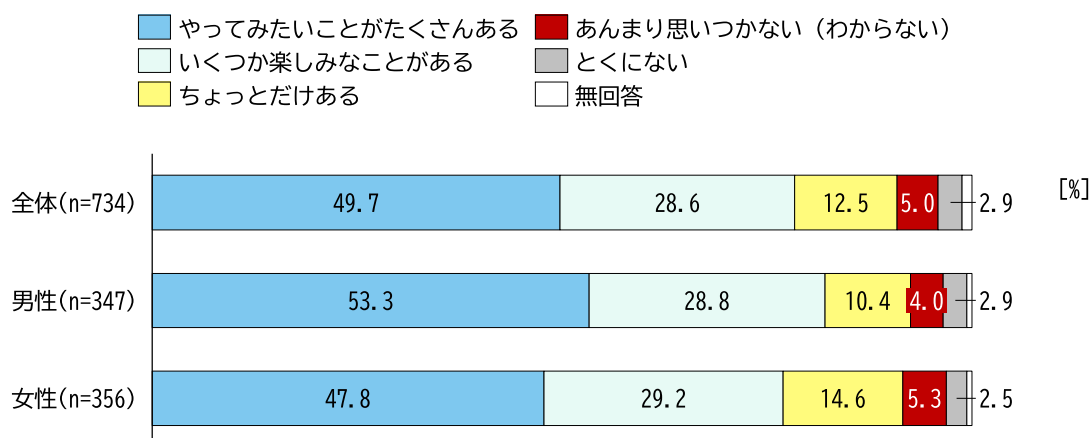
質問12 毎日、楽しいと感じることはありますか？(1つだけ)【居場所、相談相手の有無での比較】



居場所がある人や相談相手がいる人はそうでないと答える人と比べて、『楽しいと感じる』が高い。

73

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはありますか？(1つだけ)【全体と男女別比較】

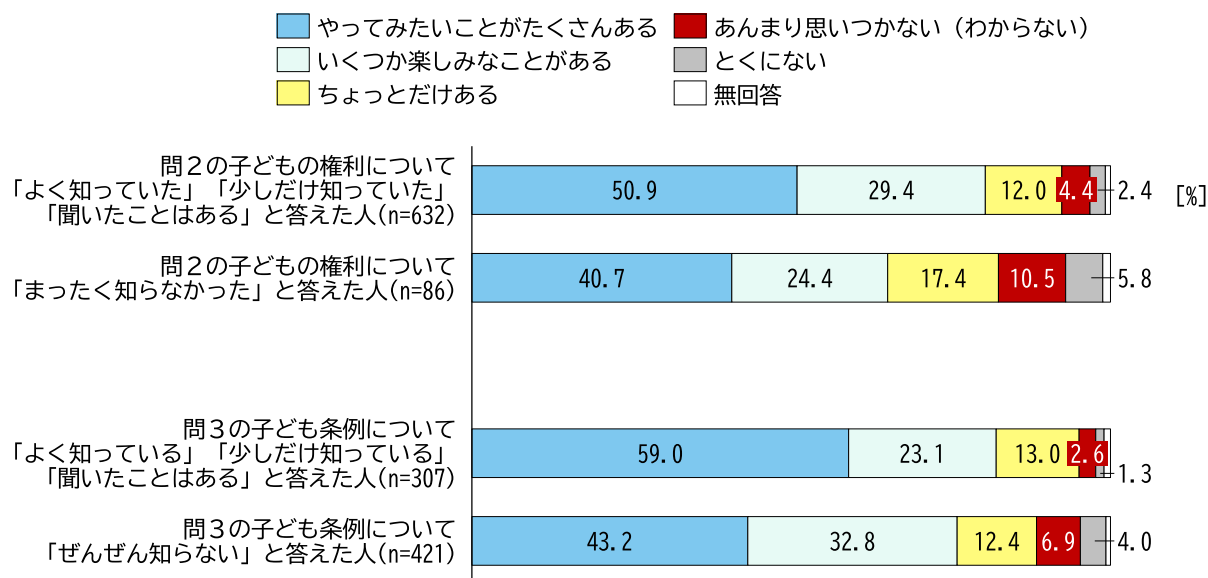


大人になったら、「やってみたいことがたくさんある」割合は49.7%。
男性は女性に比べて、「やってみたいことがたくさんある」がやや高い。

74

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはありますか？(1つだけ)

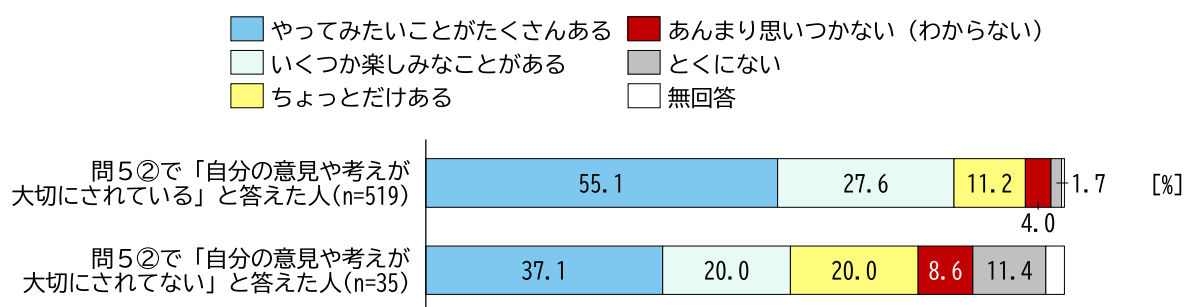
【子どもの権利、子どもの条例の認知度での比較】



子どもの権利や条例を認知している人は認知していない人と比べて、「やってみたいことがたくさんある」が高い。

75

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはありますか？(1つだけ)【問5②(大切にされている実感)の各回答別との比較】

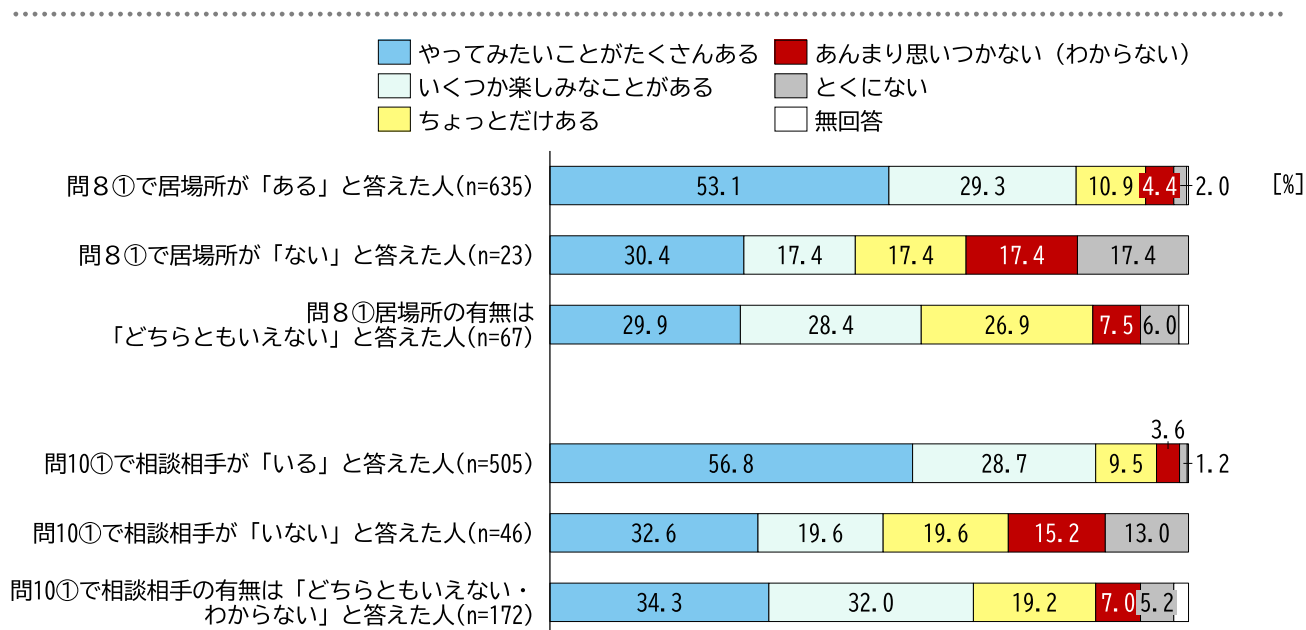


自分の意見や考えが大切にされていないと感じている人は、「やってみたいことがたくさんある」の回答割合が低い。

76

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはありますか？(1つだけ)

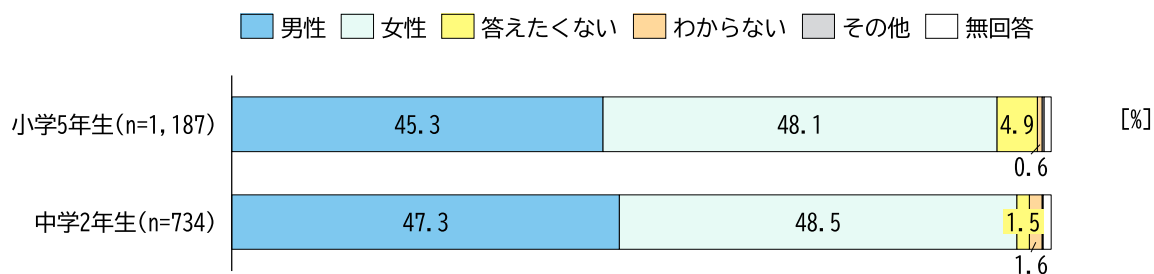
【居場所、相談相手の有無での比較】



居場所がある人や相談相手がいる人は居場所がない人や相談相手がいらない人と比べて、「やってみたいことがたくさんある」の回答割合が高い。

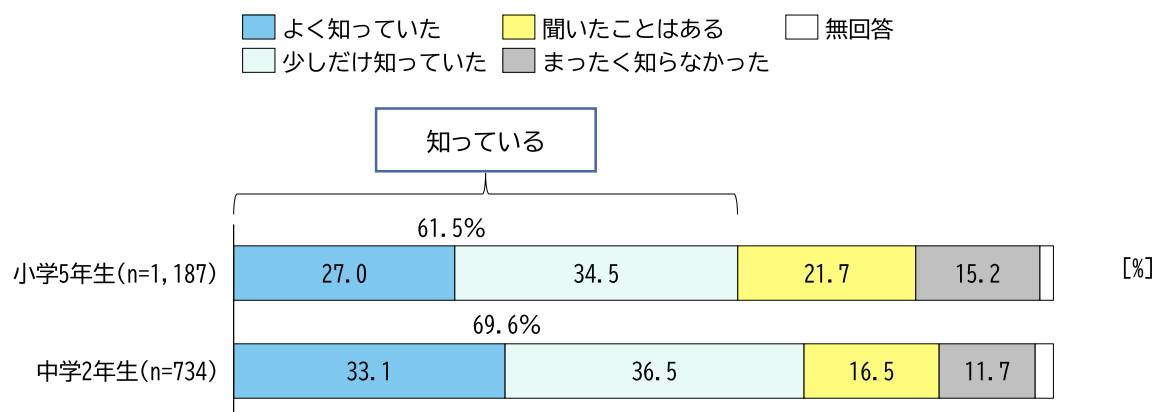
小学5年生と中学2年生の 調査結果比較

質問1 あなたの性別はなんですか？(1つだけ)



79

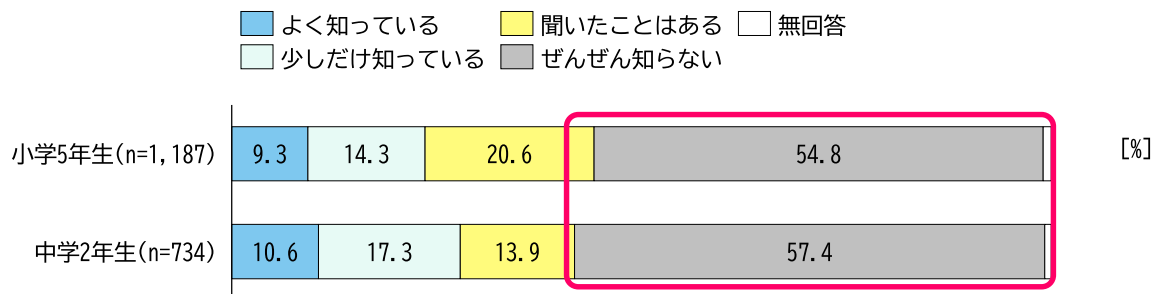
質問2 子どもには大切な権利があるってこと、これまで知っていましたか？(1つだけ)



大切な子どもの権利について、「知っている」との回答が約6割～7割である。また、中学2年生は小学5年生と比べて、『知っている』割合がやや高い。

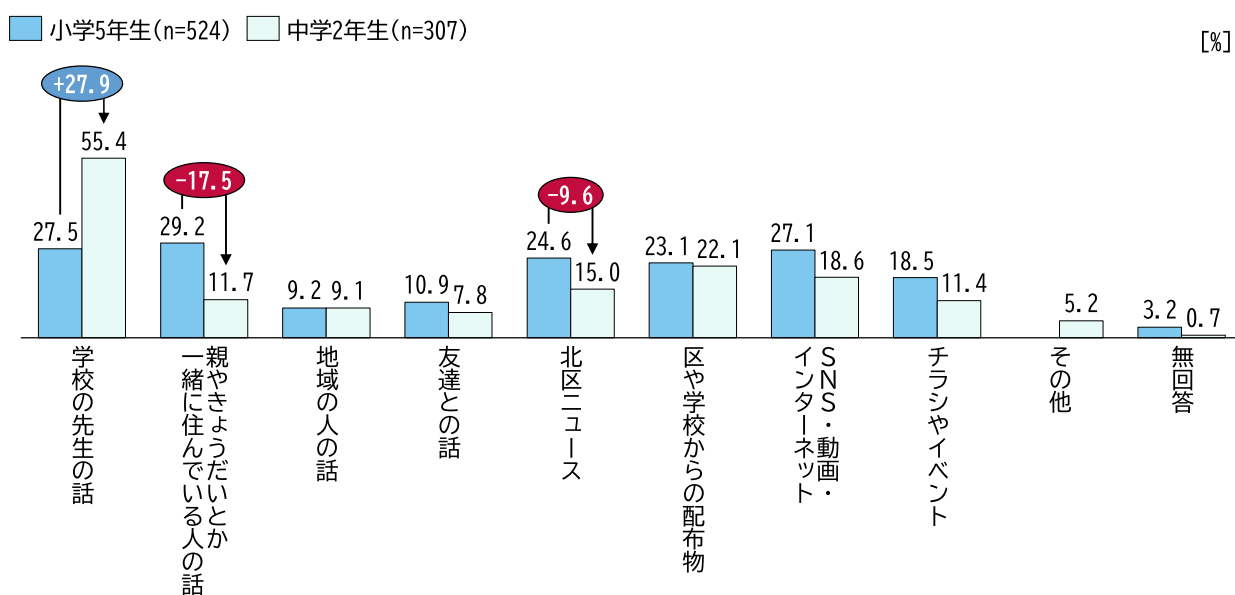
80

質問3 ①子どもも大人も、みんなが子どもの権利を大切にしていくために、ルールがあります。「北区子どもの権利と幸せに関する条例」って知っていますか？(1つだけ)



北区子どもの権利と幸せに関する条例について、は小学5年生、中学2年生のいずれも「ぜんぜん知らない」との回答が過半数を超える。また、中学2年生は小学5年生と比べて、「ぜんぜん知らない」の回答割合がやや高い。

質問3 ②(①で1～3と回答した場合)「子どもの権利と幸せに関する条例」を知ったきっかけはなんですか？
(いくつでも)

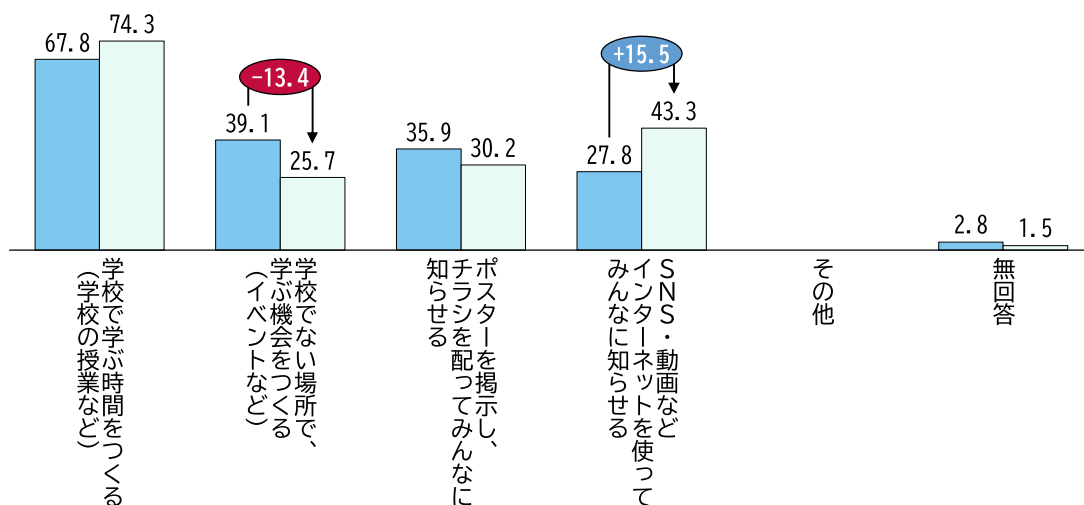


条例を知ったきっかけは、小学5年生で「親やきょうだいとか一緒に住んでいる人の話」が最も多い一方で、中学2年生では「学校の先生の話」が最も多い。

質問4 子どもの権利のことで、たくさん子どもたちに知ってもらいたいと思っています。そのために何をすることが大事だと思いますか？(いくつでも)

■ 小学5年生(n=1,187) ■ 中学2年生(n=734)

[%]

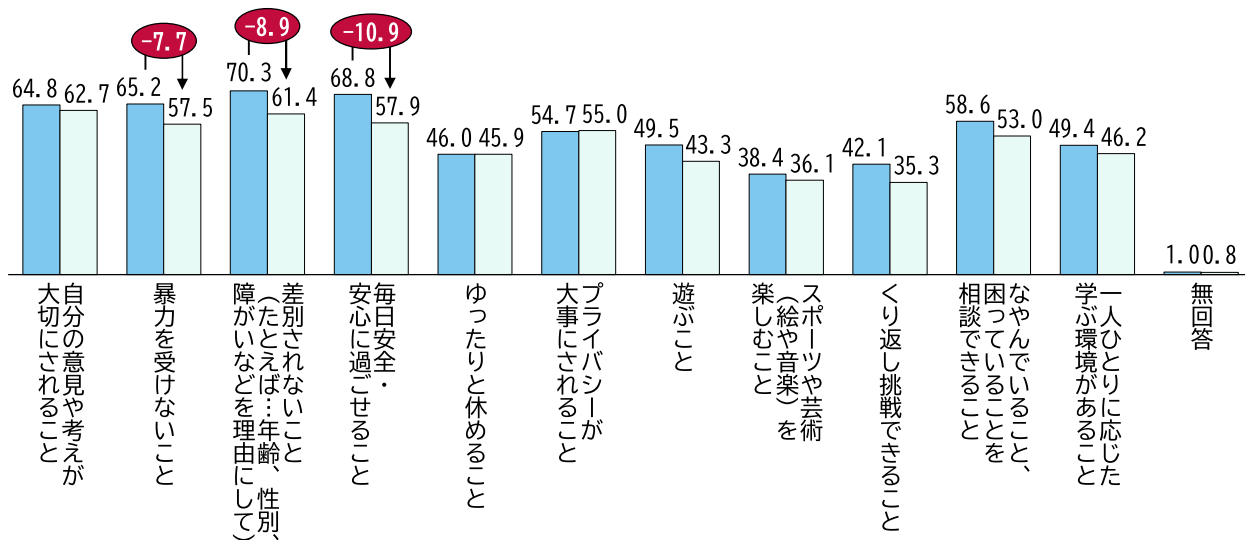


子どもの権利を知ってもらうための取り組みについて、「学校で学ぶ時間をつくる」との回答が小学5年生、中学2年生のいずれも約7割に上り、学校で学ぶ時間を設けることが重要と考える子どもが多い。また、中学2年生は小学5年生に比べて、「SNS・動画などインターネットを使ってみんなに知らせる」の回答が多い。

質問5 ①「子どもの権利と幸せに関する条例」には、11個の大切な子どもの権利が書いてあります。いま、特に大切だと思うものはどれですか？(いくつでも)

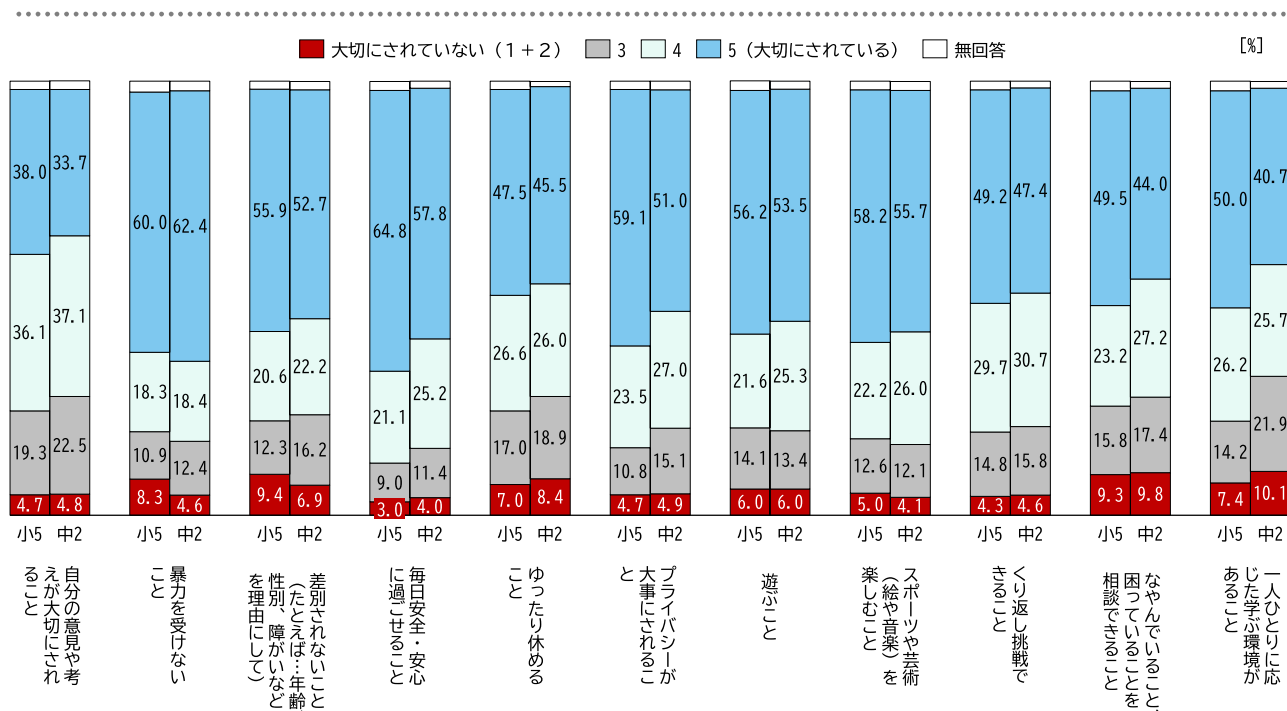
■ 小学5年生(n=1,187) ■ 中学2年生(n=734)

[%]



条例に記載されている11個の権利で、大切だと思うものは、小学5年生は中学2年生に比べて、「暴力を受けないこと」「差別されないこと」「毎日安全・安心に過ごせること」が高い。

質問5 ②11個の子どもの権利が、毎日の生活の中で、どのくらい大切にされていると感じますか？5点満点で、それぞれ教えてください。

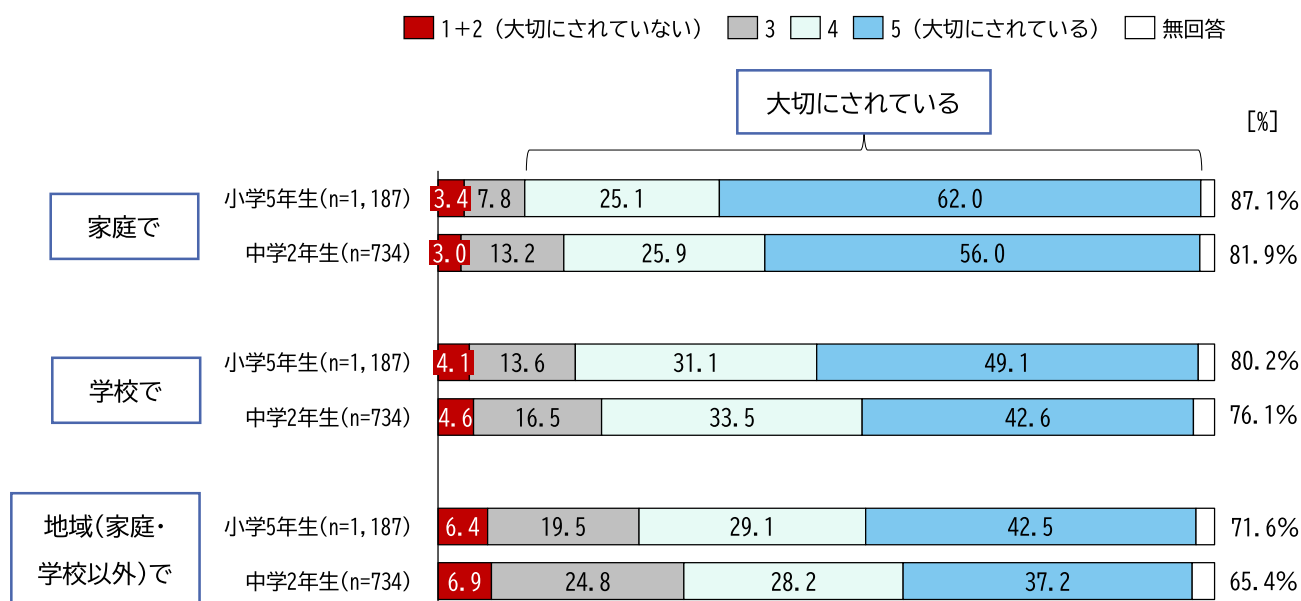


小学5年生は中学2年生に比べて、「暴力を受けないこと」「差別されないこと」について、大切にされていないと感じる割合が高い。

85

質問6 家庭や学校などで自分の意見や考えを大事にてもらっていると感じますか？5点満点で選んでください。

(1つだけ)

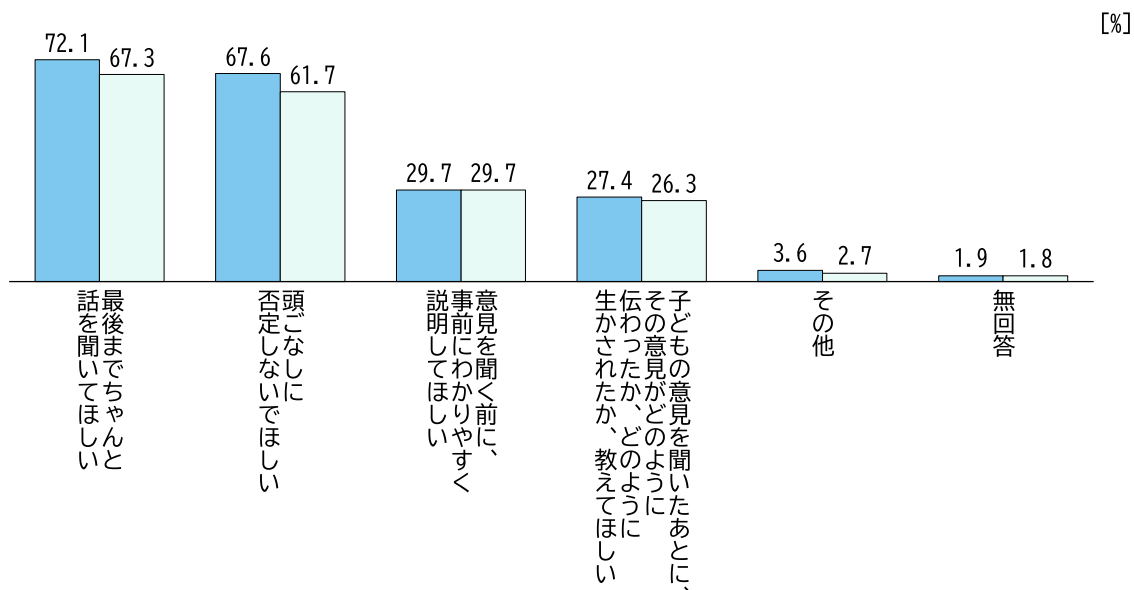


中学2年生は小学5年生に比べて、どの場面でも『自分の意見や考えを大切にされている』と感じる割合が低い。

86

質問7 大人が子どもの声や意見をきくときに、大切にしてほしいことはなんですか？(いくつでも)

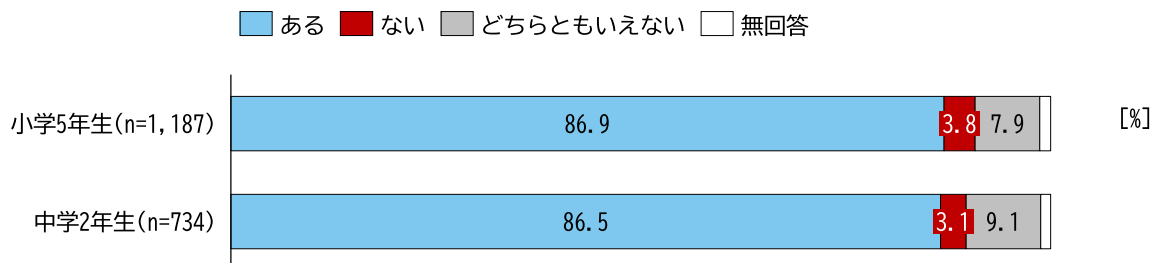
■ 小学5年生(n=1,187) ■ 中学2年生(n=734)



大人が子どもの意見を聞くとときに大切にしてほしいことは、小学5年生、中学2年生どちらも「最後までちゃんと話を聞いてほしい」が高い。

87

質問8 ①毎日、ほっとできると感じる居場所や自分だけのほっとできる時間がありますか？(1つだけ)



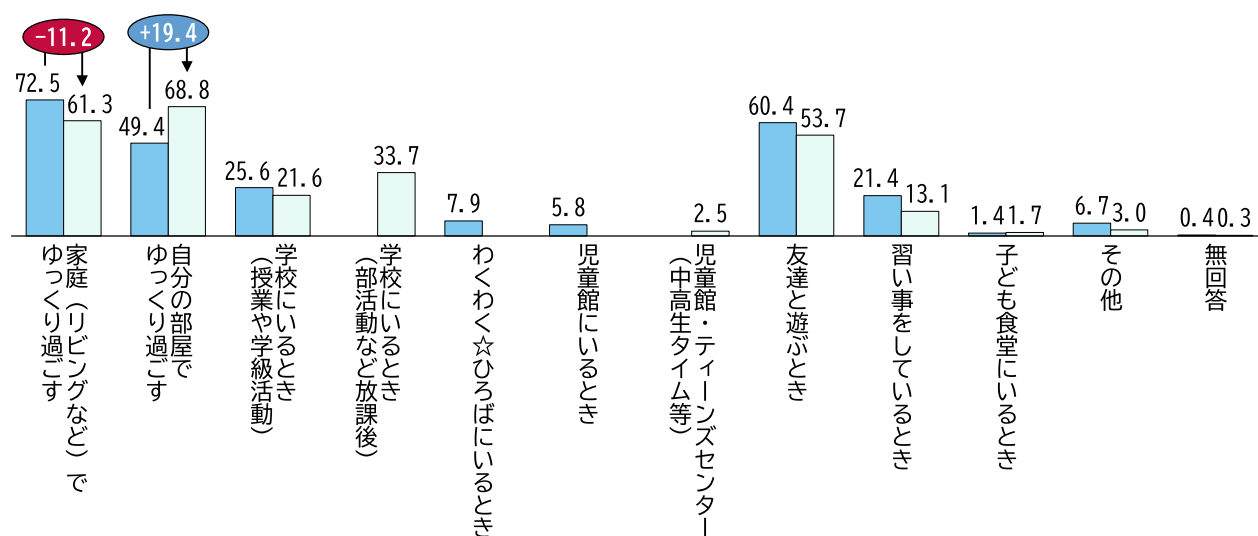
ほっとできると感じる居場所や時間の有無について、小学5年生、中学2年生いずれも、「ある」との回答が8割台半ば。

88

質問8 ②<①で、あると回答した場合>ほっとできる居場所はどんなところですか？あと、どんな時間を過ごしているときにほっとできると感じますか？(いくつでも)

■ 小学5年生(n=1,032) ■ 中学2年生(n=635)

[%]

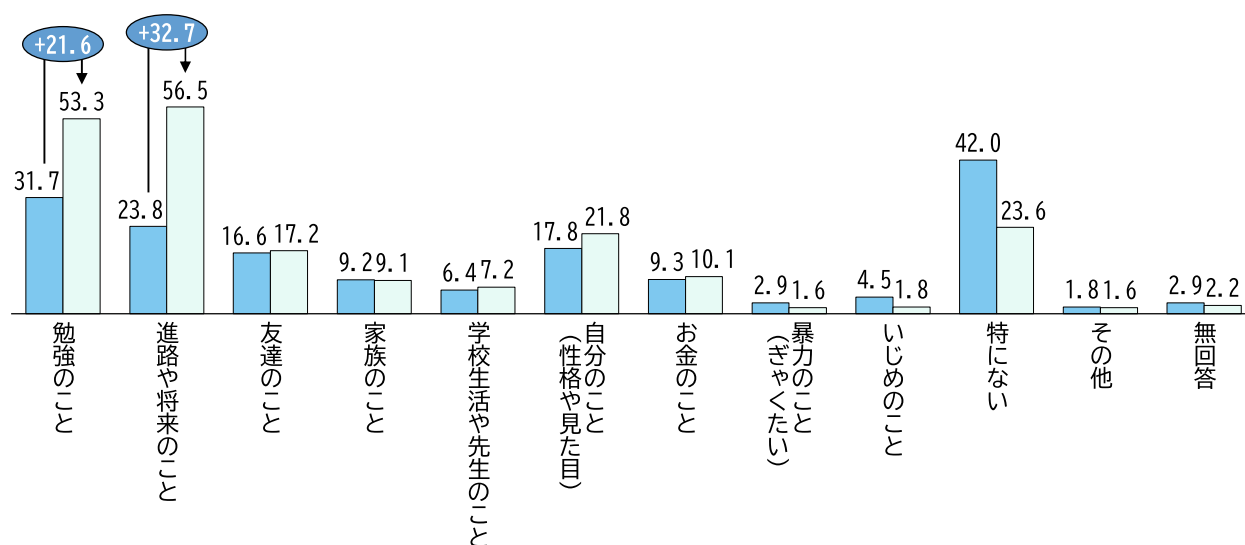


ほっとできる居場所や時間について、小学5年生は「家庭(リビングなど)でゆっくり過ごす」、中学2年生は「自分の部屋でゆっくり過ごす」との回答が最も多い。

質問9 今、困っていたり、悩んでいることはありますか？(いくつでも)

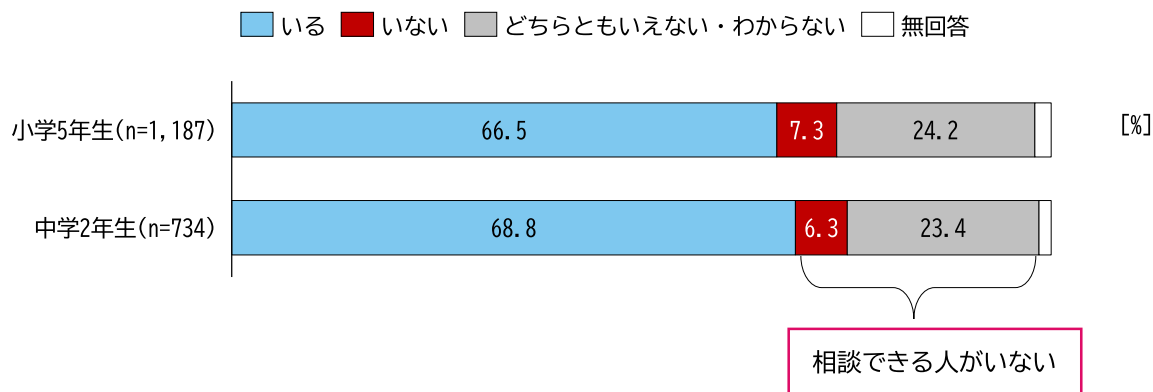
■ 小学5年生(n=1,187) ■ 中学2年生(n=734)

[%]



悩みや困りごとについて、中学2年生は小学5年生に比べて、「勉強のこと」「進路や将来のこと」の回答が多く、その割合は、50%を超える。

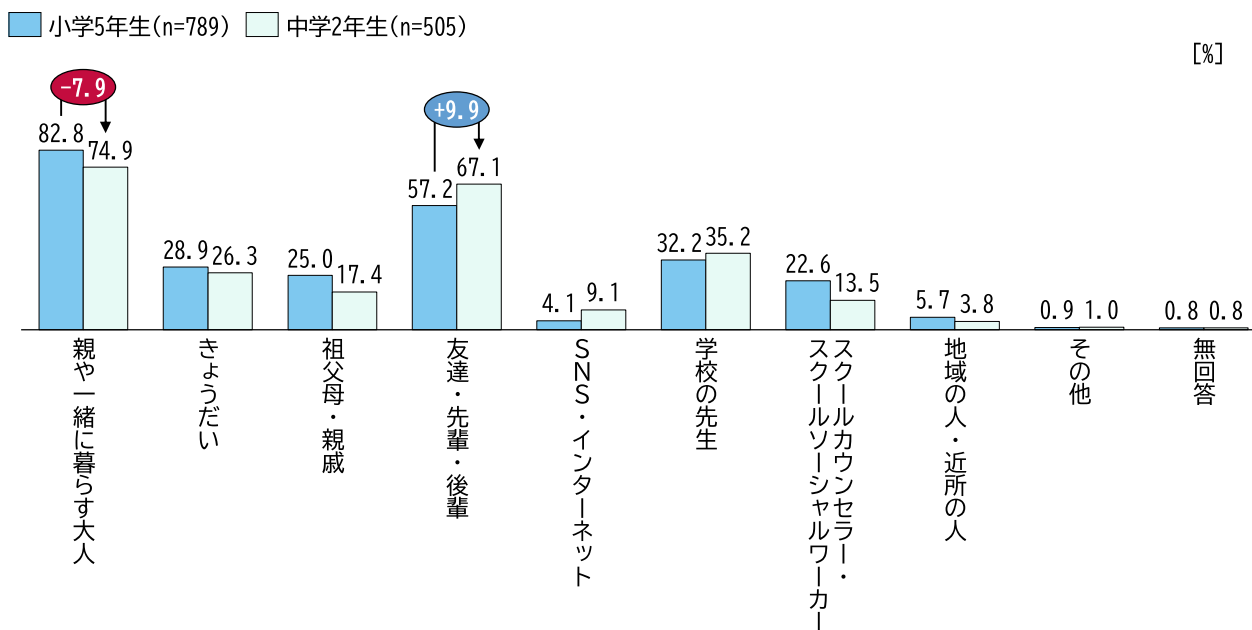
質問10 ①相談できる人はいますか？(1つだけ)



相談できる人の有無について、相談できる人がいないとの回答は約3割に上る。

91

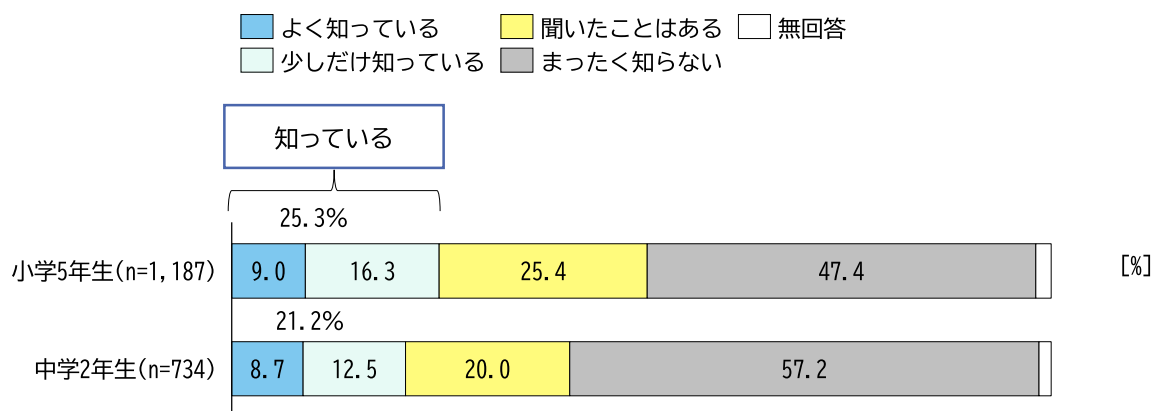
質問10 ②<①で、いると回答した場合>相談できる人はだれですか？(いくつでも)



相談できる人について、中学2年生は小学5年生に比べて、「友達・先輩・後輩」が高い。

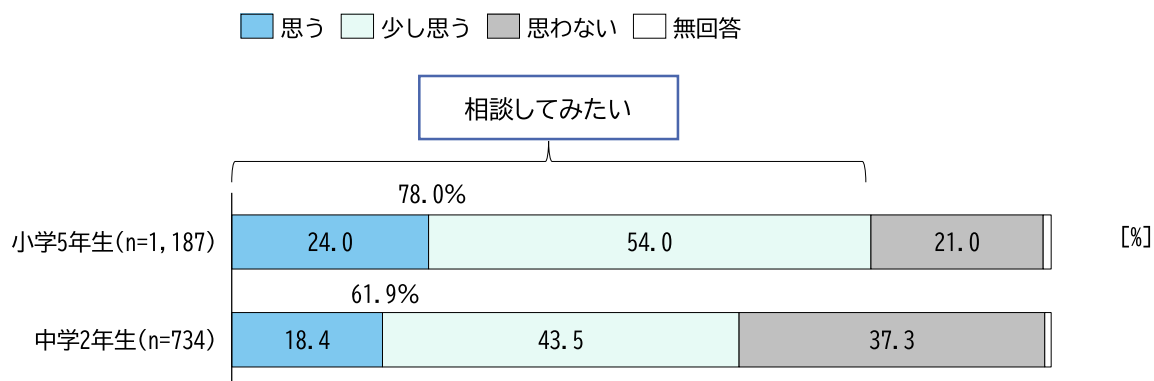
92

質問11 ①子どもの権利擁護委員って聞いたことがありますか？みなさんが悩んでいるときに話を聞いたり、助けたりしてくれる人です。(1つだけ)



子どもの権利擁護委員の認知について、小学校5年生も中学校2年生も、「知っている」が3割を下回る。

質問11 ②いま、悩んでいたり、これから悩むことがあったとき、子どもの権利擁護委員に相談してみたいと思いますか？(1つだけ)



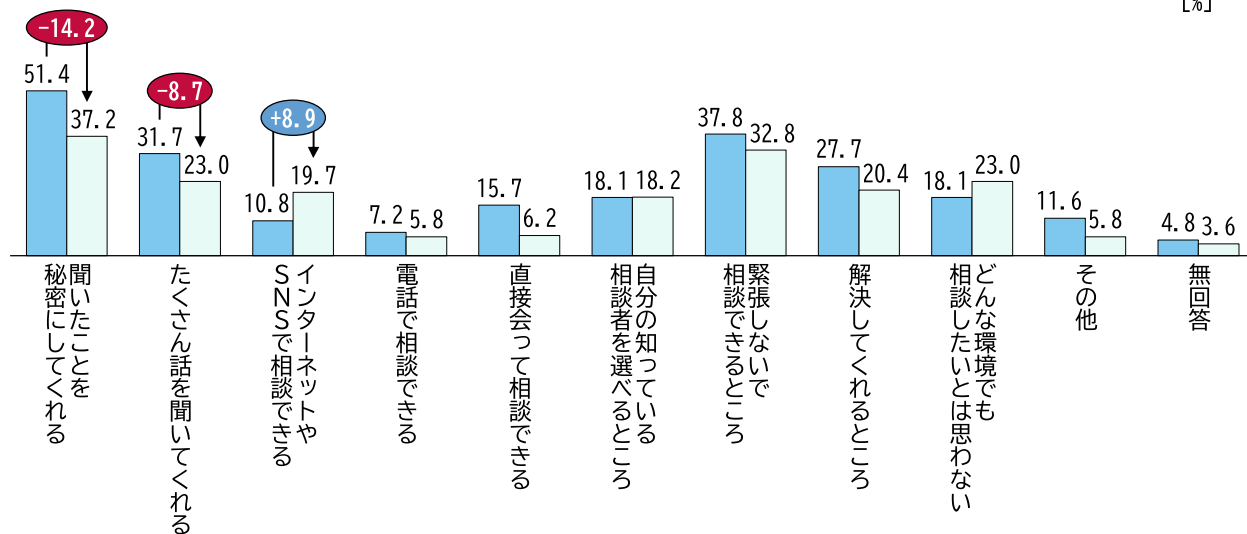
子どもの権利擁護委員への相談意向について、小学5年生は中学2年生と比べて、『相談してみたい』の回答割合が高い。

質問11 ③<②で思わないと答えた場合>相談しづらいと思う場合、どうすれば相談しやすくなると思いますか？

(いくつでも)

■ 小学5年生(n=249) □ 中学2年生(n=274)

[%]

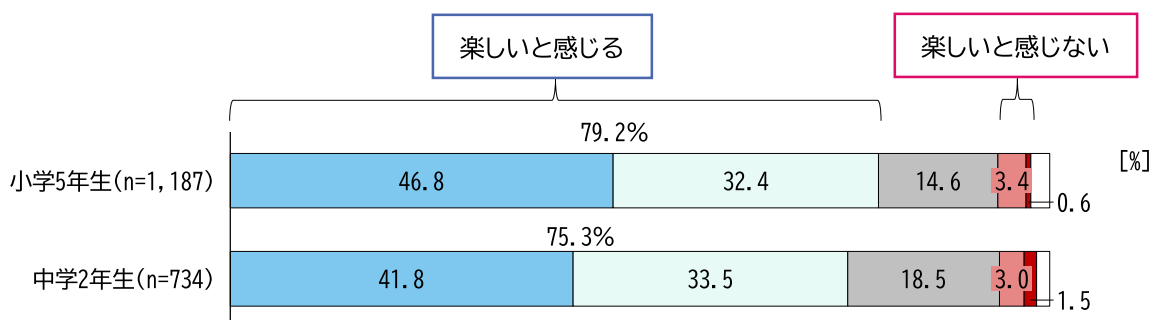


相談しやすくなる取り組みについて、小学5年生は中学2年生と比べて、「聞いたことを秘密にしてくれる」が高い。また、中学校2年生は小学校5年生に比べ、「インターネットやSNSで相談できる」の回答割合が高い。

95

質問12 毎日、楽しいと感じることはありますか？(1つだけ)

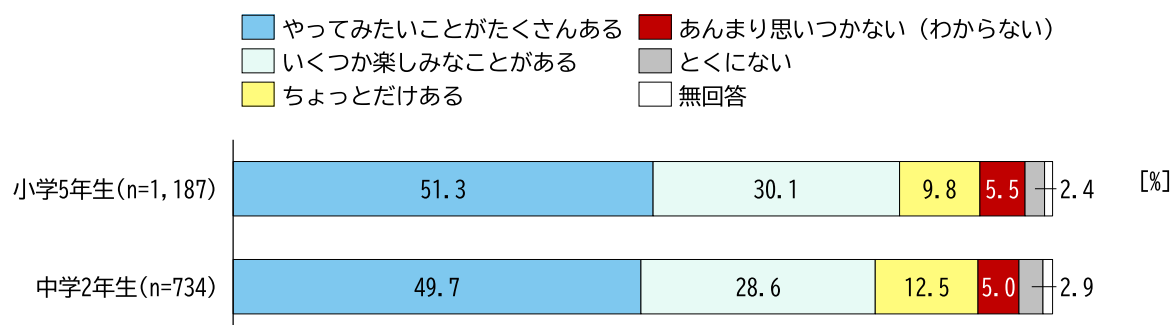
■ 楽しいことがたくさんある ■ あまり楽しいと感じることはない
 ■ まあまあ楽しい日が多い ■ 楽しいと感じることはない
 ■ ふつう（どちらでもない） ■ 無回答



毎日が楽しいと感じるかについて、小学校5年生も中学校2年生も「楽しいと感じる」が7割を超える一方で、「楽しいと感じない」「ふつう」との回答も2割を超える。

96

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはありますか？(1つだけ)



大人になったら、「やってみたいことがたくさんある」割合は、小学5年生、中学2年生どちらも約5割程度。

97

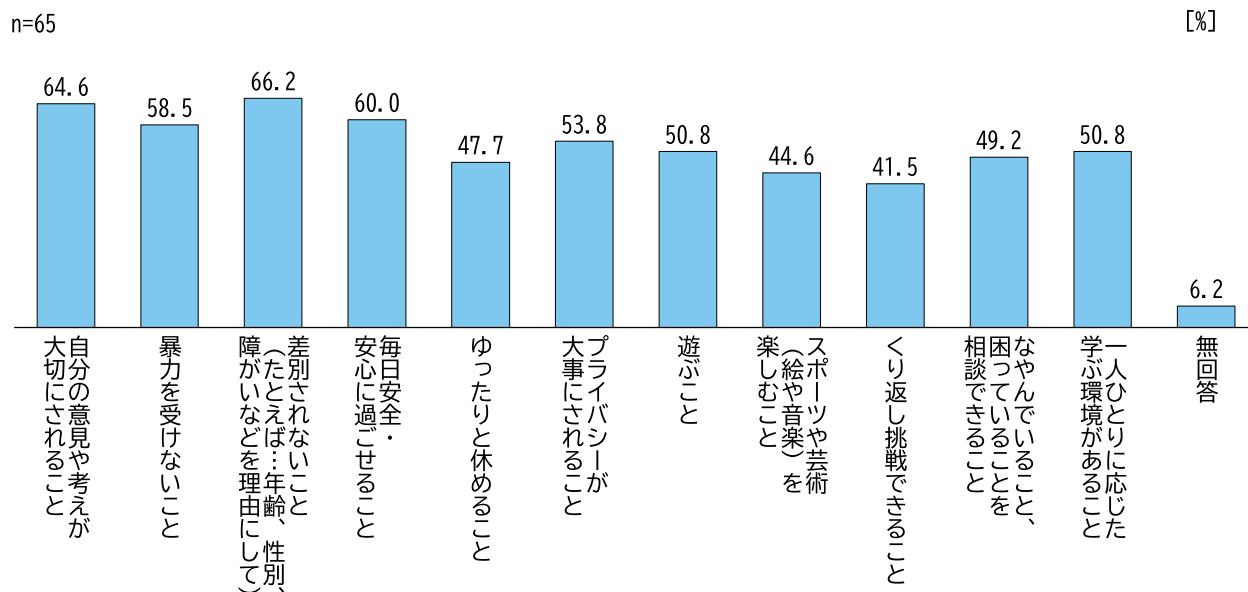
性別非回答群の結果

※性別非回答群

質問1(性別を問う設問)の回答で「答えたくない」又は「わからない」と回答した人

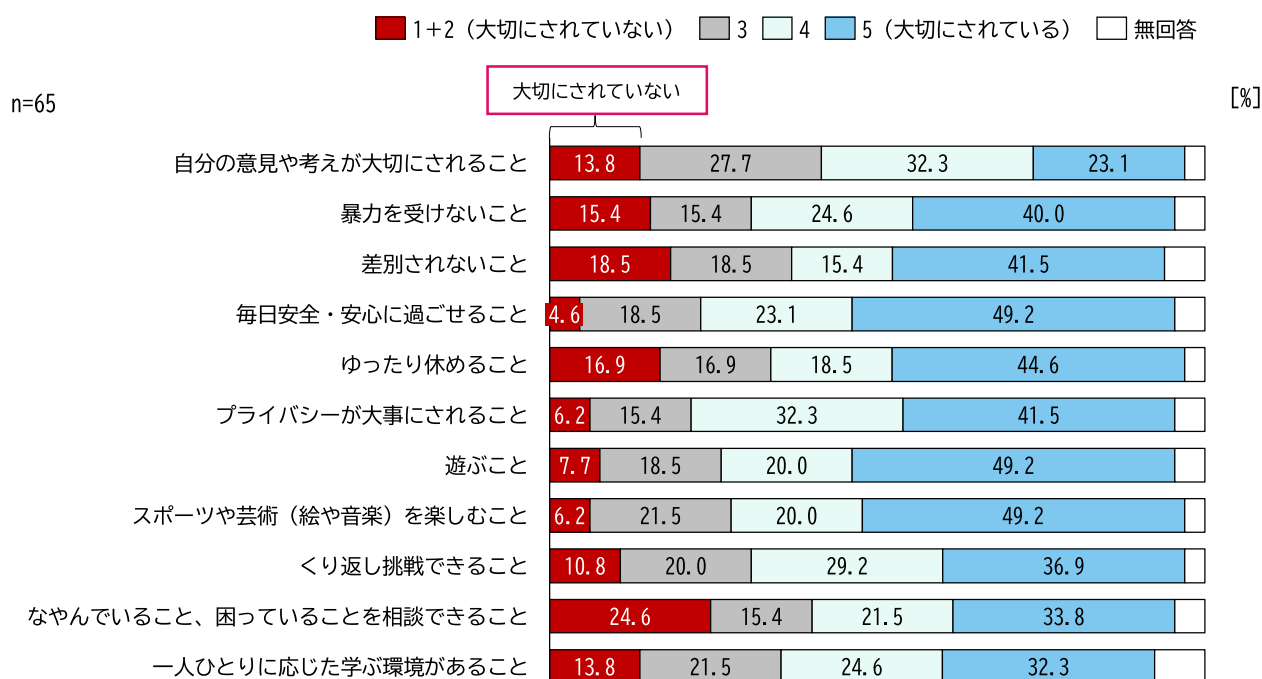
98

質問5 ①「子どもの権利と幸せに関する条例」には、11個の大切な子どもの権利が書いてあるよ。いま、特に大切だと思うものはどれかな？(いくつでも選んでね)



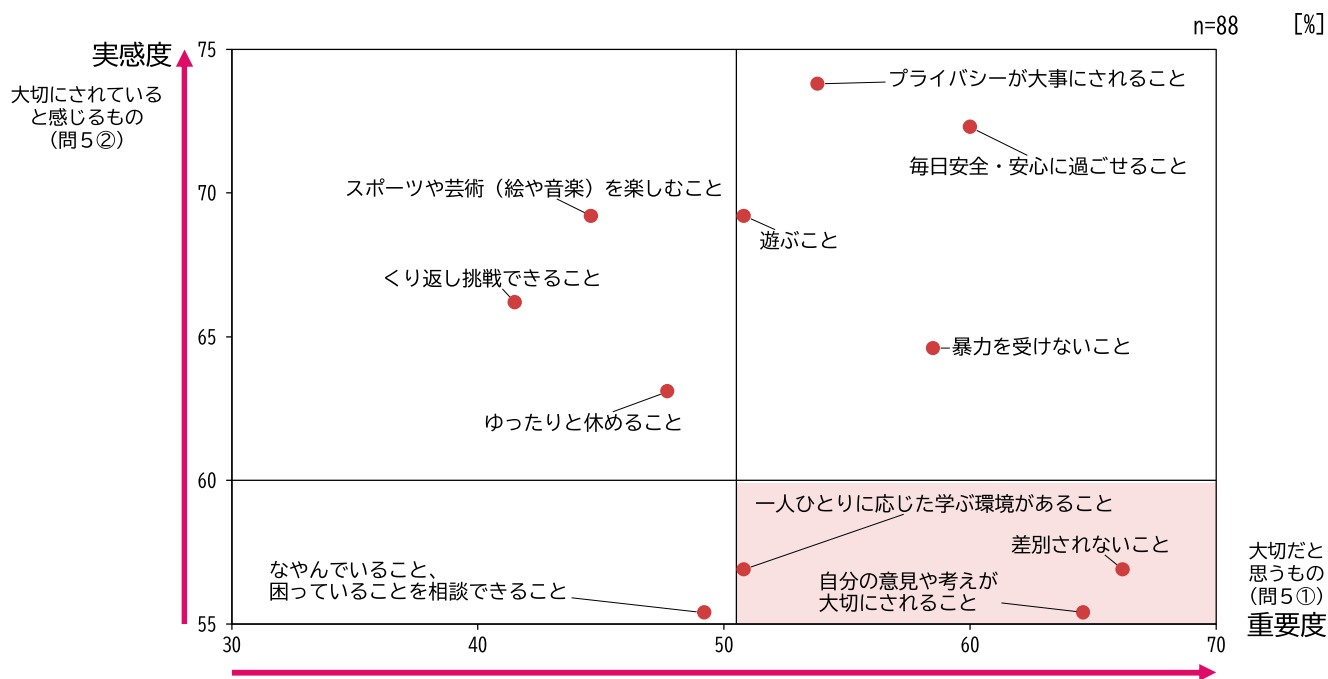
条例に記載されている11個の権利で、大切だと思うものは「差別されないこと」が66.2%に上り、最も回答が多い。

質問5 ②11個の子どもの権利が、毎日の生活の中で、どのくらい大切にされていると感じるかな、5点満点で、それぞれ教えてね。



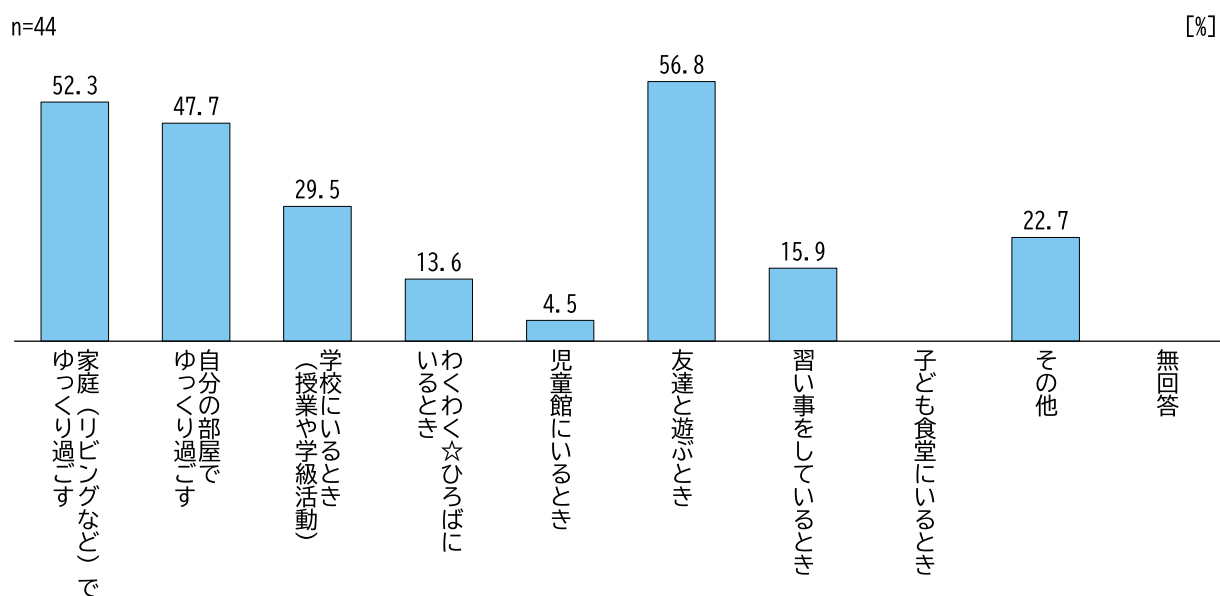
「相談できること」が、大切にされていないと感じている割合が最も高い。

◆問5①(大切に思う権利)(重要度)と問5②(大切にされている実感)(実感度)との相関図(小学5年生)



「自分の意見や考えが大切にされること」「差別されないこと」「一人ひとりに応じた学ぶ環境があること」は相対的にみると、重要視されているわりに大切にされていないと感じる割合が高い。

質問8 ②<①で、あると回答した場合>ほっとできる居場所はどんなところ？あと、どんな時間を過ごしているときにほっとできると感じる？(いくつでも選んでね)

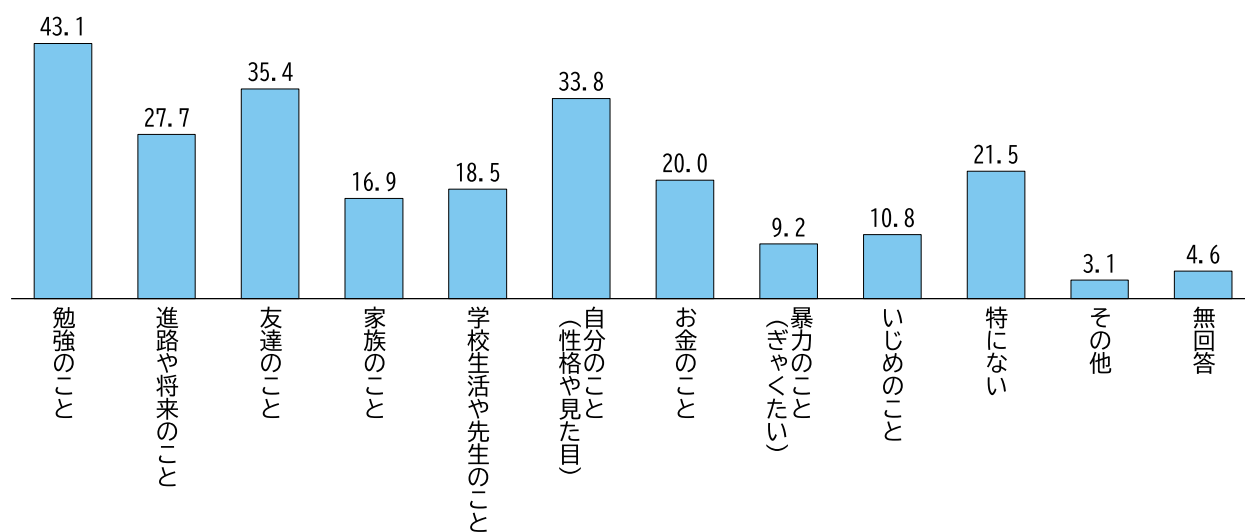


ほっとできる居場所や時間について、「友達と遊ぶとき」が56.8%。また、「家庭(リビングなど)でゆっくり過ごす」と回答する割合も5割を超える。

質問9 今、困っていたり、悩んでいることはあるかな？(いくつでも選んでね)

n=65

[%]

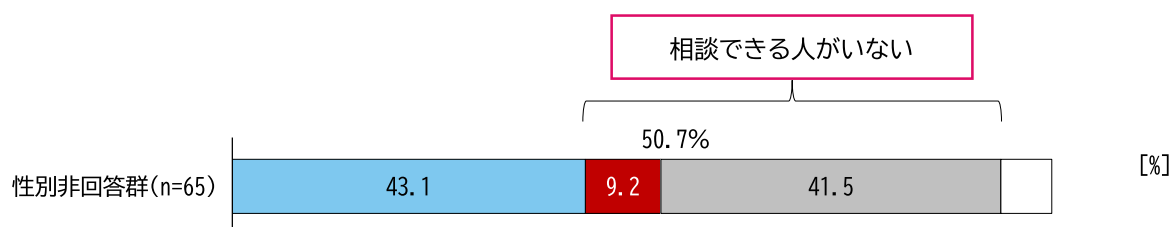


悩みや困りごとについて、「勉強のこと」が43.1%に上り、最も回答が多い。

103

質問10 ①相談できる人はいる？(1つだけ選んでね)

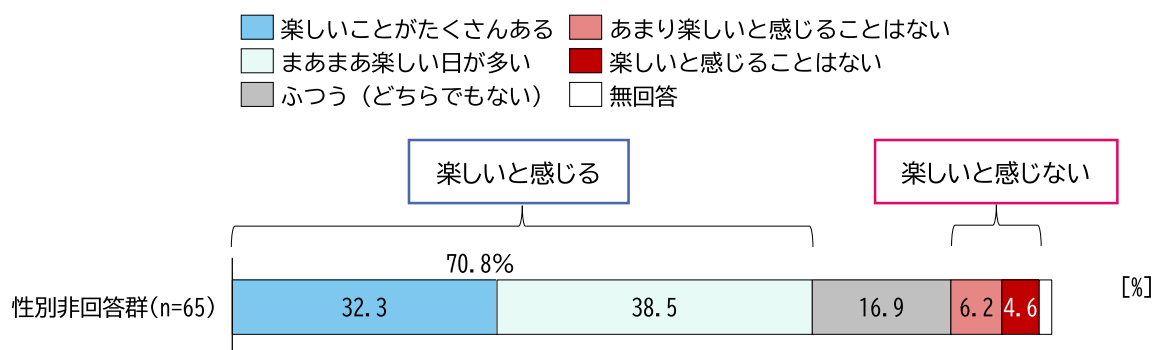
■ いる ■ いない ■ どちらともいえない・わからない □ 無回答



相談できる人の有無について、相談できる人がいないとの回答は50.7%と半数を超える。

104

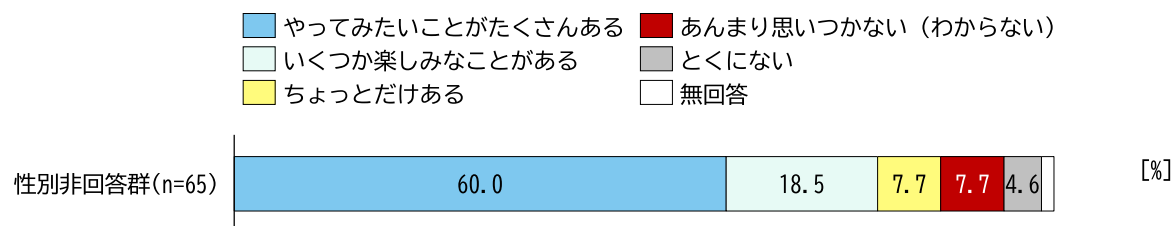
質問12 毎日、楽しいと感じることはある？(1つ選んでね)



毎日が楽しいと感じる割合は70.8%。

105

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはある？(1つ選んでね)



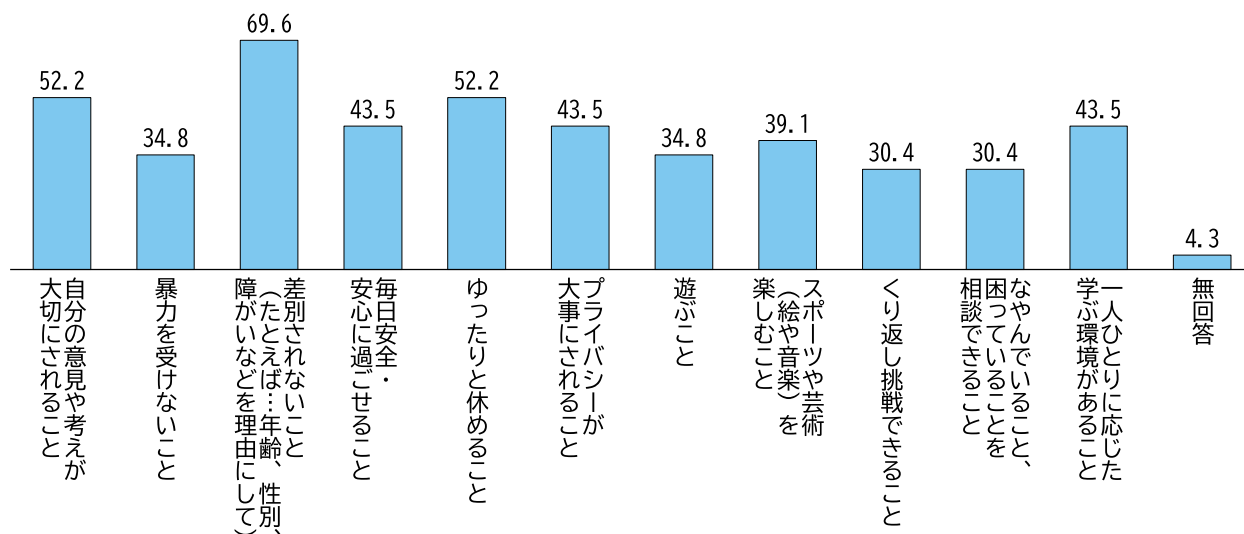
大人になったら、「やってみたいことがたくさんある」割合は60.0%。

106

質問5 ①「子どもの権利と幸せに関する条例」には、11個の大切な子どもの権利が書いてあるよ。いま、特に大切だと思うものはどれかな？(いくつでも選んでね)

n=23

[%]



条例に記載されている11個の権利で、大切だと思うものは「差別されないこと」が69.6%に上り、最も回答が多い。

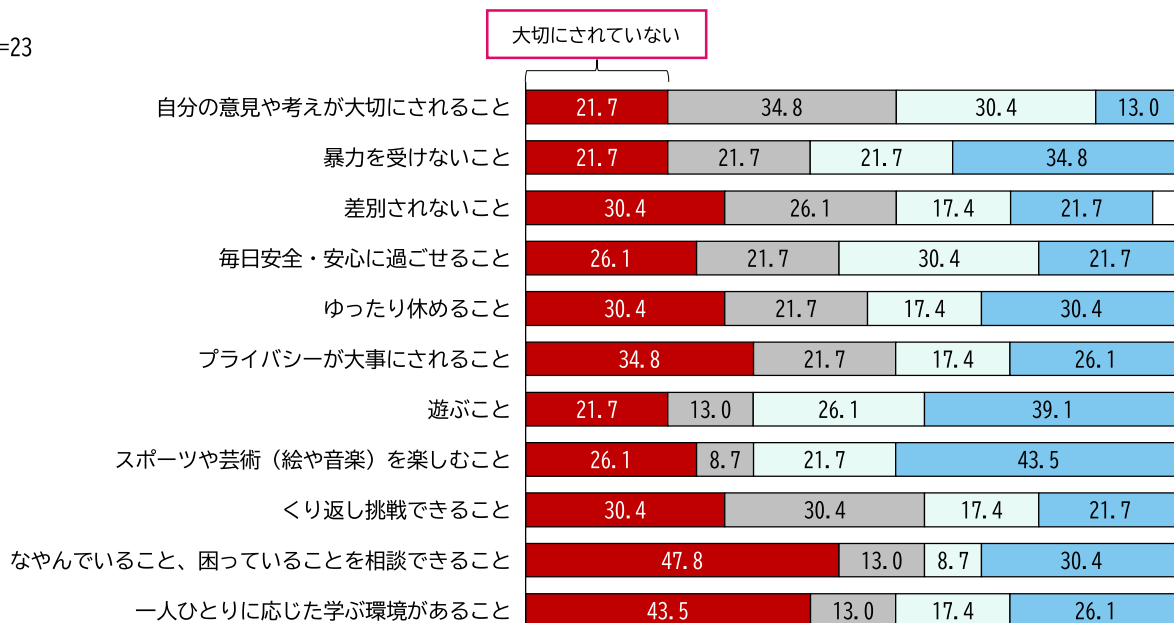
107

質問5 ②11個の子どもの権利が、毎日の生活の中で、どのくらい大切にされていると感じるかな、5点満点で、それぞれ教えてね。

■ 1+2 (大切にされていない) ■ 3 ■ 4 ■ 5 (大切にされている) □ 無回答

n=23

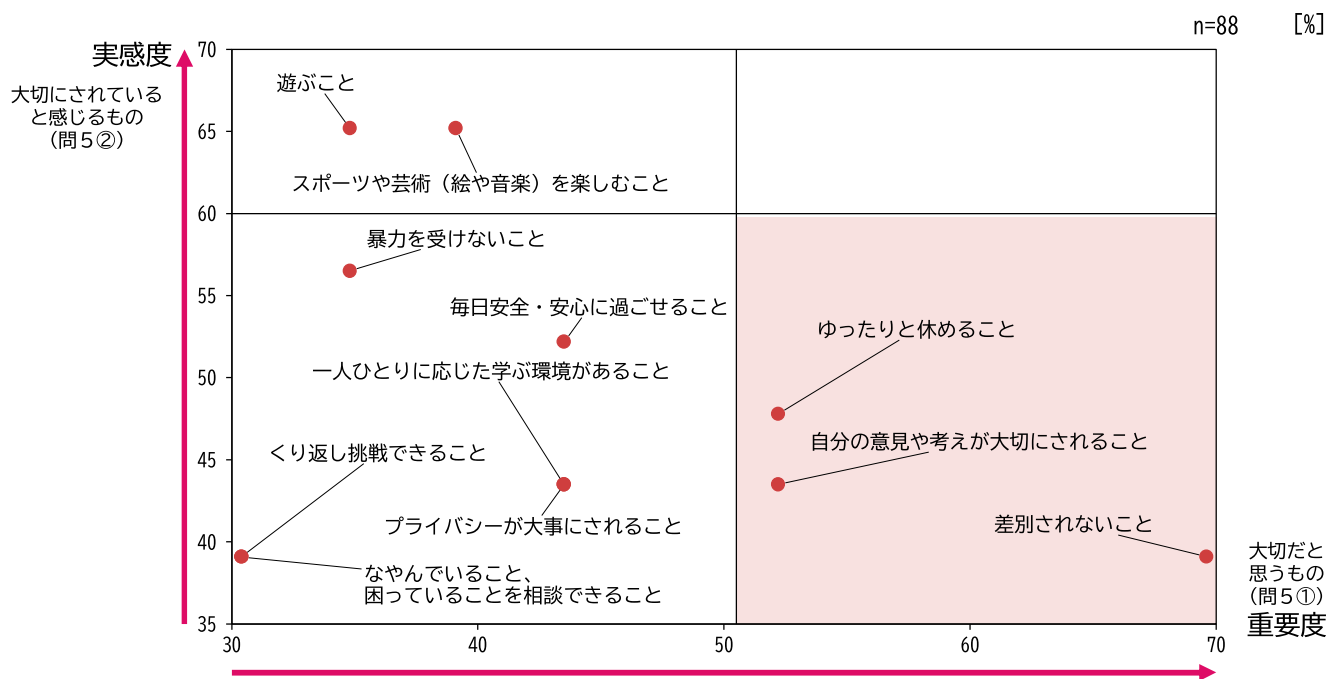
[%]



「相談できること」が、大切にされていないと感じている割合が最も高い。

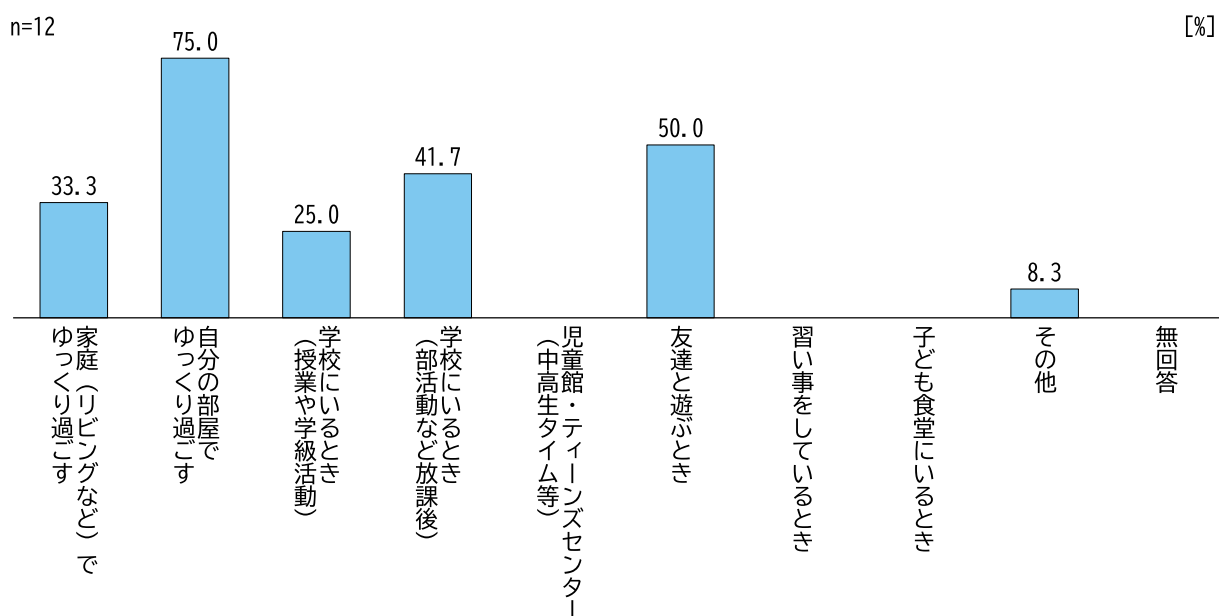
108

◆問5①(大切に思う権利)(重要度)と問5②(大切にされている実感)(実感度)との相関図(中学2年生)



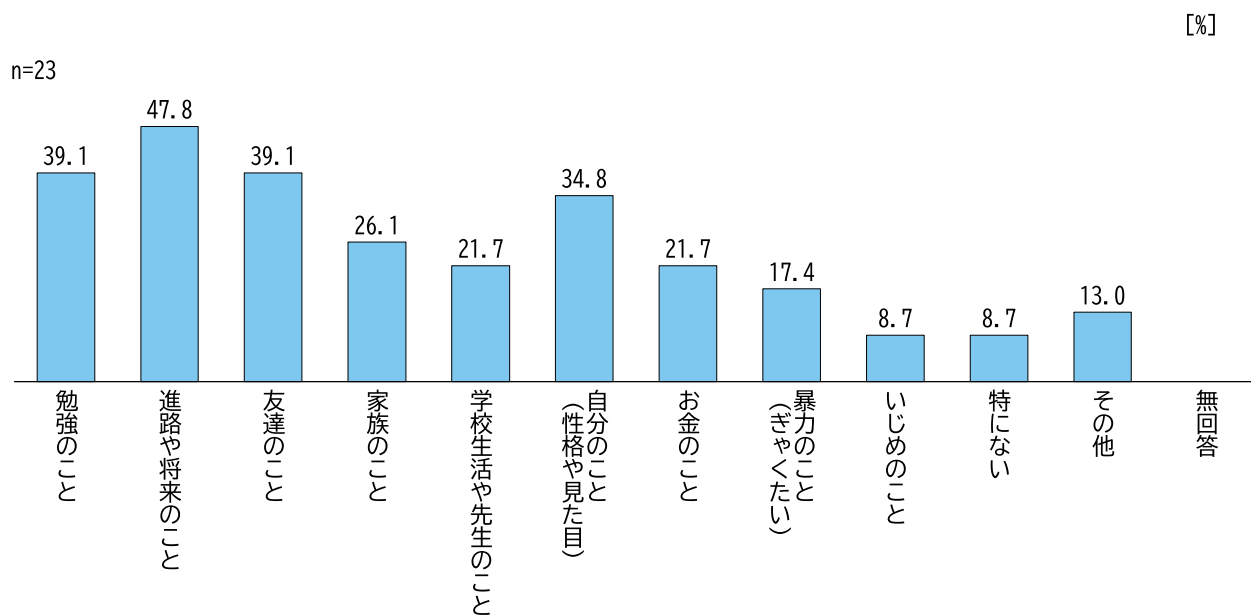
「自分の意見や考えが大切にされること」「差別されないこと」「ゆったり休めること」は相対的にみると、重要視されているわりに大切にされていないと感じる割合が高い。

質問8 ②<①で、あると回答した場合>ほっとできる居場所はどんなところですか？あと、どんな時間を過ごしているときにほっとできると感じますか？(いくつでも)



ほっとできる居場所や時間について、「自分の部屋でゆっくり過ごす」が75.0%、また「友達と遊ぶとき」と回答する割合も5割となっている。

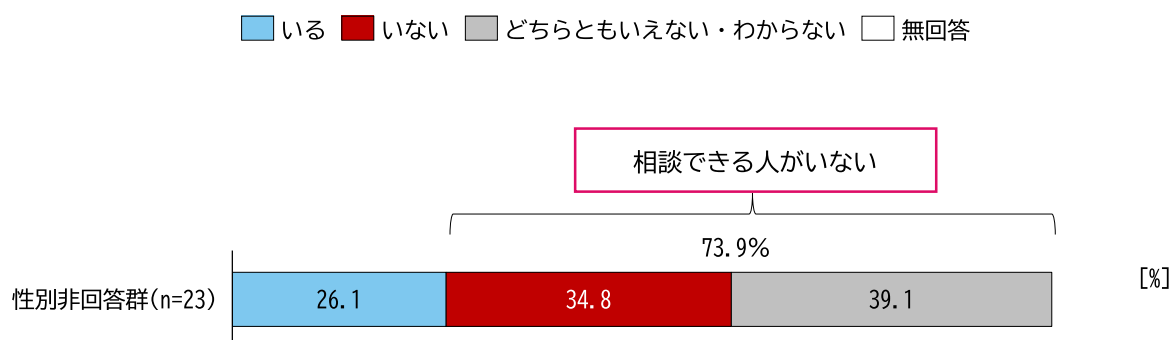
質問9 今、困っていたり、悩んでいることはあるかな？(いくつでも選んでね)



悩みや困りごとについて、「進路や将来のこと」が47.8%に上り、最も回答が多い。

111

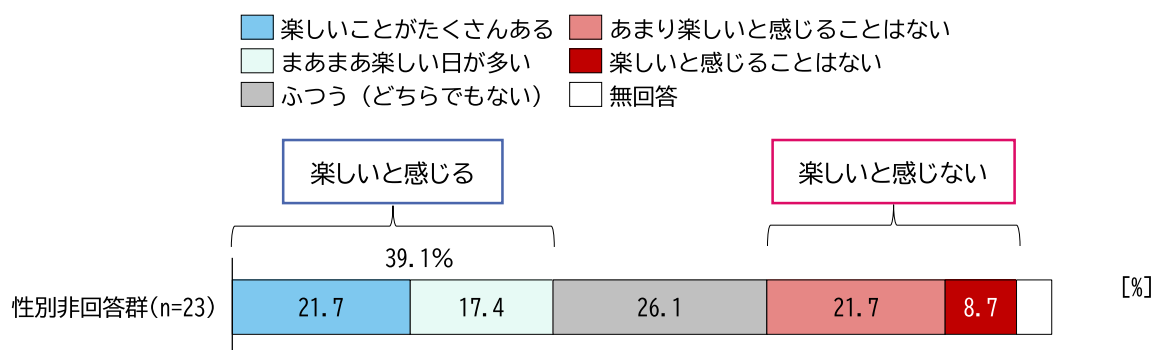
質問10 ①相談できる人はいる？(1つだけ選んでね)



相談できる人の有無について、相談できる人がいないとの回答は73.9%と半数を超える。

112

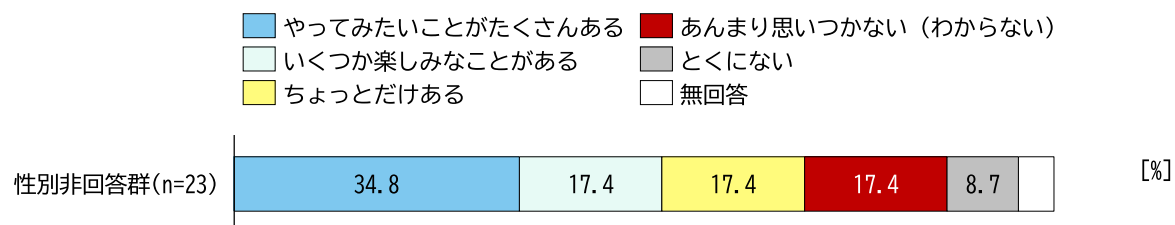
質問12 毎日、楽しいと感じることはある？(1つ選んでね)



毎日が楽しいと感じる割合は39.1%。

113

質問13 大人になったら、やってみたいことや楽しみなことはある？(1つ選んでね)



大人になったら、「やってみたいことがたくさんある」割合は34.8%。

114